S I R B I M スタートアップガイド



<Program Ver.1.0>

ご注意

- このソフトウェア、および、マニュアルの全部若しくは一部を無断で使用、複製することはできません。
- このソフトウェア、および、マニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- このソフトウェア、および、マニュアルを運用した結果による影響に関しては、いっさい責任を負いかねますので ご了承ください。
- このソフトウェアをご使用になるには、別掲の「ソフトウェア使用許諾条項」にご同意いただくことが必要です。 ご使用と同時に、同条項へのご同意があったものとさせていただきます。

商標について

- 日本語 Microsoft® Windows® 10 は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- 日本語 Microsoft® Windows® 11 は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- Microsoft® Excel® は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。

1.	はじめに	
2.	SIRBIM の根	既要
2	.1. SIRBIN	M でできること
2	.2. SIRBIN	1の基本操作2-2
	2.2.1. 起	動2-2
	2.2.2. メニ	ニュー構成
	2.2.2.1.	クイックアクセスバーへのメニューボタンへの登録2-5
	2.2.2.2.	[JOB]אבא
	2.2.2.3.	「インポート/エクスポート」メニュー2-9
	2.2.2.4.	「確認」メニュー2-9
	2.2.2.5.	「設計条件」メニュー2-10
	2.2.2.6.	「建物形状」メニュー2-11
	2.2.2.7.	「部材定義」メニュー2-12
	2.2.2.8.	「部材配置」メニュー2-13
	2.2.2.9.	「設計テーブル」メニュー2-13
	2.2.2.10.	.「リスト図確認」メニュー
	2.2.2.11.	. 「構造図作図」メニュー
	2.2.3. ファ	7イルを開く
	2.2.4. 終	了2-17
3.	構造計算デ-	-タから SIRBIM への変換3-1
3	.1. 変換に	使用する構造計算データ
3	.2. 変換時	の初期設定
	3.2.1. 壁	・スラブの標準配筋テーブル設定3-1
	3.2.2. 梁	の腹筋段数テーブル設定3-4
	3.2.3. 鉄	筋標準かぶり厚
3	.3. SEIN L	a CREA
	3.3.1. SE	EIN La CREA での準備3-6
	3.3.2. SE	EIN La CREA データインポート3-6
3	.4. Super	Build / SS7
	3.4.1. Su	uper Build/SS7 での準備3-12
_	3.4.2. Su	uper Build/SS7 データインボート3-12
3	.5. SI-Brid	dge
	3.5.1. SI	I-Bridge ファイルインホート3-16
4.	3D 表示によ	る視覚的な建物データの確認4-1
5.	新規に建物モ	デル作成
5	.1. 建物形	状5-2
	5.1.1. 建	物概要5-2
	5.1.2. ス	パン長
	5.1.3. 通	り軸名5-4
5	.2. 通り軸の	∑編集
	5.2.1. 参	照図登録

5.2.2.	通り軸編集
5.3. 部材	症義
5.3.1.	符号先頭文字列デフォルト設定
5.3.2.	基礎定義5-16
5.3.3.	柱定義5-17
5.3.4.	梁定義
5.3.5.	小梁定義
5.3.6.	ブレース定義
5.3.7.	壁板定義
5.3.8.	床板定義
5.3.9.	柱継手定義
5.3.9.	1. 柱継手生成(SCSS-H97 による自動計算)
5.3.10.	梁継手定義
5 3 1(2-26 1 2 梁継手生成(SCSS-H97 によろ自動計算) 5-26
5 3 11	その他の部材定義 5-27
5.3.11.	COICOP/切足我
5.5.11	
5.3.12.	高刀小ル下の計谷心力度設定
5.3.13.	────────────────────────────────────
5.4. 部本	11110
5.4.1.	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11
5.4.2.	基本的な配直方法
5.4.2.	1. 軸交点配直万法
5.4.2.	2. スパン配置方法5-36
5.4.2.	3. エリア配置方法
5.4.3.	参照図を見ながらの配置 5-43
5.4.4.	壁の開口配置
5.4.5.	小梁の配置
5.4.6.	スラブの配置
5.4.7.	水平ブレースの配置5-52
5.4.8.	鉛直ブレースの配置5-55
6 配罟兰二	2002年 6-1
6.1 沙の	20) 柵未
0.1. 朱の	1回口1720-2 Dの短年
0.2. 小嶺	cの補集
6.2.1.	小采のレ い
6.2.2.	小梁のスハノ設と
0.2.3.	小梁の半行指止
0.2.4.	小朵の複 う0-10 ゴの短生
	707年来0-12
6.3.1.	人フノ汀割(縦汀指正)
6.3.2.	スフノ汀割(闭視鸣指定)
6.3.3.	人フノ合成
6.4. 維璧	きの補朱
6.4.1.	縦望师前の延伸
6.5. 部杉	100ノロハティ
6.5.1.	- 水平ノレーム、鉛直ノレームの目動ストレッチ
6.6. 検索	ج6-28

6.6.1.	符号検索6-29
6.6.2.	GUID 検索
6.7. 配置	は時のツール(アイコン)6-32
6.7.1.	見上げ/見下げ(伏図形式配置の場合)6-32
6.7.2.	右側/左側、下側/上側(立面配置の場合)6-32
6.7.3.	再計算·再描画
6.7.4.	Undo / Redo
6.7.5.	確定
6.7.6.	入力モード
6.7.7.	全体表示
6.7.8.	画面移動6-33
6.7.9.	画面拡大
6.7.10.	画面縮小
6.7.11.	距離計測6-33
6.7.12.	角度計測6-33
6.7.13.	レベル表示 (ON / OFF)6-33
6.7.14.	ピン空き設定
6.7.15.	スナップ設定(ON/OFF)6-34
6.7.16.	直交部材表示(ON/OFF)6-35
6.7.17.	グリッド表示
6.7.18.	文字サイズ
7. リスト図確	認
7.1. リス	
8. 構造図作	图8-1
8. 構造図作 8.1. 作図	図
8. 構造図作 8.1. 作図 8.1.1.	図
8. 構造図作 8.1. 作図 8.1.1. 8.1.2.	図
8. 構造図作 8.1. 作図 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3.	図 記定 文字設定 新マーク設定 用紙設定
8. 構造図作 8.1. 作図 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造	図 記定 文字設定 新家マーク設定 用紙設定 認(リスト図) あ-1 8-1 8-2 8-3 第4 8-4
 構造図作 8.1.作図 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 	図
8. 構造図作 8.1. 作図 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 8.2.2.	図 8-1 設定 8-1 文字設定 8-1 鉄筋マーク設定 8-2 用紙設定 8-3 認作図(リスト図) 8-4 一括作図 8-5 断面リスト作図設定 8-7
8. 構造図作 8.1. 作図 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構選 8.2.1. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2.	図 8-1 設定 8-1 文字設定 8-1 鉄筋マーク設定 8-2 用紙設定 8-3 図作図(リスト図) 8-4 一括作図 8-5 断面リスト作図設定 8-7 1. 各部材設定での共通設定 8-8
8. 構造図作 8.1. 作図 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2.	図8-1設定8-1文字設定8-1鉄筋マーク設定8-2用紙設定8-3認作図(リスト図)8-4一括作図8-5断面リスト作図設定8-71. 各部材設定での共通設定8-82. 断面リスト作図設定:8-10
 構造図作 8.1.作図 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 	図 8-1 設定 8-1 文字設定 8-1 鉄筋マーク設定 8-2 用紙設定 8-3 認作図(リスト図) 8-4 一括作図 8-5 断面リスト作図設定 8-7 1. 各部材設定での共通設定 8-8 2. 断面リスト作図設定: 8-10 3. 断面リスト作図設定: 8-12
 構造図作 8.1.作図 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 	図.8-1記定.8-1文字設定.8-1鉄筋マーク設定.8-2用紙設定.8-3認作図(リスト図).8-3一括作図.8-5断面リスト作図設定.8-71. 各部材設定での共通設定.8-82. 断面リスト作図設定:.8-103. 断面リスト作図設定:基礎4. 断面リスト作図設定:1.8-13
 構造図作 8.1.作図 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 	図
 構造図作 8.1.作図 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 8.2.2. 	図8-1設定8-1文字設定8-1鉄筋マーク設定8-2用紙設定8-3図作図(リスト図)8-4一括作図8-5断面リスト作図設定8-71. 各部材設定での共通設定8-82. 断面リスト作図設定:8-103. 断面リスト作図設定:8-124. 断面リスト作図設定:8-135. 断面リスト作図設定:8-135. 断面リスト作図設定:8-166. 梁位置名称8-18
 構造図作 8.1.作図 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 8.2.2. 8.2.3. 	図
 構造図作 8.1.作図 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 8.2.2. 8.2.3. 8.2.4. 	図
 構造図作 8.1.作区 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 8.2.2. 8.2.4. 	図 8-1 設定 8-1 文字設定 8-1 鉄筋マーク設定 8-2 用紙設定 8-3 認作図(リスト図) 8-4 一括作図 8-5 断面リスト作図設定 8-7 1. 各部材設定での共通設定 8-8 2. 断面リスト作図設定: 4. 新面リスト作図設定: 8-10 3. 断面リスト作図設定: 8-12 4. 断面リスト作図設定: 8-13 5. 断面リスト作図設定: 8-16 6. 梁位置名称 8-18 文字リスト作図設定 8-19 符号別リスト幅設定 8-20 1. 符号の枠幅を全ての符号で同じ幅に設定したい場合 8-21
 構造図作 8.1.作区 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 8.2.2. 8.2.3. 8.2.4. 8.2.5. 	図
 構造図作 8.1.作区 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 8.2.2. 8.2.4. 8.2.5. 8.2.5. 	図
 構造図作 8.1.作区 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 8.2.2. 8.2.4. 8.2.5. 8.2.5. 	図 8-1 設定 8-1 文字設定 8-1 鉄筋マーク設定 8-2 用紙設定 8-3 図作図(リスト図) 8-4 一括作図 8-5 断面リスト作図設定 8-7 1. 各部材設定での共通設定 8-8 2. 断面リスト作図設定: 8-8 2. 断面リスト作図設定: 8-10 3. 断面リスト作図設定: 8-13 5. 断面リスト作図設定: 8-16 6. 梁位置名称 8-18 文字リスト作図設定 8-19 符号別リスト幅設定 8-12 1. 符号の枠幅を全ての符号で同じ幅に設定したい場合 8-21 梁符号別階別スラブ・肋筋かぶり厚設定 8-22 1. スラブレベルを変更する場合 8-23 2. 梁の助筋かぶり厚を変更する場合 8-24
 精造図作 8.1.作区 8.1.1. 8.1.2. 8.1.3. 8.2. 構造 8.2.1. 8.2.2. 8.2.4. 8.2.5. 8.3. 構造 	図 8-1 設定 8-1 文字設定 8-1 鉄筋マーク設定 8-2 用紙設定 8-3 認作図(リスト図) 8-4 一括作図 8-5 断面リスト作図設定 8-7 1. 各部材設定での共通設定 8-8 2. 断面リスト作図設定:共通 8-10 3. 断面リスト作図設定:基礎 8-10 3. 断面リスト作図設定:主 8-12 4. 断面リスト作図設定:それ 8-13 5. 断面リスト作図設定:それ 8-16 6. 梁位置名称 8-16 5. 断面リスト作図設定 8-19 符号別リスト作図設定 8-12 1. 符号の枠幅を全ての符号で同じ幅に設定したい場合 8-20 1. 符号の枠幅を全ての符号で同じ幅に設定したい場合 8-21 梁符号別階別スラブ・肋筋かぶり厚設定 8-23 2. 梁の肋筋かぶり厚を変更する場合 8-24 認作図(伏図、軸組図、詳細図) 8-25

8.3.1.1	1. 作図軸の編集
8.3.2.	一括作図
8.3.2.1	1. 再作図
8.3.3.	構造図作図設定
8.3.3.3	1. 伏図設定
8.3.3.2	2. 軸組図設定
8.3.3.3	3. 詳細図設定
8.3.4.	鉄骨詳細図の作図手順8-39
8.3.4.1	1. 柱梁仕口部プレートのデータ作成8-39
8.3.4.2	2. 柱・梁継手の作成8-40
8.3.4.3	3. 鉄骨詳細図作図
o +左丁四/b	
9. 施工凶作	
9.1. 施上	图作图(躯体图、断面图、跃骨伏图、跃骨靶祖图)
9.1.1.	配直軸と作凶軸
9.1.2.	一括作凶
9.1.2.	1. 再作凶
9.2. 施上	图作图設定
9.2.1.	施工図タク設定
9.2.2.	他上図作図設定
9.2.2.	1. 半面図設定
9.2.2.2	2. 断面凶設定
10. 図面の出	カ10-:
10.1. レイヤ	7-設定10-:
10.1.1.	AutoCAD (DXF)
10.1.2.	DRA-CAD
10.1.3.	Jw_cad
10.2. 2次	元 CAD 出力
10.2.1.	リスト図の出力方法10-3
10.2.2.	構造図の出力方法10-1
10.2.3.	施工図の出力方法10-2
10.3. 図面	の PDF 出力・印刷10-8
11. 設計数量	算出
11.1. 設計	数量算出の準備
11.1.1.	材料11-7
11.1.2.	鉄筋の継手長・定着長11-6
11.1.3.	鉄筋継手設定
11.2. 数量	算出
11.2.1.	コンクリート・型枠算出設定11-6
11.2.2.	鉄筋算出設定
11.2.3.	鉄骨算出設定
11.2.4.	算出実行11-10
11.3. 数量	の確認11-1:
11.3.1.	数量根拠表—表示選択11-12
11.3.2.	数量根拠表
11.3.3.	数量根拠表 Excel 保存11-12

11.3.4. 数量根拠表 Excel 読み込み11-14
11.3.5. 数量根拠表 PDF 出力 11-15
11.3.6. 数量集計表設定 11-16
11.3.7. 数量集計表—表示選択11-17
11.3.8. 数量集計表 11-18
11.3.9. 数量集計表 Excel 保存11-19
11.3.10. 数量集計表 PDF 出力 11-20
12. 差分更新(設計変更に対応)12-1
12.1.差分更新の準備12-2
12.2.差分更新処理方法12-2
12.2.1. JOB 名の指定および更新情報指定12-3
12.2.2. 通り軸更新設定12-3
12.2.3. 差分更新設定
12.2.4. 差分更新確認
13. システムテーブル管理13-1
13.1. システム設定の保存13-2
13.2. システム設定の読み込み13-3
14. 製品サポートサービス
14.1. お問い合わせ
14.2. 最新版の取得14-1

1. はじめに

本書は、「SIRBIM」の基本的な使い方をご説明する操作ガイドです。 始めてご使用する方は、本書を一通りご覧になる事をおすすめします。

※「SIRBIM」のインストール方法については、弊社のホームページより[インストールマニュアル]をダウンロード してご参照ください。

2. SIRBIMの概要

2.1. SIRBIMでできること

「SIRBIM」は、構造 BIM を強力にサポートする建築構造に特化した BIM 構築支援ソフトです。

BIM 構築支援機能として、以下の機能があります。

- ① 一貫構造計算データまたは「ST-Bridge」をインポートする
- ② 2次元の構造図を下絵にして部材の配置入力可能
- ③ 部材符号を指定して、マウスで囲うだけで配置可能
- ④ 部材リスト図を見ながら部材定義を確認・編集可能
- ⑤ 通り軸における立面傾斜や平面傾斜を視覚的に編集可能
- ⑥ 小梁、スラブの配置領域を自動認識する機能があるため、ワンクリックで配置可能
- ⑦ 設計変更に対応した「差分更新」が可能

など、様々な機能を備えています。

その他の機能として、

- ① 構造図(リスト図、伏図、軸組図、詳細図)の作図
- ② 施工図(施工図の元図となる躯体図)の作図
- ③ 設計数量(コンクリート・型枠、鉄筋、鉄骨)を算出 数量の根拠および各種集計表を出力することができます



『SIRBIM』はいろいろなソフトと連携することができます

2.2. SIRBIMの基本操作

2.2.1.起動

アイコンをダブルクリック、または、画面左隅にあるタスクバーの「スタート」アイコンをクリックし、 一覧から「SIRBIM Ver.1」をクリックしても起動することができます。

	S
ŝ	SIRBIM Ver.1
¢	SIRBIM Ver.1
	₽ ここに入力して検索

下記のログイン画面が表示されます。

ユーザ ID とパスワードを入力し、 ログイン ボタンをクリックします。

ぷ ログイン	– 🗆 X
アプリケーション名称 SIRBIM Ver.1.00	
ユーザID	
パスワード	
□ 新しいパスワー	ドを設定する
ログイン	閉じる

使用者名登録画面が表示された場合は、使用者名を入力し OK ボタンをクリックします。

🏂 使用者名登錄	- 5		×
使用者名 ※全角20文字	ユーザーA ₽(半角403	文字)まで	
OK]	キャンセ	JF 1

※「SIRBIM」をご購入時に "ニックネーム機能を使用する" で申し込まれた場合にこの画面が 表示されます。この機能を使用すると、ライセンスを返却しないで使用している人を特定することがで きます。申し込みは、購入後でも可能です。 オプションを購入している場合は、下図の「オプション設定」画面が表示されます。

使用するオプションにチェックを付けて起動することにより、そのオプション機能を使用することができます。

🏂 オプション設定 - [SIRBIM Ver.1.00] ―		×
使用するオプションを選択してください。 ※背景がグレーのオプションは、使用中ライセンス数/ 契約数に達しているため選択できません。	hi	
☑ SIRBIM/構造図		
☑ SIRBIM/数量		
☑ SIRBIM/構造図・躯体図		
☑ SIRBIM/リスト図		
✓ SNAPコンバータ		
✓ TSSファイルコンバータ(鉄骨版)		
☑ TSSファイルコンバータ(鉄骨+RC版)		
ОК	閉じる	

下記の画面情報画面が表示されます。

🏂 ライセンス情報		-		×
ユーザ名	(株)ソフトウェアセンター			
アプリケーション名称	SIRBIM Ver.1.00			
保守有効期限	2130/12/31 ※期限を過ぎると、現在より新しいパージョンはご利用できなくなります。			
ライセンス保持期間	10日 ※期間を過ぎると、ライセンスは自動的に返却されます。			
お知らせ	最新版プログラムお知らせ			
	最新版プログラム(2023/11/08 更新)			
	SIRBIM [Ver.1.0.2023.1108] をリリースしました。			
	最新版ダウンロードページ			
	https://www.scinc.co.jp/sirbimdl.html			
	詳細を表示する▼			
	お知らせ			
	お知らせはありません。			
	アプリ起動 ライセンス再期	网络	終了	

表示されている情報は以下になります。

ユーザー名 – 登録されているユーザー名 (会社名) になります

アプリケーション名称 – 「SIRBIM Ver1.00」になります

保守有効期限 – 保守期間の最終日が表示されています 保守最終日までにリリースした「SIRBIM」のバージョンまでを使用することができます

ライセンス保持期間 – 0日~10日まで任意の整数日で設定可能です 0日の場合は、その日の0時にライセンスが自動的に返却されます この日数を変更したい場合は、「変更届」を弊社に送ってください

お知らせ – 主に、「SIRBIM」が更新された情報が表示されます 更新日を確認して、最新の「SIRBIM」をご使用ください

アブリ起動

ボタンをクリックすると、「SIRBIM」が起動します。

🚺 🛅	🛃 🛃	(SIRBI	V Ver.1 [237-23	38_Sample202	3_1]				- 🗆 ×
ЈОВ	インポー	-ト/エクスポー	ト確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>^</u> 2-
建物概要	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	通り軸名	前点移動	ダミーフロア 形状変更	↓ 円弧軸指定	ばい 通り軸編集 ツール	日 参照図登録 参照図					

各作業フォームは、上部メニューから選択することができます。 また、画面最上部のクイックアクセスツールバーからも選択することができます。



よく使う機能は、クイックアクセスツールバーにメニューボタンを登録することができます。 クイックアクセスツールバーへのメニューボタンの登録は、下記手順で行うことができます。

2.2.2.1. クイックアクセスバーへのメニューボタンへの登録

(1) [JOB]→[環境設定]をクリックします。

💽 👛 🛛 🚰 💻			SIRBI	M Ver.1 [S K ピ	ĴJJJ					- 🗆 ×
JOB インポート/エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u> </u>
新規作成	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	ダミーフロア	↓ 円 弧 軸指定	通り軸編集	王] 参照図登録					
開く		形状変更		ツール	参照図					
最近使用した J O B →										
上書き保存										
名前を付けて保存										
通り軸の追加										
部材表示設定										
システムテーブル管理										
環境設定										
終了										

(2) 環境設定画面で、クイックアクセスツールバーを編集します。

開環境設定 ×
作業パス
D:¥SIRBIM1¥
JOB履歴
最近使用したJOBの表示数 20 -
入力設定
部材クリック時の許容範囲 ± 5 - px
配置入力自動回復用データ保存; (配置入力時にエラーが発生した場合に作業中データを回復することができます) ☑ 次の操作回数ごとに保存する: 10 → 回
デザイン
リボンテーマ クリアブラック 〜
パネルテーマ クリアダーク 1 ~
□ メインメニューを自動的に隠す
_ クイックアクセスツールバー
コマンド選択 クイックアクセスボタン の新規作成
□ 最近使用した J O B ▲ C ATMAA ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲
・・ ・・・ ・・
システム登録(R) 閉じる(C)

(3) 左側の「コマンド一覧」から登録するコマンドを選択し、 追加>> ボタンを押します。



(4) 最終行にクイックアクセスボタンが追加されます。

- クイックアクセスツールバー				
コマンド選択		クイックアクセスボタン		
(部材配置) へ <u> 場 伏図形式</u> 配置	追加 >>	● 部材表示設定	j	自加したボタン
(%) Yフレーム 立面配置 (¥) Xフレーム 立面配置	- 1346	きの, 定義テータ チェック		
(設計テーブル) 値 標準コンクリート材料 ∨	区切り追加 >>	▲ 伏図形式 配置	\bigtriangledown	

- (5) 区切り線を追加する場合は、区切り追加>> ボタンを押します。
- (6) クイックアクセスボタンを削除する場合は、削除するクイックアクセスボタン(または区切り線)を選択 して、 <<削除 ボタンを押します。



- (7) クイックアクセスボタンの順序を変更する場合は、変更するクイックアクセスボタンを選択してから、右横の △ マ ボタンを押して移動することができます。
- (8) 編集が終わりましたら、システム登録(R) ボタンをクリックして保存します。
- (9) 次回「SIRBIM」を起動すると、クイックアクセスボタンがクイックアクセスツールバーに反映されます。

追加例:

区切り線+伏図形式 配置を追加



「SIRBIM」を再起動後、登録したクイックアクセスボタンが表示されます。

2.2.2.2. 「JOB」メニュー

	新規作成:新規にJOBを作成します
新規作成	
開く	開く : 既存の JOB を開きます
	最近使用した JOB :最近使用した JOB が複数表示されますので、 その一覧から選択可能です。表示する JOB の数は、 「環境設定」で変更可能です
上書き保存	
名前を付けて保存	上書き保存 : JOB 名で上書き保存します
通り軸の追加	名前を付けて保存:現在開いている JOB を名前を付けて保存し ます
差分更新	
部材表示設定	通り軸の追加 :X 軸またはY 軸を任意の位置に追加する事ができ ます
システムテーブル管理	差分更新 :設計変更などにより、既存の JOB に差分変更が生じた場合、既存の JOB の差分更新を行うツールです
環境設定	
終了	部材表示設定:部材毎の色、線種、表示/非表示、面材の透 明度などを設定できます
	マスノムノーノル自生・1F凶政定、谷性政定時報でリアイルとして 保存できます

環境設定: JOB 履歴の表示数、配置時のバックアップ条件、画面のデザインなどを設定します

2.2.2.3. 「インポート/エクスポート」メニュー

🖸 🛅 🕅 🤮			SI	RBIM Ver.1 [23	7-238_Sample	2023_1]				_ 🗆 ×
ЈОВ 🗘	ポート/エクスポート	確認 設計条件		建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出 🔼 🚺
変換共通設定 変換設定	SEIN From SEIN La CREA	Super Bu インボー	S7 om uild∕SS7 -ト	STB From ST-Bridge	To ST-Bridge	SNAP To SNAP エクスボ・	TSS To Tekla Structur	25		

変換共通設定:壁、床板の標準配筋、梁の標準腹筋設定を行います

From SEIN La CREA : 「SEIN La CREA」データをインポートします ※ 詳細は、「3.3 SEIN La CREA」を参照ください

From Super Build/SS7: 「Super Build/SS7」のデータをインポートします ※詳細は、「3.4 Super Build/SS7」を参照ください

From ST-Bridge : 「ST-Bridge」ファイルをインポートします ※ 詳細は、「3.5 ST-Bridge」を参照ください

To ST-Bridge: 現在開いている JOB を「ST-Bridge」ファイルに変換します

To SNAP: 現在開いている JOB を「SNAP」ファイルに変換します(オプション機能)

To Tekla Structure : 現在開いている JOB を「Tekla Structure の TSS」ファイルに変換します

(オプション機能)

2.2.2.4. 「確認」メニュー

💽 👛	۱ 🛃 🛃			SIRBIM Ver.1 [237-238_Sample2023_1]											
JOB	インポート/	゙エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出 🔼 🚺				
公 3D表示															
モデル確認	チェック データ確	チェック 記認													

3D表示:現在の開いている JOB の 3D 表示ができます

定義データチェック:定義テータのエラーチェックを行います

配置データチェック:配置テータのエラーチェックを行います

2.2.2.5. 「設計条件」メニュー

💽 👛 💆 🖁	3 👼		SI	RBIM Ver.1 [237	-238_Sample2	023_1]				_ 🗆 ×
ЈОВ 🕇	ンポート/エクスポー	ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出 🔼 👔
*	*	*	*	*	* 19	*	*	⇒	;≑š	
建物標準設定	コンクリート材料	鉄筋材料	高強度鉄筋 使用材料	使用鋼材種	鉄筋継手設定	定 梁下端筋 定着設定	i 柱梁フカシ 配筋設定	高強度鉄筋 一括変換	部材符号名 一括変更	
標準設定	עב	クリート・鉄筋	鉄骨 使用材料	4		詳細設定		ツー	۹Ľ	

建物標準設定:部材の自動伸縮設定、鉄筋の継手・定着方法、鉄筋のかぶり寸法の初期値などを設定 します

コンクリート材料:各部材の標準コンクリート材料および階別コンクリート材料を設定します

鉄筋材料:各部材の標準鉄筋材料および階別鉄筋材料を設定します

高強度鉄筋使用材料:高強度鉄筋のテーブルです。無い場合は、追加登録できます

使用鋼材種:鋼材種テーブルです。無い場合は、追加登録できます。

鉄筋継手設定:部材毎階毎の継手方法などの設定を行います

梁下端筋定着設定:曲げ上げ/曲げ下げの設定を行います

柱梁フカシ配筋設定:柱または梁にフカシを入力した場合、自動的にフカシの補強筋を入力するための設定 です

高強度鉄筋一括変換:柱の帯筋、梁の肋筋で入力されている高強度鉄筋を他の高強度鉄筋に一括変 換します

部材符号名一括変換:各部材の符号を、定義および配置で、一括変換します

2.2.2.6.「建物形状」メニュー

- 🖸 🖄 🖓 💭 SIRBIM Ver.1 [円弧] -													
JOB	インポー	ト/エクスポー	ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>~ 2</u> -	
建物概要	↓ 000 スパン長 基本形状	+- 通り軸名	レスティング 前点移動 形状	ダミーフロア 変更	ばし 通り 軸編集 ツール	日 参照図登録 参照図							

建物概要: X スパン数、Y スパン数、階高、各スパン長、階高、GL レベルなどを入力します

通り軸名:X,Y 通り軸名、階名を入力します

節点移動:X軸、Y軸、Z軸の交点位置=節点を移動するときに入力します

ダミーフロア:ダミーフロアを指定して、上または下のフロアに所属を設定することができます ※ 設定しても、SIRBIMの処理で変わることはありません

通り軸編集: CAD ライクに X 軸、 Y 軸、 Z 軸を編集できます

参照図登録:平面配置、立面配置の下絵として登録できます(DXF ファイルのみ)

2.2.2.7. 「部材定義」メニュー

💽 😂 🕅 💻	S	SIRBIM Ver.1 [ブレース検証 2	a_14]		_ 🗆 ×
JOB インポート/エクスポート 確認	設計条件 建物形状	部材定義 部材配置	設計テーブル	リスト図確認 構造図作図 設計数量	算出 🔽 🔽 🖌
?・・ 記書 日本 符号先頭文字列 デフルト設定 設定 基礎定義 社定義	大梁定義 小梁定義 即材断面	ブレース定義 壁板定義	○ 床版定義		社

符号先頭文字列デフォルト設定:部材符号のキー文字を設定します



柱継手定義:柱の継手位置と部材定義から日鋼、T鋼の継手データを作成または入力します 梁継手定義:梁の継手位置と部材定義から日鋼の継手データを作成または入力します 高力ボルトの許容応力度設定:継手計算で用いる興梠ボルトの材料特性データを設定します 柱梁接合部:通し区分、水平スチフナタイプ等を設定します。鉄骨詳細図を描くときに設定します

AI Structure インポート: 「AI Structure」がAI機能を使用して構造図面の部材リストを自動読込み、 作成した CSV ファイルをインポートします – 「AI Structure」は、**U's Factory** 社開発の製品です



2.2.2.8.「部材配置」メニュー

🖸 👛	1 🛃	<u>8</u>			SIRBIM	Ver.1 [Sample]	[Sample] – 🗆						
JOB	インボー	Ւ∕エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出 🔼 👔		
伏図形式 配置	Yフレーム 立面配置 配置	Xフレーム 立面配置											

伏図形式配置: Z 軸を指定して配置します。見上げ/見下げを指定しながら配置可能です

Y フレーム立面配置: Y 軸を指定して配置します。見る方向(↑/↓)を指定しながら配置可能です

X フレーム立面配置: X 軸を指定して配置します。見る方向(→ | ←)を指定しながら配置可能です

2.2.2.9. 「設計テーブル」メニュー



標準コンクリート材料テーブル:部材毎に、標準コンクリート材料を指定します。「設計条件」のコンクリート の標準材料で、このテーブル値を呼び出すことができます

標準鉄筋材料テーブル:部材毎に、標準鉄筋材料を指定します。「設計条件」のコンクリートの標準材料 で、このテーブル値を呼び出すことができます

鉄筋の継手長・定着長: 配筋指針で設定されている値を選択出来ます。異なる場合は、修正してください

機械式鉄筋定着形状:鉄筋径毎に定着板の形状寸法を指定します

2.2.2.10.「リスト図確認」メニュー

🖸 🖆 💈	3 🛃 👼				SIRBIM	Ver.1 [Sample]]			_ 🗆 ×	
JOB	インポートン	<i>、</i> エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出 🔼 👔
基礎リスト マ	使う 柱リスト ・ リスト	大梁UZP	小梁川	a スト							

基礎リスト:基礎定義、杭定義をリスト図を見ながら編集できます

柱リスト:基礎柱定義、柱定義、間柱定義をリスト図を見ながら編集できます

大梁リスト:基礎梁定義、片持基礎梁定義、大梁定義、片持大梁をリスト図を見ながら編集できます

小梁リスト:基礎小梁定義、片持基礎小梁定義、小梁定義、片持小梁をリスト図を見ながら編集できま す

2.2.2.11.「構造図作図」メニュー

G 👛 🛛 🖁	<u>R</u>			SIRBIM	Ver.1 [Sample]						_ 🗆 X
ЈОВ インポ	₼৴エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計	テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出 🛆 💽 🔹
文字設定 鉄筋マー	2 2設定 用紙設定	● 「 リスト図書	設定構	 ▲ ● ●	₩ ● 施工図設定 ▼	CAD CAD 出力語 ・	碇	(リスト図) 横渡	■ 構造図	施工図	

文字設定:構造図作図時の文字サイズ等を設定します

- 鉄筋マーク設定:鉄筋マークを「営繕協会」、「学会用」、「公団用」、「東京都財務局用」から選択します 鉄筋径毎にマークを選択して新しくテーブルを作成する事もできます
- 用紙設定:用紙サイズ、余白等を設定します。用紙サイズには、「フィット」サイズがあり、これを選択すると、 1枚の用紙に1図面を描きます。伏図、軸図、詳細図は、必ず「フィット」サイズの用紙に描きます。
- **リスト図設定**:断面リスト、文字リストの作図時の条件、設定値を変更できます。設定しながらリスト図を確認できますので、微調整しながら設定してください
- 構造図設定:伏図、軸組図、詳細図の作図時の条件、設定値を変更できます。作図後、各図面のプロパ ティとして変更して再作図できます
- 施工図設定:施工図の作図時の条件、設定値を変更できます。作図後、各図面のプロパティとして変更して再作図できます。また、施工図タグの形状を設定できます
- **CAD 出力設定**: DXF 出力、DRA-CAD 出力、Jw_cad 出力毎に、レイヤー設定、色指定などを行います

リスト図:リストを作図します – 「SIRBIM/リスト図」オプションが必要です

構造図:伏図、軸組図、詳細図を作図します – 「SIRBIM/構造図」または 「SIRBIM/構造図・施工図」オプションが必要です

施工図: 躯体図、鉄骨伏図、基礎断面図、断面図、鉄骨軸組図を作図します – 「SIRBIM/構造図・施工図」オプションが必要です

設計数量算出:設計数量を計算します – 「SIRBIM/数量」オプションが必要です

2.2.3.ファイルを開く

● 新規 JOB の作成

[JOB]→[新規作成]をクリックすることで、新規 JOB を作成します。

<u>a 👛 1</u>	3 🛃 👼			SIRBIM	Ver.1 [Sample]					- 🗆 ×
ЈОВ	インポート/エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>~ ?</u> -
新規作成]	·表									ļ
開く 	JOB +	1									ļ
上書き保存											
通り軸の追加	⁵ 1 7										
差分更新											
部材表示設定	аттан (
システムテーフル 環境設定	/6理										
終了											
-											

● 既存の JOB を開く

[JOB]→[開く]をクリックすると、JOB 選択画面が表示されます。 JOB を選択して、開く(O) ボタンをクリックします。

JOBファイルを開く				×
← → ~ ↑ 📙 > PC	ン ボリューム (D:) > SIRBIM1 > Data	5 V		
整理 ▼ 新しいフォルダー				• 🔳 🕐
<u> カイック マクセフ</u>	名前 ^	更新日時	種類	サイズ
X 2177772X	4 階 S 造.sirDB	2022/07/01 0:00	SIRDB ファイル	1,756 KB
lesson of the contract of the	S K ビル.sirDB	2022/07/01 0:00	SIRDB ファイル	5,160 KB
PC				
💣 ネットワーク				
ファイノ	V名(N): SKビル.sirDB	~	SIRBIM Ver.1 JOB77	イル(*.sirDB) ~
			開く(O)	キャンセル

2.2.4.終了

[JOB]→[終了]をクリックすることで、「SIRBIM」が終了します。 あるいは、メイン画面右上の「×」ボタンをクリックすると、「SIRBIM」が終了します。

💽 😂 🖄 🖓			SIRBIM	Ver.1 [Sample]					_ C ×
JOB インポート/エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u> </u>
第17天見作FDX	†表									
開く										
最近使用した J O B ・										
上書き保存										
名前を付けて保存										
通り軸の追加										
差分更新										
部材表示設定										
システムテーブル管理										
環境設定										
終了										

※ 作業中のフォームがある状態で、メイン画面の「×」ボタンをクリックすると、作業中のフォームが閉じます。

3. 構造計算データから SIRBIMへの変換

3.1. 変換に使用する構造計算データ

「SIRBIM」に変換することができる一貫構造計算データは以下の通りです。

- ・SEIN La CREA のテキストデータ (株式会社 NTT ファシリティーズ)
- ・ Super Build / SS7 の CAD リンクファイル(ユニオンシステム株式会社)
- ・「ST-Bridge」ファイルをエクスポート可能な一貫構造計算ソフト、積算ソフトなど

3.2. 変換時の初期設定

一貫構造計算データで、鉄筋情報が未定義の場合、初期値テーブルを利用して鉄筋情報をインポート時 に設定できます。

3.2.1.壁・スラブの標準配筋テーブル設定

壁の標準配筋テーブルに関して

ー貫構造計算データのインポート時、壁配筋が未入力の場合、壁厚が同じものをテーブルから検索し、 見つかればその配筋データを採用します。同じ壁厚が無い場合は、符号 = Default の配筋情報が採用 されます。入力項目に、壁符号、壁種別がありますが、インポート時には使用していませんので、ダミーとし て入力します。

スラブの標準配筋テーブルに関して

スラブの場合は、スラブ符号と床厚で比較します。インポート時に、一貫構造計算の床データの配筋が未 入力の場合、一般スラブでは、床厚が同じでテーブルのスラブ符号の先頭が 'S' のものを検索し、その配 筋データを採用します。同様に、片持床の場合は、床厚とテーブルのスラブ符号の先頭が 'CS' のもの、 基礎スラブの場合は、床厚とテーブルのスラブ符号の先頭が 'FS' のものを検索し、その配筋データを採 用します。同じ床厚が無い場合は、符号 = Default の配筋情報が採用されます。

(1) [インポート/エクスポート]タブ→[変換共通設定]の[壁の標準配筋]または[床版の標準配筋]を クリックします。

🚺 👛 🛛 🛃	3 👼			SIRBIM	Ver.1 [新規JOB	3]					- 🗆 ×
јов 🐔	ンポート/エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>~ 2</u> -
2 変換共通設定 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	SEIN From SEIN La CREA	F Super I インボ	SS7 From Build/SS7 ート	STB From ST-Bridge	STB To ST-Bridge	SNAP To SNAP IDZ#-	TSS To Tekla Structur	es			
 	筋 田設定										

(2) 壁の標準配筋

壁厚に対応した、配筋データを登録します。壁符号は、ダミーで入力しておきます。

壁標準配筋																				×
壁標準配筋テーブル一覧 ▲	₹-3	ブル : No.1	標準設定														表示倍	率日	100 🜩	%
使用テーブル名									縦筋			橫筋				開口	補強筋			
1. 有效单数定	No	符号	壁種別	壁厚	重量	配筋タイプ	位			Pw≠			Pw≠	新	芷 筋	ŧ	黄筋	\$	\$155	
							置	径1	径2		径1	径2		本数	径	本数	径	本数	径	
	-	Defeult	AL PÉ	[mm]	[N/m]	5 5 F a	~	D10		[mm]	D10		[mm]	[本]		[本]		[本]		1
	1	Derault	275堂			シングル	Ŧ	010		200	010		200							
		W12	外壁	120		シングル	全	D10		200	D10		200							
	2		71 m				-			200			200							
		W15	外壁	150		チドリ	全	D10		200	D10		200	2	D10	2	D10	2	D10	
	3																			
	4	W18	外壁	180		ダブル	全	D10		200	D10		200	2	D13	2	D13	2	D13	
	Ŀ.																			
	5	W20	外壁	200		ダブル	全	D13		200	D13		200	2	D13	2	D13	2	D13	
		-																		
	6																			Ţ
· · · · · ·																				
追加 コピー 削除																3	ステム登録	(R)	閉じる(C))

● 壁標準配筋テーブル一覧

標準配筋テーブルは追加、削除することができます。



「追加」:新規にテーブルを作成する時は、 追加 ボタンを押します。 「コピー」:既存のテーブルをコピーして編集する時は、 コピー ボタンを押します。 「削除」:作成したテーブルを削除する時は、 削除 ボタンを押します。 複数テーブルがある場合は、使用するテーブルを 🛛 で指定します。

● 標準配筋

テーブ	່)ໄ: No.1	標準設定								表示倍望	率關	100 🌩 🥺	%
				4. 6				縦筋			横筋		-
No	符号	壁種別	壁厚	任上 重量	配筋タイプ	位置	径1	径2	ピッチ	径1	径2	ピッチ	
			[mm]	[N/mi]					[mm]			[mm]	
1	Default	外壁			シングル	全	D10		200	D10		200	
2	W12	外壁	120		シングル	全	D10		200	D10		200	
													
, .	W15	外壁	150		チドリ	全	D10		200	D10		200	
3													
	W18	外壁	180		ダブル	全	D10		200	D10		200	
4													
-	W20	外壁	200		ダブル	全	D13		200	D13		200	-
Ī												►	

※ 実際の壁符号は、インポートした一貫構造計算データで決まります。

ー貫構造計算の壁厚に対応する壁厚が無い場合は、「壁厚=ブランク」の Default の配筋情報 がセットされます。

(3) 床の標準配筋

スラブ符号と壁厚に対応した、配筋データを登録します。

ヨーテーノル名				床	孠		仕上					端部			中央			Ax•Ay	
」標準設定	No	符号	床種別	中央部	端部	NUT &	重量	日ご用力 タイプ	配筋	位署	2因1	(双)	ピッチ	(茶1	(茶2)	ピッチ	(表1	182	ピッチ
				[mm]	[mm]	[mm]	[N/mi]		1010	_	12.1	122	[mm]	1111	1124	[mm]	1111	1124	[mm]
		Default	床版(フラットデッキ)					ダブル	主力筋	上	D10		200	D10		200	D10		200
	1									下	D10		200	D10		200	D10		200
	1								配力筋	上	D10		200	D10		200	D10		200
										T	D10		200	D10		200	D10		200
		S1	床版(一般型枠)	150				ダブル	主力筋	上	D10	D13	200	D10	D13	200	D10	D13	200
	2									下	D10		200	D10		200	D10		200
	1 ²								配力筋	F	D10	D13	250	D10	D13	250	D10	D13	250
										下	D10		250	D10		250	D10		250
		S1	床版(一般型枠)	160				ダブル	主力筋	上	D10	D13	200	D10	D13	200	D10	D13	200
										下	D10		200	D10		200	D10		200
	1								配力筋	上	D10	D13	200	D10	D13	200	D10	D13	200
-										下	D10		250	D10		250	D10		250

- 床標準配筋テーブル一覧
 床の場合も標準配筋テーブルを追加、削除することができます。
- 標準配筋

床厚、および、床属性(S, CS, FS)に対応して、配筋データを登録します。 床の属性により、以下の様に符号を入力します。(xxx は、サフィックス部分)

一般床 :**S**xxx

片持床 : CSxxx

底盤 : FSxxx

- ※ 実際の床符号は、インポートした一貫構造計算データで決まります。一貫構造計算の床厚に対応 する床厚が無い場合は、「床厚=ブランク」の Default の配筋情報がセットされます。
- (4) システム登録・閉じる

システム登録(R)	閉じる(C)
-----------	--------

システム登録(R): 登録したテーブルをシステム登録します。

システム登録されたテーブルは、別のデータ変換の際にも登録した内容で変換されます。

システム登録	₹(R)	閉じる(C)
閉じる(C)	:画面	を閉じます。

3.2.2.梁の腹筋段数テーブル設定

梁成毎に腹筋の段数および鉄筋径をテーブルとして作成します。一貫計算データをインポートするとき、自動的に各梁部材(大梁、基礎梁、小梁、基礎小梁)の梁成に対応した腹筋の段数および鉄筋径を入 力できます。

(1) [インポート/エクスポート]タブ→[変換共通設定]

→[梁の腹筋	(段数+鉄筋径)	の標準設定]をクリックします
--------	----------	----------------

ſ	🚺 👛 🛛 🛃	P	_		SIRBIM	Ver.1 [S K ビル	@]					- 🗆 ×
	јов 🧹	ンポート/エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	2
	な 変換共通設定 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	From SEIN La CREA	F Super I インボ	SS7 From Build/SS7 にート	STB From ST-Bridge	STB To ST-Bridge	SNAP To SNAP エクスボー	TSS To Tekla Structur -h	es			
	一冊 床版の標準配 ★ 梁の腹筋(段)	筋 数+鉄筋径)の標準計	设定									

▼ 標準設定	梁腹筋	Nest								及股合金				汤哈拉		
	図れて人気	机复制刀	胞餠		≥∞∞∞未	10518/0	胞餠	•	2.10	KASAJ	腹筋		22.成	未版机	腹銘	
	·····································	段	径	-	乘 派 mm以上	段	径		乘 派 mm以上	段	径		乘 派 mm以上	段	径	
	600	1	D10		600	1	D10		600	1	D10		600	1	D10	_
	900	2	D10		900	2	D10		900	2	D10		900	2	D10	
	1200	3	D13		1200	3	D13		1200	3	D13		1200	3	D13	
	1500	4	D13		1500	4	D13		1500	4	D13		1500	4	D13	
	1800	5	D13		1800	5	D13		1800	5	D13		1800	5	D13	
	2100	6	D13		2100	6	D13		2100	6	D13		2100	6	D13	
	2400	7	D13		2400	7	D13		2400	7	D13		2400	7	D13	
				•				•				•				-
	and the second															
-	梁成順に	並び替	え													

(2)「梁の腹筋(段数+鉄筋径)の標準設定」を入力します

● 梁腹筋(段数および鉄筋径)
 梁成毎に段数および鉄筋径をテーブルとして入力してください。

3.2.3. 鉄筋標準かぶり厚

(変換で参照する鉄筋かぶり厚について)

ー貫構造計算データまたは ST-Bridge の主筋のかぶり厚を使用しないで、「SIRBIM」の標準設定のかぶり厚を指定することができます。

[設計条件]タブ→[建物標準設定]→[鉄筋かぶり厚]タブで、予め指定したかぶり厚で変換します。

108 イバート/120スペート 経転 101日の	() 🖆 🛃	3 👳				SIRBIM	Ver.1 [梁リスト]						- 🗆 ×	
Comparison Comparison	J	ов 🖒	ンポート	/エクスポー	ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	2	
建物標率設定 [Sample] 工 建物標準設定 (Sample] 建物標準設定 (Sample] 建物標準設定 (Sample] 工作 周囲(m) 70 水方向 水方向 工程(m) 50 大方向 工程(m) 257µ Y方向 Y方向 工程(m) 工程(m) 50 五砲(m) 50 五砲(m) 50 大方向 工程(m) 工程(m) 100 大方向 工程(m) 工程(m) 40 小方向 工程(m) 工程(m) 40 小方向 工程(m) 100 1 大方向 工程(m) 100 1 大方向 工程(m) 100 1 110 1 110 1 110 1 110 1 110 1 111 10 111 10 111 10 111 10 111 10 111 10 111 10 111 10 111 10 111 10	建	* · · · · · · · · · · · · ·	* コンク! 設定	ビン リート材料 コン・	鉄筋材料 クリート・鉄筋	▲ 高強度鉄筋 使用材料 ・鉄骨 使用材料	* 使用鋼材種	教 新継手設	* 定 梁下端船 定着設成 詳細設定	た。 花梁フカシ 吉 配筋設定	高強度鉄筋 一括変換 ツーノ	? ÷? ^{部材符号名} 一括変更 ↓			
建物標準設定 鉄筋 鉄筋かぶ0厚 表示倍率 田 100 mm % 周田(mm) 70 周田(mm) 70 周周(mm) 70 Ball main right main right main main main main	ſ	 建物標準證	远定 [S	ample]						×					
日田(m) 70 基礎 トッブ(m) 70 柱 周田(m) 40 日田(m) 40 日田(m) 支付(m) 50 万向 左根(m) 50 石倒(m) 支付(m) 50 石倒(m) 水方向 下端(m) 70 大方向 下端(m) 50 大街(m) 50 石倒(m) 大方向 下端(m) 70 左倒(m) 50 五 小方向 下端(m) 70 左側(m) 50 五 小方向 下端(m) 70 左側(m) 50 五 小方向 下端(m) 40 小方向 下端(m) 40 大方向 下端(m) 40 小方向 一(m) 40 小方向 一(m) 40 小方(m) 40 ▼ 初明化(F) システム登録(R) 確定(D)		建物標準	設定	鉄飠	务 鉄	防かぶり厚	₹	表示倍率 日本	100 🔹	%					
市 市 市 市 市 10 日田(m) 40 50 </th <th>_</th> <th></th> <th></th> <th>基礎</th> <th>周 トッ</th> <th>囲(mm) プ(mm)</th> <th></th> <th>70 70</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>	_			基礎	周 トッ	囲(mm) プ(mm)		70 70							
柱 周田(m) 40 水方向 上端(m) 50 下端(m) 110 左則(m) 50 右削(m) 50 石削(m) 40 水方向 下端(m)<40					ボト	·⊿(mm)		70							
モデル 本方向 上端(m) 50 万向 万向 万向 万向 車磁梁 水方向 上端(m) 50 万向 五儆(m) 50 大方向 上端(m) 90 下端(m) 70 五儆(m) 大方向 上端(m) 90 下端(m) 50 石側(m) 石側(m) 50 石側(m) 50 石側(m) 50 石側(m) 40 下端(m) 40 大方向 上端(m) 万向 五儆(m) 七端(m) 80 大方向 上端(m) 上端(m) 40 大向 五儆(m)				柱	周	⊞(mm)		40							
モデル 本方向 下端(m) 110 基礎染 工端(m) 50 工機(m) 50 工機(m) 90 ア方向 上端(m) 工機(m) 50 工機(m) 40 工 工 初期化(F) システム登録(R)						上端(mm)		50							
モデル 基礎梁 左側(mn) 50 モデル 平端(mn) 90 ア方向 下端(mn) 70 左側(mn) 50 石側(mn) 50 石側(mn) 50 石側(mn) 50 方向 万端(mn) 下端(mn) 40 上端(mn) 40 上端(mn) 40 上端(mn) 40 上端(mn) 40 大方向 上端(mn) 上端(mn) 40 大向(mn) 40					X方向	下端(mm)		110							
モデル 基礎梁 石側(m) 50 ド端(m) 90 ア方向 下端(m) 70 左側(m) 50 石側(m) 50 石側(m) 50 大方向 下端(m) 40 ア炭梁 上端(m) 40 大方向 下端(m) 80 左側(m) 40 大方向 上端(m) 80 左側(m) 40 大方向 下端(m) 40 大方向 下端(m) 40 大方向 下端(m) 40 大方向 下端(m) 40 大方向 「大端(m) 40 大 大術(m) 40 マ マ マ						左側(mm)		50							
モデル Y方向 上端(m) 90 下端(m) 70 左側(m) 50 右側(m) 50 上端(m) 40 下端(m) 40 下端(m) 40 上端(m) 40 上端(m) 40 上端(m) 40 上端(m) 40 上端(m) 40 大方向 上端(m) 上端(m) 40 大方向 上端(m) 近側(m) 40 大方向 上端(m) 小方向 上端(m) 七側(m) 40 大方向 上端(m) 初期化(F) システム登録(R)				基礎梁		右側(mm)		50							
モデル Y方向 下端(m) 50 左側(m) 50 右側(m) 50 大方向 下端(m) 40 上端(m) 40 左側(m) 40 左側(m) 40 上端(m) 40 上端(m) 40 上端(m) 40 上端(m) 40 上端(m) 40 大方向 上端(m) Y方向 上端(m) 小方向 七端(m) Y方向 上端(m) 小方向 七端(m) Y方向 上端(m) Y方向 上端(m) Y方向 七端(m) Y方向 日間(m) Y方向 日間(m) Y方向 日間(m) Y方向 日間(m)						上端(mm)		90							
初期化(F) システム登録(R)		モデル			Y方向	下端(mm)		70							
石側(mm) 50 上端(mm) 40 下端(mm) 80 左側(mm) 40 右側(mm) 40 上端(mm) 80 下端(mm) 80 下端(mm) 40 大方向 上端(mm) 上端(mm) 40 大方向 上端(mm) 大方向 上端(mm) 大方向 上端(mm) 大向(mm) 40 大向(mm) 40 大向(mm) 40 大向(mm) 40 大切期化(F) システム登録(R) 鉄筋かぶり厚を配置に反映 確定(D) 閉じる(C)						左側(mm)		50							
小方向 上端(mm) 40 一般梁 小方向 下端(mm) 40 上側(mm) 40 右側(mm) 40 上端(mm) 40 上端(mm) 40 上端(mm) 40 下端(mm) 40 大方向 下端(mm) 小方向 上端(mm) 40 大向(mm) 40 大向(mm) 40 大向(mm) 40 大向(mm) 40 文 初期化(F) システム登録(R) 鉄筋かぶり厚を配置に反映 確定(D) 閉じる(C)			_			石側(mm)		50				i 卸材符号名 一括変更 ソール			
水方向 下端(mm) 80 一般梁 左側(mm) 40 一般梁 上端(mm) 40 上端(mm) 40 上端(mm) 40 大方向 下端(mm) 40 大方向 下端(mm) 40 水方向 下端(mm) 40 水方向 下端(mm) 40 水方向 下端(mm) 40 水方向 石側(mm) 40 水方向 支根(mm) 40 水方向 支根(mm) 40 水方向 支根(mm) 40						上端(mm)		40							
一般梁 上端(mm) 40 一般梁 上端(mm) 40 上端(mm) 40 上端(mm) 40 下端(mm) 40 左側(mm) 40 右側(mm) 40 「小方向 下端(mm) 七側(mm) 40 大側(mm) 40 「 「 初期化(F) システム登録(R)					X方向	ト端(mm) た別(、)		80							
 一般梁 一般梁 上端(mn) 40 上端(mn) 80 下端(mn) 40 左側(mn) 40 右側(mn) 40 初期化(F) システム登録(R) 							左側(mm) 左側(mm)		40						
Y方向 上端(m) 30 Y方向 下端(m) 40 左側(m) 40 右側(m) 40 √ 初期化(F) システム登録(R) 鉄筋かぶり厚を配置に反映 確定(D) 閉じる(C)			· -	一般梁		石(則(mm)		40							
Y方向 下端(mm) 40 左側(mm) 40 石側(mm) 40 初期化(F) システム登録(R) 鉄筋かぶり厚を配置に反映 確定(D) 閉じる(C)					·····································	上垢(mm) 工 ⁺ (mm)		80							
(m) 40 初期化(F) システム登録(R) 鉄筋かぶり厚を配置に反映 確定(D)						下垢(MM) ナ側(mm)		40							
初期化(F) システム登録(R) 鉄筋かぶり厚を配置に反映 確定(D)						左侧(mm) 右側(mm)		40		-					
初期化(F) システム登録(R) 鉄筋かぶり厚を配置に反映 確定(D) 閉じる(C)						- H M3(mm)		10							
鉄筋かぶり厚を配置に反映 確定(D) 閉じる(C)		初期化(F)	システム를	登録(R)										
					鉄筋か	ぶり厚を配置	に反映	確定(D)	閉じる(0	C)					

この鉄筋かぶり厚の情報は、下記で使用されます。

- RC 配筋詳細図
- ・ SIRBIM/数量

3.3. SEIN La CREA

3.3.1. SEIN La CREAでの準備

「SEIN La CREA」で、建物モデルのモデル化を実行すると、建物モデルデータファイルのあるところに、 「[建物モデル名]モデル-1¥stxt」フォルダが作成されます。

その下に、SEIN La CREA で出力した『*.**Stxt**』ファイル群が作成されますので、その中で、以下の3フ ァイルを使用して、「SIRBIM」にインポートします。

・「部材定義.Stxt」

- ・「材料定義.Stxt」
- ・「断面定義.Stxt」

3.3.2. SEIN La CREAデータインポート

[インポート/エクスポート]タブ→[From SEIN La CREA]をクリックします。



「From SEIN La CREA」を選択すると、以下の画面が表示されます。

 第 SEIN La CREA インボート × 入力データファイル D:¥SampleData¥CREA¥Sample1¥部材定義.Stxt 参照 出力308名 Sample1 出力先フォルダ D:¥SIRBIM1¥Data¥ 変換設定 算厚 10(1) m 以下は変換しない 床厚 10(1) m 以下は変換しない レベル設定を行う Z額からの部材天満レベル(m) 大衆 ①(1) 小梁 ①(1) 元ブ 0(1) 元ブ 局下幅に「基礎階」を指加したい場合に設定します 「「基礎インボート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ (FSxx)を配置する 際高」2000(1) m ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う 実行(E) 閉じる(C) 		
入力データファイル D:¥SampleData¥CREA¥Sample1¥部材定義.Stxt 参照 出力JOB名 Sample1 出力方フルグ D:¥SIRBIM1¥Data¥ 参照 変換設定 「 壁厚 10 (*) mm 以下は変換しない 」 水厚 10 (*) mm 以下は変換しない 」レベル設定を行う Z軸からの部材天端レベル(m) 大衆 0 (*) 小梁 0 (*) スラブ 0 (*) 段下層に「基礎階」を追加したい場合に設定しまず 「 古盛代 ノボート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎入ラブ (FSxx) を配置する ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います 「 開口定義の一般間口を恋問口で部材登録を行う 実行(E) 閉じる(C)	関 SEIN La CREA インポート	\times
D:¥SampleData¥CREA¥Sample1¥部材定義.Stxt 参照 出力30B名 Sample1 出力先フォルダ D:¥SIRBIM1¥Data¥ 参照 変換設定 重厚 10	入力データファイル	
 出力308名 Sample1 出力先フォルダ D:¥SIRBIM1¥Data¥ 参照 変換設定 「車厚 10000mm 以下は変換しない 」 床厚 10000mm 以下は変換しない □ レベル設定を行う Z軸からの部材天満レベル(mm) 大梁 00000mm 以下は変換しない レベル設定を行う 尾下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します 国礎では空間したい場合に設定します 二 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する 座高 200000mm ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う 	D:¥SampleData¥CREA¥Sample1¥部材定義.Stxt	参照
Sample1 出力先フォルダ D:¥SIRBIM1¥Data¥ 変換設定 「雪厚 10 中 m 以下は変換しない 床厚 10 中 m 以下は変換しない レベル設定を行う 乙輪からの部材天満レベル(mn) 大梁 0 中 小梁 0 中 スラブ 0 中 最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します 冨蔓 2000 中 m ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う 裏行(E) 閉じる(C)	出力ЈОВ名	
 出力先フォルダ D:¥SIRBIM1¥Data¥ 参照 変換設定 重厚 10,0,mm 以下は変換しない 床厚 10,0,mm 以下は変換しない レベル設定を行う Z軸からの部材天満レベル(mm) 大梁 0,0, スラブ 0,0, スラブ 取下幅に「基礎関連を追加したい場合に設定します 副磁化ポート時に「基礎関連を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する 座高 2000,0, mm ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う 	Sample1	
D:¥SIRBIM1¥Data¥ 参照 変換設定		
変換設定 壁厚 10 (*) mm 以下は変換しない 床厚 10 (*) mm 以下は変換しない レベル設定を行う Z軸からの部材天満レベル(mm) 大梁 0 (*) 小梁 0 (*) 最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します 基礎インボート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ (FSxx) を配置する 際高 2000 (*) mm ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います 開口定義の一般開口を恋開口で部材登録を行う 裏行(E) 閉じる(C)	D:¥SIRBIM1¥Data¥	参照
望厚 10 € mm 以下は変換しない 床厚 10 € mm 以下は変換しない レベル設定を行う Z軸からの部材天端レベル(mm) 大梁 0 € スラブ 0 € 最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します 量 基礎インボート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ (FSxx) を配置する 幣高 2000 € mm ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う	変換設定	
□ 床厚 10 ⊕ mm 以下は変換しない □ レベル設定を行う Z軸からの部材天端レベル(mm) 大梁 0 ⊕ ハ梁 0 ⊕ 月層に「基礎階」を追加したい場合に設定します ■ 基礎インボート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する 階高 2000 ⊕ mm ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います ■ 開口定義の一般開口を窓開口で部村登録を行う 実行(E) 閉じる(C)	□ 壁厚 10 🖢 📷 以下は変換しない	
 レベル設定を行う Z執からの部材天端レベル(m) 大梁 ○ ☆ 小梁 ○ ☆ スラブ ○ ☆ 最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ (FSxx) を配置する 階高 2000 m	□ 床厚 10 ਦ mm 以下は変換しない	
Z軸からの部材天端レベル(m) 大梁 ○ ↓ 小梁 ○ ↓ スラブ ○ ↓ 局下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します □ 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する 階高 2000 ↓ m ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います □ 閉口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う 実行(E) 閉じる(C)	□ レベル設定を行う	
大梁 0 ☆ 小梁 0 ☆ スラブ 0 ☆ 日下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します 昼谷/ンポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する 階高 2000 ☆ mm ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う 実行(E) 閉じる(C)	Z軸からの部材天端レベル(mm)	
 最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する 階高 2000 mm ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う 実行(E) 閉じる(C) 	大梁 0 🖢 小梁 0 🖢 スラブ 0 🗣	
 ■ 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する 階高(2000) = ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う 実行(E) 閉じる(C) 	ー 最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します	
 階高 2000 € m ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います □ 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う 実行(E) 閉じる(C) 	□ 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ (FSxx) を配置する	
※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う 実行(E) 閉じる(C)	階高 2000 🐳 📖	
□ 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う 実行(E) 閉じる(C)	※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用いま	व
実行(E) 閉じる(C)	□ 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う	
	実行(E) 艮	引じる(C)

● 入力データファイル

変換する「STXT ファイル(部材定義.Stxt)」を指定します。

参照... ボタンをクリックすると、変換する STXT ファイル(部材定義.Stxt)を選択することができます。

🌒 入力データファイルの選択		×
\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \square \rightarrow PC \rightarrow π U ₂ - $(D;) \rightarrow$ SampleData \rightarrow CREA \rightarrow Sample1 \checkmark \circlearrowright		
整理 ▼ 新しいフォルダー	===	- 🔳 🕐
 ▲ 名前 ▲ クイック アクセス ▲ デスクトップ オ ▲ ダウンロード オ 	種類 STXT ファイル	サイズ 15,185 KB
ファイル名(N): 部材定義.Stxt 〜	SEINデータ ファイル (部) 開く(O)	材定義.Stxt ~ キャンセル

※ 変換する際は、同じフォルダ内に、「部材定義.Stxt」、「材料定義.Stxt」、「断面定義.Stxt」 の3つのファイルがあることを確認してください。

● 出力 JOB 名

入力データファイルを選択すると、STXT ファイル群の上位フォルダ名が出力 JOB 名となります。 変更する場合に入力します。

● 出力先フォルダ

出力先フォルダを指定します。 参照... ボタンをクリックすると、入力データファイル、出力先フォルダを参照できます。

- 壁厚_____m以下は変換しない
 チェックを入れると、壁厚を入力できるようになります。指定した壁厚以下の壁は変換しません。
- 床厚_____m以下は変換しない チェックを入れると、床厚を入力できるようになります。指定した床厚以下の床は変換しません。
- レベル設定を行う

チェックを入れると、大梁、小梁、スラブを基準軸から指定した天端レベルで変換します。

変換設定	
☑ 床厚 10 € mm 以下は変換しない	
☑ レベル設定を行う	
Z軸からの部材天端レベル(mm)	
大梁 0 🗣 小梁 0 🖨 スラブ 0 🖨	

● 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する チェックを入れると、基礎階を作成して基礎と基礎スラブ(FSxx)を基礎階に変換します。 階高は基礎配置が無い場合、基礎下端が最下層以上の場合に使用し、指定した階高で基礎階を 作成して変換します。

最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します
☑ 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する
階高 2000 🖨 mm
※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います

- 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う
 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行います。
 チェックを入れると、一般開口を窓開口(開口種別=窓開口)で変換します。
 図開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う
- 実行

各設定後、実行(E) ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。 変換開始する場合は、はい(Y) ボタンをクリックします。

SEIN La C	REA <mark>イ</mark> ンポート	\times
?	D:¥SampleData¥CREA¥Sample1¥部材定義.Stxt をインポートして D:¥SIRBIM1¥Data¥Sample1.sirDB を作成します。 変換を開始してよろしいですか?	
	(はい(Y) いいえ(N)	

STXT ファイルの柱・梁配置位置から通り軸を作成し、下記のような「通り軸調整」画面が表示されます。 確定(D) ボタンをクリックして、変換を実行してください。



※ 必要に応じて、通り軸を調整することができます。詳細は、次ページをご参照ください。

変換が終了後、以下のメッセージで表示された場合は全ての部材が変換されています。



変換できなかった項目がある場合、以下のメッセージが表示されます。 変換のログを保存する場合は、名前を付けて保存(S) ボタンをクリックしてください。

SEIN L	a CREA インボート	×
i	D:¥SampleData¥CREA¥Sample1¥卸材定義.Stxtの変換が完了しました。	
	[RC柱]柱頭柱脚の配筋を変換しました。(C01) [RC柱]柱頭柱脚の配筋を変換しました。(C02)	\sim
	<	>
	名前を付けて保存(S) 閉じる	(C)

● 通り軸調整機能について

インポートする前に、通り軸を編集することができます。

▶ 通り軸再計算

通り軸再計算... ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

選択肢から計算方法を選んで、再計算することができます。

	表示設定	通り軸再計算	保存	読込
X軸 10 +> ② 10 Y軸 10 + ③ 20 11	<u>新京</u> 🛛 🗟	補助線 🔪 🔀	\Diamond	
通り軸再計算 ×				
通り軸を計算する方法を選択してください。				
○ 柱が通るように計算				
○ フロアごとに梁が通るように計算				
● 柱からブロックを構成して計算				
ブロック範囲 1000 🍚 ՠ				
☑ 柱がない梁端部に軸を設ける				
再計算 (D) キャンセル (C)				

- フロア毎に梁が通るように計算
 梁が平面的に傾斜しているモデルで設定します
- ※「SEIN La CREA」は、通り軸が無くても柱、梁などの部材を配置できます。一方、「SIRBIM」 は、柱は通り軸の交点、梁は通り軸上または2節点間でしか配置できません。この様な制限 があるため、「SEIN La CREA」のデータをインポートする場合、必要な通り軸が無いと、柱、梁 等の全ての部材をインポートする事ができない場合があります。その場合は、必要な通り軸を 追加してください。

▶ 通り軸編集

例えばX軸を追加する場合は、以下のアイコンをクリックすると追加する通り軸の入力画面が表示 されます。

画面操作 🚺 🕘 🗋	QQ 🗆 🕇 🚍 💠	表示設定	通り軸再計算	保存 読込
X軸 🚫 ↔ 🖗	Y軸 🔽 🕀 🖉 的	远 🛛 🗟	補助線 🔪 🔀	\Diamond
基準とする通り軸 X01 (X1)				
挿入位置				
●前 ○後ろ 1,000.00 + mm				
軸名 X01'				
追加 (A)				
キャンセル (C)				

▶ 保存/読込

編集した通り軸設定を保存、または、既存の通り軸情報を読み込むことができます。

画面操作 🚺 🖑 🗋	00 📼 🕇 🚍 🗄	表示設定	通り軸再計算	保存	読込
X軸 🚫 🕂 🖄 🐼	Y 🏚 🚫 💠 💮 😒	前点 🛛 🗟	補助線 📏 🔀	\Diamond	
3.4. Super Build / SS7

3.4.1. Super Build/SS7での準備

Super Build / SS7 データをインポートする場合は、CAD リンクファイル『*.cad7』を使用します。 CAD リンクファイル『*.cad7』を作成する方法は、以下になります。

- ① Super Build/SS7 にて、「解析指定」の「準備計算」を実行します
- 下図の「結果の一覧」 画面で CAD リンク ボタンをクリックし、指定した場所に『*.cad7』ファイルを保存します

創結界	見の一覧			×
ליים	保存先	۶t	解析日時	解析済
2) 結果1	2	2020/05/18 09:53:26	準備計算
	結果2			未使用
	結果3			未使用
	結果4			未使用
	結果5			未使用
		□ック ⇔ 解除 メモ編集 復 元	削除	CADリンク ヘルプ

3.4.2. Super Build / SS7データインポート

[インポート/エクスポート]タブ→[From Super Build/SS7]をクリックします。

💽 👛 💆 🛃			SIRB	IM Ver.1 [S K	ビルコ					_ 🗆 ×
ЈОВ 🗘	ポート/エクスポート	確認 設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	No.
変換共通設定 変換設定	SEIN From SEIN La CREA	Super Build/SS7	STB From ST-Bridge	To ST-Bridge	SNAP To SNAP IDZT-	TSS To Tekla Structur	res			

From	Super	Build /	´SS7	を選択すると、	以下	の画面が表示されます。
------	-------	---------	------	---------	----	-------------

Ill SuperBuild/SS7 インポート	×
入力データファイル	
D:¥SampleData¥SS7¥Sample.cad7	参照
出力ЈОВ名	
Sample	
出力先フォルダ	
D:¥SIRBIM1¥Data	参照
変換設定	
□ 壁厚 10 → mm 以下は変換しない	
□ 床厚 10 - III III IIII IIII IIII IIIII IIIIIIII	
✓ 主筋のかぶり厚は変換しない.	
(変換しない場合は標準設定のかぶり厚で変換されます)	
✓ はかま筋をベース筋と同本数で変換する	
径 D10 V で変換する	
□ レベル設定を行う	
Z軸からの部材天端レベル(mm)	
最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します	
□ 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する	
階高 2000 🔶 ՠ	
※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用	います
□ 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う	
✓ 柱の一本部材指定は、途中の梁で分割処理しない(SS7の一本部材指定通り変)	換します)
□ 梁の一本部材判定で柱として認識する符号の頭文字を指定する	
柱として認識する符号の頭文字(カンマ区切りで複数指定)C,SC	
	1
关订(口) 闭	10°0(C)

● 入力データファイル

変換する「CADリンクファイル」を指定します。

「CAD リンクファイル」の出力方法は 3.4.1. Super Build/SS7 での準備を参照します。

参照 ボタンをクリックすると、変換する「CAD リンクファイル	(*.cad7)」を選択する	ことができます。
🎒 入力データファイルの選択			×
\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \blacktriangleright PC \Rightarrow π U=- $(D:)$ \Rightarrow SampleData \Rightarrow SS7	ٽ ~	_─ SS7の検索	
整理 ▼ 新しいフォルダー			- 🔳 🕐
 ▲ 26前 ☆ クイック アクセス □ デスクトップ ★ □ Sample.cad7 ↓ ダウンロード ★ 		種頬 CAD7 ファイル	サイズ 1,269 KB
ファイル名(N): Sample.cad7	~	SS7 CADリンクファイル 開く(O)	・(*.cad7) ~ キャンセル

● 出力 JOB 名

JOB 名を指定します。

入力データファイルを選択すると、「CAD リンクファイル」のファイル名が出力 JOB 名となります。

- 出力先フォルダ
 出力先フォルダを指定します。
 参照...ボタンをクリックすると入力データファイル、出力先フォルダを参照できます。
- 壁厚_____m以下は変換しない チェックを入れると、壁厚を入力できるようになります。指定した壁厚以下の壁は変換しません。
- 床厚_____m以下は変換しない
 チェックを入れると、床厚を入力できるようになります。指定した床厚以下の床は変換しません。
- 主筋のかぶり厚は変換しない チェックすると、「SIRBIM」の標準設定のかぶり厚でモデル化されます。
- はかま筋をベース筋と同本数で変換する チェックを入れると、はかま筋径を指定できるようになります。
 指定したはかま筋で、ベース筋と同本数で変換します。
 はかま筋をベース筋と同本数で変換する 径 D10 、で変換する
- レベル設定を行う
 チェックを入れると、大梁、小梁、スラブを基準軸から指定した天端レベルで変換します。
- 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する チェックを入れると、基礎階を作成して基礎と基礎スラブ(FSxx)を基礎階に変換します。 階高は基礎配置が無い場合、基礎下端が最下層以上の場合に使用し、指定した階高で基礎階を 作成して変換します。
- 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う
 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行います。
 チェックを入れると、一般開口を窓開口(開口種別=窓開口)で変換します。
- 柱の一本部材指定は、途中の梁で分割処理しない
 チェックを入れると、SS7の柱の一本部材指定通り変換します。
 チェックを入れないと、途中の梁で柱を分割処理します。

- 梁の一本部材判定で柱として認識する符号の頭文字を指定する
 チェックを入れると、梁の一本部材判定で柱として認識する符号の頭文字を指定して変換します。
- ※「SIRBIM」では途中に柱がある場合、SS7 で梁の一本部材指定があってもそこで梁を分割します。 但し、間柱では梁を分割したくない場合に、間柱と柱を区別するため、柱の頭の符号を指定します。

☑ 梁の一本部材判定で柱として認識する符号の頭文字を指定する 柱として認識する符号の頭文字(カンマ区切りで複数指定)
C,SC

3.5. ST-Bridge

3.5.1. ST-Bridgeファイルインポート

ĺ	🖸 👛 🔮 🧬				SIRBIM Ver.1 [S H	くビル					- 🗆 ×
l	јов ᡝ	ポート/エクスポート	確認設	a計条件 <u>建物形</u>	狱 部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	2
	変換共通設定 変換設定	From SEIN La CREA	SS7 From Super Build インボート	STB From ST-E Fr	om ST. Bridge	SNAP To SNAP エクスボ・	TSS To Tekla Structure	25			

From ST-Bridge を選択すると、以下の画面が表示されます。

ST-Bridge 1ンポ−ト ×
入力データファイル
C:¥Users¥K.Abe¥Desktop¥S Kビル.stb 参照
出力ЈОВ名
S KËN
出力先フォルダ
C:¥Users¥K.Abe¥Documents¥SIRBIM1¥Data¥ 参照
変換設定
□ 壁厚 10 🚔 📷 以下は変換しない
□ 床厚 10 → INFは変換しない
✓ 主筋のかぶり厚は変換しない (変換しない場合は標準設定のかぶり厚で変換されます)
インポートする部材 図 基礎 図 柱・間柱、梁・片持梁 図 壁 図 小梁 図 床 図 ブレース 🗌 継手
 最下層に「基礎階」を追加したい場合に設定します ■ 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する 階高 2000 → mm ※階高は、基礎の配置が無い場合、基礎階端が最下層以上の場合に入力値を用います □ 間口定義の一般間口を窓間口で部材登録を行う
□ 架の一本部内刊定で任として認識する行号の頭文子で指定する 柱として認識する符号の頭文字(カンマ区切りで複数指定) C,SC
□ 継手距離を柱芯からの距離としてインポート
ブレースをグループ化してインポート 🗹 鉛直ブレース 🗹 水平ブレース
実行(E) 閉じる(<u>C</u>)

● 入力データファイル

"ST-Bridge"のフォーマットで作成されたデータファイル『***.STB**』を指定します。 "ST-Bridge ファイル"のバージョンは、Ver.1.4.0 と Ver.2.0.1 を読み込むことができます。 参照... ボタンをクリックすると、変換する"ST-Bridge ファイル"を選択することができます。

💼 入力データファイルの選択		×
\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \square \rightarrow PC \Rightarrow	> Development (D:) > SampleData	✓ ひ SampleDataの検索 ク
整理 ▼ 新しいフォルダー		III 🕶 🔟 💡
4. カイックマクタマ	^ 名前 [^]	更新日時 種類 サイ
デスクトップ	S K ビル.stb	2023/12/12 13:11 STB ファイル
븆 ダウンロード	у¢-	
🚆 ドキュメント	*	
▶ ピカチャ		>
ファイル名	האנ <u>א</u> וי: S K צ'וע.stb	〜 ST-Bridge ファイル(*.stb;*.xml) 〜
		開く(<u>O</u>) キャンセル

● 出力 JOB 名

JOB 名を指定します。

入力データファイルを選択すると、"STB ファイル"のファイル名が出力 JOB 名となります。

● 出力先フォルダ

出力先フォルダを指定します。

参照... ボタンをクリックすると入力データファイル、出力先フォルダを参照できます。

- 壁厚_____m以下は変換しない チェックを入れると、壁厚を入力できるようになります。指定した壁厚以下の壁は変換しません。
- 床厚_____m以下は変換しない チェックを入れると、床厚を入力できるようになります。指定した床厚以下の床は変換しません。
- 主筋のかぶり厚は変換しない チェックすると、「SIRBIM」の標準設定のかぶり厚でモデル化されます。
- インポートする部材
 チェックを入れた部材を変換します。
- 基礎インポート時に「基礎階」を作成して基礎、基礎スラブ(FSxx)を配置する チェックを入れると、基礎階を作成して基礎と基礎スラブ(FSxx)を基礎階に変換します。
 階高は基礎配置が無い場合、基礎下端が最下層以上の場合に使用し、指定した階高で基礎階を 作成して変換します。

- 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行う
 開口定義の一般開口を窓開口で部材登録を行います。
 チェックを入れると、一般開口を窓開口(開口種別=窓開口)で変換します。
- 梁の一本部材判定で柱として認識する符号の頭文字を指定する
 チェックを入れると、梁の一本部材判定で柱として認識する符号の頭文字を指定して変換します。
 ※「SIRBIM」では途中に柱がある場合、SS7 で梁の一本部材指定があってもそこで梁が切れます。

✓ 梁の一本部材判定で柱として認識する符号の頭文字を指定する 柱として認識する符号の頭文字(カンマ区切りで複数指定) C,SC

 ● 継手距離を柱芯からの距離としてインポート 計算モデルで鉄骨柱に寄りがあり、鉄骨梁の継手位置が柱芯からの位置の場合に、チェックを入れて 変換すると、計算モデルの継手位置(寄りを考慮した鉄骨柱芯からの位置)を「SIRBIM」の継手 位置(軸からの位置)となるよう計算した値が変換されます。

- ブレースをグループ化してインポート
 - S柱、S梁で囲まれた領域を自動認識して、以下のパターンで、グループ化します。



4.3D表示による視覚的な建物データの確認

「SIRBIM」の3次元表示機能について説明します。

[確認]タブ→[3D 表示]をクリックします。

🕢 👛 🖄 🛃 🔍	SIRBIM Ver.1 [꽃リスト]			_ 🗆 ×
JOB インポート/エクスポート 確認 設計条	件 建物形状 部材定義	部材配置 設計テーブル	リスト図確認構造図作図	設計数量算出 💟 🛜
3D表示 正義データ 配置データ チェック チェック モデータ モニータ チェック チェック モデータ モニータ チェック モデータ モニータ モニータ モニータ モニータ				
3 D表示 [Sample]	×	● 表示範囲		
表示範囲		全体、または、筆	範囲指定で、表示	まする範囲を指定します。
● 全体表示 ○ 範囲指定				
$X: X1 (1) \qquad \qquad - X5 (4)$	~	- + - 4		
Y : Y I (A) = Y 3 (C)	~	● 表示色		
∠: ∠1 (1)	Y	ボタンをクリ	<i>ゆり</i> すると、下記の	D色の設定画面が表示
表示設定		さわます。		
基礎・杭・基礎柱・根巻・RC柱・RC間柱・RC梁・RC小 透明 壁・壁開口 透明 スラブ 透明 5角形以上の壁・スラブの表示形式 四角形分割して	梁	基本色(B): 基本色(B): 日本色(B): 日本色(B): 日本色(B): 日本色(C): 日		色舍lv(E):0 赤(R): 255
 ● 機械式鉄筋正着使用 ● 鉄筋表示範囲 ● 全体表示 ○ 範囲指定 		「」「」「 」 色のf	「 作成(D) >> 色 新	鮮やかさ(S): 240 緑(G): 128 8色(O) 明るさ(L): 180 春(U): 128
X: X1 (1) ~ - X5 (4)	~	OK ‡	ャンセル	色の追加(A)
Y: Y1 (A) ~ - Y3 (C)	~			
Z : Z1 (1) ~ – Z6 (R)	~	● 透明指定		
⊿ 鉄筋表示色		部材の透明	度を指定します。	
基礎鉄筋	初期化(F)	部材を完全は	「非表示とする場合	合、3D 表示後に
杭鉄筋				オファレがホキナナ
RC柱主筋 RC柱その代		部材表示じ	UN/UFF を指定	9 ることか じさまり。
		● 5角形以上	の壁・スラブの表え	示形式
部材表示設定	表示 閉じる(C)	多角形のまま表	表示/四角形分	割して表示のどちらかを
RPP/14X/JNEXAC	12/01/0/(0)	選択します。		

● 鉄筋表示

鉄筋モデルを表示することができます。

表示できる鉄筋は、基礎鉄筋、杭鉄筋、柱鉄筋、基礎梁鉄筋、梁鉄筋、小梁鉄筋です。

● 表示 ボタン





3D 表示での基本的な操作として下記の機能について説明します。



- カメラ移動(パン)
 モデルを移動できます。
 マウスホイールを押してマウス移動することでもモデルを移動することができます。
- カメラ回転

モデルを回転できます。

Shift キーを押しながらマウスホイールを押してマウス移動することでもモデルを回転することができます。

● ズーム

モデルをズームできます。

Ctrl キーを押しながらマウスホイールを押してマウス移動することでもモデルをズームすることができます。

■ 部材の表示
 チェックを入っている部材が表示されます。チェックを外した部材が非表示になります。

躯体と鉄筋で別々に設定することができます。



• プロパティ

プロパティにチェックを入れた状態で、部材を選択すると「プロパティ」一覧が表示され、符号や座標、GUID などを確認することができます。



5. 新規に建物モデル作成

建物モデルの作成の手順は、以下になります。

- ① 建物形状の入力
- ② 通り軸の編集(必要に応じて)
- ③ 部材定義(基礎、柱、梁、壁、床 など)
- ④ 部材配置(基礎、柱、梁、壁、床など)
- ⑤ 配置部材の編集(必要に応じて)

最初に、新規に建物名(JOB 名)を指定して、建物 DB ファイル(拡張子=sirDB)を作成します。

💽 👛 😒 🛃 🚇			SIRBIN	I Ver.1 [新規JC)B]					- 🗆 ×
JOB インポート/エクスポー	ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>~</u>
新規作成	↓ ● 「 ● 二移動	<i>ダミーフロア</i>	日弧軸指定	通り軸編集	日 参照図登録					
開く		形状変更		ツール	参照図					
	-									
上書き保存										
名前を付けて保存 	_									
通り軸の追加										
部材表示設定	-									
システムテーブル管理										
環境設定	_									
終了										

[JOB]→[新規作成]をクリックします。

以下のような、JOB 名を入力する画面が表示されます。

IBJOBファイルを新規作成					×
← → ヾ ↑ 🔄 > PC > ボリューム(D:) > SIRBI	M1 → Data	~	Ū	♀ Dataの検索	
整理 ▼ 新しいフォルダー					::: • ?
 ▲ クイック アクセス ▲ デスクトップ ★ ▲ 留 S 造.sirDB □ S K ビll.sirDB 	^	更新日時 2022/07/01 0:00	7	種類 SIRDB ファイル SIRDB ファイル	サイズ 1,756 KB 5 164 KB
 ↓ ダウンロード オ □ ○ K Clysmob □ ○ K Clysmob □ ○ K Clysmob □ ○ K Clysmob 	任意の JOB	名を入力		51100 77 177	3, 104 105
ファイル名(N): Sample.sirDB					~
ファイルの種類(T): SIRBIM Ver.1 JOBファイル(*.sirDB)					~
▲ フォルダーの非表示				保存(S)	キャンセル

JOB 名を入力し、保存(S) ボタンをクリックします。

5.1. 建物形状

「SIRBIM」は建物規模をXスパン数、Yスパン数、階数およびスパン長、階高で入力します。

最大規模は、以下になります。 最大 X スパン数≤99 最大 Y スパン数≤99 地上階数≤200

5.1.1.建物概要

新規 JOB 名を指定して保存すると、建物概要を入力する画面が表示されます。

📕 建物概	要 [Sample]						×
ቃイトル:	新規物件						
スパン数:	Xスパン	5 🔶 🗙	Yスパン	5 🜲			
階数:	地上	5 🜲 🗙	地下	0 ♠ ×	塔屋	0 🜩	
GL :	基準層	1 🔹		-200 mm			
					確定(D)	閉じる(C)	

タイトルや建物規模を入力します。

確定(D) ボタンで入力を確定します。

「建物概要」画面は、メニューから表示することもできます。

[建物形状]タブ→[建物概要]を開きます。

🖸 🛅	1 🛃 🛃	<u>.</u>			SIRBI	V Ver.1 [Sampl	e]					- 🗆 ×
JOB	インポー	ト/エクスポー	ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>~ ?</u> -
建物概要	↓ 0000 スパン長	ー (?) 通り軸名	↓ ● 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」	<i>ダミーフロア</i>		通り軸編集	王) 参照図登録					
	基本形状			形状変更		ツール	参照図					

※ 階数は、一度確定すると後から修正することはきません。 ※ タイトルと GL の基準層、レベルは確定後も編集可能です。

1 建物概	要 [Sample]						X]
ቃイトル :	新規物件							確定後はスパン数、
スパン数:	Xスパン	5 🔶 ×	Y7182	5 🌲				階数は編集不可
階数:	地上	5 🔹 🗙	地下	0 × ×	塔屋	0		
GL :	基準層	1 💂		-200 mm				
					確定(D)	閉じる	5(C)	-1

5.1.2.スパン長

次に、	スパン	/長を入	力する	る画面カ	「表示さ	れます。	с



スパン長を入力します。

確定(D) ボタンで入力を確定します。

「スパン長」画面は、メニューから表示することもできます。

[建物形状]タブ→[スパン長]を開きます。

💽 🛅	💆 🤔 🗌	8			SIRBI	VI Ver.1 [Sampl	e]					- 🗆 ×
ЈОВ	インポー	ト/エクスポー	ト確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>~ 2</u> -
建物概要	してい ひしてい してい してい してい してい してい してい してい してい してい	· で 通り軸名	↓ 応点移動	<i>ダミーフロア</i>	11	通り軸編集	(日) 参照図登録					
	基本形状			形状変更		ツール	参照図					

5.1.3.通り軸名

C	*	🛃 🚼 📓					SIRBIN	1 Ver.1 [Sample	9						- 🗆 ×
J (В	インポート/	<i>゙エクス</i> ポート	~ 確認	設計条件	: 建物	勿形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	IJ7	小図確認	構造図作図	設計数量算出	No. 100 -
建物	₩要	++・・ 0000 スパン長 通	· ⑦ 即軸名	↓ ● 「 ● 「 「 「 」 「 」 ● 「 」 ● 「 ● 「 ● 「 ● 「 ● 「 ● 「 ● 「 ● 「 ● 「 ● 「	<i>ダミーフロア</i>	日弧軸	指定	通り軸編集	王) 参照図登録						
		基本形状			形状変更			ツール	参照図						
通	り軸名	X													•
													表	示倍率 闘 10	00 ‡ %
Xật			X軸名		_	Y		Y	眳	<u> </u>	Zật		Z軸名		_
X1	X1					Y1 Y	1				Z6	Z6			
X2	X2					Y2 Y2	2				Z5	Z5			
X3	Х3					Y3 Y3	3				Z4	Z4			
X4	X4					Y4 Y4	4				Z3	Z3			- 11
X5	X5					Y5 Y	5				Z2	Z2			
X6	X6					Y6 Y	6				21	21			- 11
					-					-					-
													研	諚(D) 閉	ს გ(C)

次に、通り軸名を入力する画面が表示されます。

必要に応じて通り軸名を編集します。

確定(D) ボタンで入力を確定します。

「通り軸名」画面は、メニューから表示することもできます。

[建物形状]タブ→[通り軸名]を開きます。

🚺 👛	🛃 🛃 🗌	<u>.</u>			SIRBIN	/I Ver.1 [Sample	2]				_ 🗆 ×
JOB	インボー	ト/エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出 🔛 📔
建物概要	↓ ↓ ↓ して シ して シ 長 本形状	レート 通り軸名 通り軸名	▶ ◎点移動	ダミーフロア 形状変更	11 円弧軸指定	通り軸編集	(1) 一日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日				
		1				. //		1			

5.2. 通り軸の編集

平面傾斜や立面傾斜があるモデルの場合、通り軸を編集する必要があります。

通り軸を編集するには、「通り軸編集」機能が便利です。

DXF 形式の2次元構造図があれば、それを下図として参照しながら通り軸を編集することができます。

5.2.1.参照図登録

下図として、DXF ファイルの2次元構造図があれば参照図として登録します。

[建物形状]タブ→[参照図登録]をクリックします。

o 👛 🛽	2 🛃 🖉				SIRBIN	1 Ver.1 [Samp	le]					- 🗆 ×
JOB	インポートノ	/エクスポー	ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u> </u>
建物概要	+++ 0000 スパン長 ジ		↓ 節点移動	<i>ダ</i> ミーフロア	↓ 円弧軸指定	通り軸編集	(1) 参照図登録	a.				
te.	基本形状			形状変更		ツール	参照図					
参照図登録	k ×											-
配置軸	作図軸	<u>+</u> +	ים <mark>א</mark> י	୭ ⊕ ⊖	□ + • :::	表示設定	文字サイズ 9	~ 確?	定(D) 閉じる(C)		
● Z ○ X □ Z6(R) □ Z5(5)	O Y	Ë										
☐ Z4(4) ☐ Z3(3)			*	•		•	 		• •			•
☐ Z2(2)			*	,Y3 [±]		+			+ +			
全選択	く全解除	1.				*			• •		• •	
通り軸を表示す Z1(1)	するフレーム ~			+	+	*			+ +		• •	
			•	(B)		+	· ·	* *	• •		· ·	•
		·	*	•		•			+ +			•
		·	+	+	+ +	+		*	+ +	+	* *	
				*					• •			
			· •	(A)			-					
			•	* >	a(1) *	* .	×2(2) ×3(2') * ×4(3) · ·	×5(4)		•
X:25,008.00	Y:13,927	.00	節点の利	多動または通り	軸の追加/移動/	削除により通り	軸を編集します。					.:

(1) 準備:わかりやすいように、画面上部にあるスナップを ON にしておきます。

参照図登録	k ×			<u> </u>
配置軸	作図軸	≜ 🖻 🕒 🕲 😡 📖	+ 表示設定	文字サイズ 9 V 確定(D) 閉じる(C)
⊙z ⊖x	ΟY		★ 交点	
26(Z6)	~	╢└─┦└─◇ ॑॑॑॑॑	◇ 端点	
25(Z5)		参照図	△ 中点	
🗌 Z4(Z4)			┣ 線分	
□ Z3(Z3)				
22(Z2)				
Z1(Z1)				

- (2) 参照図を登録する Z/X/Y のいずれかのフレームを選択し、一度に登録する通り軸をチェックします。
- (3) (2)で選択した通り軸の中で、編集領域に表示するフレームを選択します。

参照図登録 ×	
配置軸 作図軸	🕐 🔁 🕙 🕲 😡 🖂 🖬 🕂 🗰 表示設定 文字サイズ 9 🗸 確定(D) 閉じる(C)
 ● Z ○ X ○ Y □ Z6(Z6) □ Z5(Z5) 	
☐ Z4(Z4) ☐ Z3(Z3) ☐ Z2(Z2)	(2)
✓ Z1(Z1) 全選択 全解除	
通り軸を表示するフレーム Z1(Z1) 〜	(3)

(4) 参照図登録アイコンをクリックします。

参照図登録 ×		
配置軸 作图	⊴軸	☆ ☆ 図 図 図 Q □ ↓ ▼ 前 表示設定 文字サイズ 9 → 確定(D) 閉じる(C)
 Z (X (Y)) Z6(Z6) Z5(Z5) Z4(Z4) 	(

(5) DXFの...ボタンをクリックして、参照する DXF を選択します。

参照図登録 ×	•
配置軸 作図軸	「 「 の の の の の の の の の の で まままで、 文字サイズ 9 、 確定(D) 閉じる(C)
● Z ○ X ○ Y □ Z6(Z6) □ Z5(Z5)	
□ Z4(Z4) □ Z3(Z3) □ Z2(Z2)	
 ✓ Z1(Z1) ✓ 全選択 全解除 	
通り軸を表示するフレーム Z1(Z1) ~	
DXF D:¥SIRBIM1¥Da	

取り込んだ後、下記のようなメッセージが出た場合は、OKボタンを押します。

参照図登	録	×
1	以下の情報は取り込みできません。 "寸法(DIMENSION)"	
	ОК	



(6) 左側に「取り込むレイヤー」一覧と、配置領域に DXF 図面が表示されます。

(7) 「取り込むレイヤー」を適宜 ON/OFF して、構造モデルに不要なレイヤー(例えば、図面枠など) は非表示します。 (8) 基準とする DXF 線分交点 (例えば、DXF の X1-Y1 通り軸交点など)をクリックして移動します。



(9) 移動先(例えば、モデルの X1-Y1 通り軸交点など)をクリックします。

(10) 確定(D) ボタンで保存します。

5.2.2.通り軸編集

🔽 🍋 🕅 🕅 🔳				SIRBI	V Ver.1 [Sample	el	<u> </u>				. 🗆 X
JOB 1/л-h/.	エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	
	+ ② り 軸名	▶ 節点移動	ダミーフロア	11	通り軸編集		un contraction of the second s				
基本形状			形状変更		ツール	参照図					
通り軸編集 ×											-
配置軸 作図軸	s 🔶	<mark>⊼</mark> ⊡ ∜	ື ⊕ ⊖ ∣⊓	m 🕂 - 📰	表示設定	文字サイズ 9	~ 確定	È(D) 閉じる(C	:)		
● Z ○ X ○ Y □ Z6(R) ^ □ Z5(5)) + + (×軸	う ⊘		⑦ <u> </u>	/ //				}
☐ Z4(4) ☐ Z3(3) ☐ Z2(2)	+	+		· +	• •			+ +		+ +	•
✓ Z1(1) ✓		· •	<u>X3</u> -	*		<u> </u>	•	+ +		* * 	•
全選択 全解除 通り軸を表示するフレーム		*				·	•	******			
Z1(1) ~		÷		•	• •			+ +		• •	
線分: ON OFF 文字: ON OFF		+	+	•	• •			+ +		• •	
表示する参照図 V S Kビル_Z1		• •	Y2 (B)					+ +			
< > ううしん ううしん ううしん ううしん ううしん ううしん うちん うちん うちん うちん うちん うちん うちん うちん うちん うち		+			• •					• •	
 ✓ 1 ✓ 2 10 ✓ 		٠		•	• •			۰ •			
< > 2 全選択 全解除		· O- (Y1 (A)		** ***					 +	÷
登録 (R) キャンセル		+	* X1	Ð -	· ×	2(2) X3(2') ×4,3) · ·	×5 <mark>4</mark>)	• •	+
X:-5,780.00 Y:14,337.0	0	表示する	シノヤーを設定	Eします。							:

通り軸を、登録した参照図を使って編集します。[建物形状]タブ→[通り軸編集]をクリックします。

- (1) 通り軸を編集する Z/X/Y のいずれかのフレームを選択し、一度に編集する通り軸をチェックします。
- (2) (1)で選択した通り軸の中で、編集領域に表示するフレームを選択します。

通り軸編集 ×	•
配置軸 作図軸	🦘 🥕 🖸 🕙 🕲 😡 🖂 🛄 📌 🗰 表示設定 文字サイズ 9 🗸 確定(D) 閉じる(C)
© Z ○ X ○ Y □ Z6(Z6) □ Z5(Z5) □ Z4(Z4) □ Z3(Z3) □ Z3(C3)	$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $
 □ 22(22) □ 21(21) ○ 21(21) ○ 金羅択 全解除 通り軸を表示するフレーム □ 21(21) 	(2)

(3) 参照図を ON にします。

通り軸編集 ×	▼
配置軸 作図軸	🦘 🥕 🖸 🕙 🕲 😡 🖂 🕂 • 🗰 表示設定 文字サイズ 9 🗸 確定(D) 閉じる(C)
● Z ○ X ○ Y □ Z6(Z6) □ Z5(Z5)	
□ Z4(Z4) □ Z3(Z3) □ Z2(Z2)	
 ✓ Z1(Z1) ✓ 全選択 全解除 	
通り軸を表示するフレーム Z1(Z1) ~	

- (4) 参照図のレイヤー線分や文字を表示するには、「ON」にします。
- (5) 参照図の表示するレイヤーにチェックを入れます。(例:通り軸レイヤーにチェックを入れます。)



(6) 登録(A) ボタンをクリックします。 登録(A) キャンセル (6)

- 通り軸編集 🦘 🥕 🖪 🕒 🕲 😧 😡 🕂 🛛 👬 ス示設定 文字サイズ 9 配置軸 作図軸 ✓ 確定(D) 閉じる(C) ₩₩ ♥ \Diamond Z6(R) Z5(5) Z4(4) 節点 X軸 Y車 _____ Z3(3) Z2(2) ං ස්-全選択 全解除 通り軸を表示するフレーム Z1(1) ~) - (<mark>Y2</mark> (B) · - - - (Å)-X1(1) ×3(2') X4(3) X5(4) X2(2) X:1,849.00 Y:15,006.00 節点の移動または通り軸の追加/移動/削除により通り軸を編集します。
- (7) 登録された参照図の線分と文字が表示されます。

(8) 「節点移動」アイコンをクリックします。

通り軸編集 ×	
配置軸 作図軸	🦘 🥕 🖸 🕙 🕲 😡 🖂 🛄 📌 • 🗰 表示設定 文字サイズ 9 🗸 確定(D) 閉じる(C)
● Z ○ X ○ Y □ Z6(Z6) □ Z5(Z5)	
. □ Z4(Z4) □ Z3(Z3) □ Z2(Z2)	
 ✓ Z1(Z1) 全選択 全解除 	
通り軸を表示するフレーム Z1(Z1) ~	

(9) 移動する節点をクリックし、参照図をガイドとして移動します。

通り軸編集 ×		-
配置軸 作図軸 🥎 🥕	K □ ◎ @ Q □ + · · · · 表示設定 文字サイズ 9 · · 確定(D) 閉じる(C)	
● Z ○ X ○ Y □ Z6(R) □ Z5(5)		
□ Z4(4) . □ Z3(3) □ Z2(2)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
 主選び、王岸味 通り軸を表示するフレーム Z1(1) ✓ 		
移動する節点 X:X5(4) ~	· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
Y:Y3(C) ~ 移動距離	() · ()	
X: 0.00 € mm Y: -1,644.00 € mm		
移動 (A) キャンセル		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	×1(1) ×2(2) ×3(2) ×4(3) ×5(4)	
X:18,450.00 Y:11,806.00	選択した節点の位置を指定します。	:

- (10) 続けて他の節点を移動します。
- (11) 節点移動が終了したら、確定(D) ボタンをクリックします。

<u>通り軸編集 ×</u>															-
配置軸 作図軸	s 🔶 🚺	<mark>3</mark> 🗅 🖑 (€ Q □	+ • 🎟	表示設定	Ż	:字サイズ 9	~	確定(D) 閉	じる(C)				
● Z ○ X ○ Y □ Z6(R) □ Z5(5)		<u>کا</u>	+ + (? ×軸		- 2	((11)	Y			< ⊘	Ē			
☐ Z4(4) ☐ Z3(3) ☐ Z2(2)		+ +		+	•	•	+		÷		•	*	+		·
Z1(1)				+	*		*	+	-		+		+	+	*
全選択 全解除 通り軸を表示するフレーム		• •		•	•	÷	*	+				7.44	<u>.</u>		
Z1(1) > 移動する節点		• •		+	+		+	÷		*	·		+	٠	
X: X5(4) ~ Y: Y3(C) ~				+	+	÷	+	+		+	+		+	+	+
移動距離 X: 0.00 ♀ mm		(B)		•	•		٠	•							
Y: 0.00 ਦ 📷 移動 (A)		• •		+	+	•	÷	+		*	٠	*	+	+	٠
キャンセル		+ +		+	+	•	+	+		•	+		+	+	+
		· ① - [4]- (A)-													
			×1(1)	•		×2(:	2) °×3	(2')	×4(3)	*		×5(4) *		
X:18,109.00 Y:11,197.00	,,)	移動する節点	気を選択します	ţ.											.:

5.3. 部材定義

各部材定義は、エクセル形式の入力になっています。 以下に、共通な操作方法に関して説明します。

● コピー&ペースト

複数行を選択してコピーし、エクセルに貼り付けることができます。

柱定線	§[SK	EN)																																						
																							表示倍	率關	100	÷ %														
1						-	•				•				•	•			•							_ •														
					+		Ħ	総状							‡\$	67										R														
										1	ŝ					7	数						径																	
No	ZSI		符号	構造	1	位置	В	D		±	組	X	(方向) 太	L段筋 細	X方向 太	52段筋 細	Y7	ち向14	段筋 細	Y方I 太	句2段航 細	5	*	細	X 太	方向														
							[mm]	(m	1			[本]	[本]	[本]	[本]	[4	5]	[本]	[本]	[本]	1			[本]	1 [
1		2 C1	L	SRC		A	600) 6	00 D2	2			4					4								-														
		3 C1	L	RC		A	550) 5	50 D2	2			4					4																						
2																																								
3		4-6 C1	L	RC		А	500) 5	00 D19	9			3					3											-		Ν									
4		2 C2	2	RC		A	600) 6	00 D2	5			4					4													11									
		3 C2	2	RC		A	550) 5	50 D2	 5			4					4								-														
1													_		_											•														
階分	割	鮮結合	Z	S階↓i	符号	€ †§	構造	2												ĭ	園用(A)		確定(D)	閉じる	5(C)				7		ל	•							
配置す	る階 範	囲指加	と可(e	x.2-4)																							:				\sim									
								-								0	经表	_	_	_	_	_	_	_	_	1					•		8	र जन्म	0	F		_ (-	~
ファイ 【 助りた	ι]	*- <u>4</u> •	湖ゴシ B .	挿入 N ック I <u>U</u> ・	~- - E	-9 L/ P	アウト - - - - -	8 11 ↓ <u>A</u> ↓	Et M A^A	デー: ▲ 、 、	9 ₹ = = = =		表 図 ぞ、		開発 し い し し し し し し し し し し し し し	ヘルプ ¥1 記て全体 結合して	を表示 中央撤	Docu 示する 前え ~	Works	; ≇ ∎ ~ 9	PDFel	emen 3	t :	£	き テーブ 書式	「ルとして 設定 ~	セルスタイン	ר ח ר ~	計入	inite Aller Aller			∑ ~ ₩ ~ � ~	A Z 並べ着 フィルタ	了 , 記と 月 一 ~ 近					
クリッフ	ポード	R]				フォント				r <u>s</u>				556	ž				L2		数値		F3		ス	タイル				セノ	ŀ			編	<u>ب</u>		71%	121		· ^
自動の	10	77	2	3	4	3	÷																																	
A.N.11	7	-		×	2	£																																		
ANI	/				~	<i>,</i> ,,																																		
/	В	С	D	E	F	G	HI	J	KLI	M N	0 P	QF	R S	ΤU	vwx	Y	ZA	AAB	AC	ADA	EAFA	(AłA)	I AJ A	KALA	MAN	AO /	AP A	Q A	RAS	AT	AU	AVA	MAX	AY	AZ	BA B	B BC	; BC) B	EBF 🔺
1	2 C1	SRC	A	600	600	D22	2	1		4						D10	2	2	100				A	C	X	н	100 2	200	3 13	20 \$	55490		н	400	200	8 1	3 20) \$\$49	90	
2	0.01	DC.	•	550	550	D22				4						D10	2	2	100																					
3	b CI	πÇ	~	550	550	022	-	+		4						010	2	2	100																					
5	4 C1	RC	Α	500	500	D19	3	3		3						D10	2	2	100																					
6																		-																						
7	5 C1	RC	Α	500	500	D19	3	3		3						D10	2	2	100																					
8																																								
9																																								-
			Shee	et1	0	Ð																			4															F
準備另	7 8	T 1	3,70	セシビリテ	4: 問	題ありま	せん																									B		Ħ	巴		-		- + 1	00%

エクセルで編集後、コピー&ペーストで、部材定義に貼り付けることも可能です。

● RC 断面、S 断面、SRC 断面

柱定義 [S K ビル]

部材定義で、構造指定(RC、S、SRC)をすることができます。 RC 断面定義、S 断面定義の内容で、折りたたむことができます。

1				+	+
				RC断面	S断面
No	ZS階	符号	構造	位置	位置
1	2	C1	SRC	A	A
2	3	C1	RC	A	
3	4	C1	RC	A	
階分	割階結	i合 ZS	5階↓1 彳	符号 ↓Ź	構造↓
X方向	主筋本数	(太径-2戶	殳筋)		

x

グレー表示

入力の必要のない項目は、グレー表示されます。

柱定義	[S K Ľ]),]																						×
																						表示倍率	10)0 🗘 %
1				<u> </u>							<u> </u>									<u> </u>				<u> </u>
2																	RC断	Ē						·
								主制	5								芯鉄	筋					帯	筋
					径				本	数				4	圣		本	数		重心	位置		本	数
No	ZS階	符号	構造			X方向	1段筋	X方向	2段筋	Y方向	11段筋	Y方向	12段筋			XŤ	向	Y方	向	X方向	Y方向		X	Y
				太	細	太	細	太	細	太	細	太	細	太	細	太	細	太	細	dsx	dsy	佺	方向	方向
						[本]	[本]	[本]	[本]	[本]	[本]	[本]	[本]			[本]	[本]	[本]	[本]	[mm]	[mm]		[本]	[本]
1	2	C1	SRC	D25	D22	3	2			3	2											D10	2	2
-																								
2	3	C1	RC	D22		4				4												D10	2	2
3	4	C1	RC	D19		4				3												D10	2	2
	-	~																						
4	5	CI	RC	D19		4				3												D10	2	2
	6	C1	P.C.	D10		2				2												D10	2	2
5	0	CI	RC	019		3				3												010	2	2
	2	C2	RC	D25		4				4												D10	2	2
6																								
1	_																							•
階分割	副 階結	合 ZS	5階↓∮ 符	守号 ↓ᢓ	構造 ↓ᢓ															適用	(<u>A</u>)	確定(<u>D</u>)	閉	じる(<u>C</u>)
Y方向	主筋本数	(細径-1戶	殳筋)																					

● 表示倍率

モニターの高解像度化に伴い、文字が小さくなり見えにくい場合は、表示倍率を上げることで、見やすくなります。

柱定義 [S	K ĽIJU]														~
														表示倍率	₩ 150 - %
1				•				Ē		Ē	•	Ē			· -
								主節	5						
No	フロボ	77	1芽2生		径				本	数				谷	5
	ZOPA	175	作月上三			X方向	1段筋	X方向	2段筋	Y方向	1段筋	Y方向	12段筋		
				太	細	太	細	太	細	太	細	太	細	太	細
						[本]									
1	2	C1	SRC	D25	D22	3	2			3	2				
2	3	C1	RC	D22		4				4					
3	4	C1	RC	D19		4				3					_
•															• •
階分割	階結合 2	S階↓\$ 符号	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓									[適用(<u>A</u>)	確定(<u>D</u>)	閉じる(<u>C</u>)
Y方向 主師	筋本数(細径-1	段筋)													

● 各部材定義に関して

5.3.2 以降に各部材定義に関して説明しますが、一般的な内容は省略し、SIRBIM 特有の内容に 関して説明します。

5.3.1. 符号先頭文字列デフォルト設定

各部材の先頭文字列を指定します。

[部材定義]タブ→[符号先頭文字列デフォルト設定]を開きます。

🚺 🖄 🖉				SIRE	IM Ver.1 [Sam	ple]					- 🗆 ×
ЈОВ 127	ポート/エクスポー	ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	忍 構造[図作図 設計数量	算出 🔷 🚺
?・・ 符号先頭文字列 デフォルト設定 設定	基礎定義	● 柱定義	大梁定義	小梁定義 小梁定義 部材断面	レース定義 ブレース定義 ▼	壁板定義 ▼	床版定義	提 柱継手 ▼	業 梁継手 、 鉄骨継	* 高力ボルトの 許容応力度設定 手	AIS AI Structure インポート データ連携
								,			

符号先頭文字列	リデフォルト設定 [SKビル] ×
	表示倍率 🖽 100 🕂 %
部材	先頭文字列
基礎	F
基礎柱	FC
根巻	N
柱	С
間柱	P
基礎梁	FG
片持基礎梁	CFG
梁	G
片持梁	CG
基礎小梁	FB
片持基礎小梁	CFB
小梁	В
片持小梁	СВ
ブレース	V
一般壁	W
地下壁	OW
開口	К
一般スラブ	S
柱継手	JC
梁継手	JG
小梁仕口	JB 🗨
初期化(F)	システム登録(R) 確定(D) 閉じる(C)

部材定義における符号の先頭文字列のデフォルトを部材ごとに指定することができます。

柱の例で、最初は C がデフォルトの文字ですが、途中から SC と入力した場合は、次の行から SC がデフォルトの文字になります。

5.3.2.基礎定義

[部材定義]タブ→[基礎定義]→[基礎定義]を開きます。

G	👛 🛛 🖄	8					SIRBIM Ve	er.1 [S K ビル]							_ 🗆 X
J 0	в	インポート/エタフポー	ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図	作図 設計数量	算出			<u>~</u>
符号 デフ	<u>?・・</u> 先頭文字 オルト設定 設定		建 柱定義 、	大梁定義 ・	小梁定義 小梁定義 • 部材断面	アレース定ま マレース定ま マ	■ 壁板定義 ▼	床版定義	目 柱継手 ▼	梁継手 () () () () () () () () () (* 高力ポルトの 許容応力度設定	① 小梁仕口 · 鉄骨仕口	AIS AI Structure インポート データ連携		
基	芝定義 二	× 110 杭定義													•
														表示倍率 国	100 🜩 %
1				+	+	+									<u> </u>
				杭	基礎	柱									
No	符号	基礎タイプ		杭タイプ	配置方向	柱幅 B [mm]									
1	F1	10:杭基礎(1本杭)	▼ 場所打	打杭(拡底なし)) X	600									
2	F2	10:杭基礎(1本杭)	場所打	打杭(拡底なし)) X	600									
3	F3	10:杭基礎(1本杭)	場所	打杭(拡底なし)) X	600									
4	F3a	10:杭基礎(1本杭)	場所	打杭(拡底なし) X	600									
5	F4	10:杭基礎(1本杭)	場所	打杭(拡風なし) 村杭(拡度かし)) X	600									
6	F4a	10:机基础(1本机)	場所	打机(孤康なし)) X	600									
\vdash															_
符号	↓ <u>2</u> 基8	麓タイプ↓党											適用(<u>A</u>)	確定(<u>D</u>)	開じる(<u>C</u>)
基礎外	イプ 0:直	接基礎,1:布基礎,10:	独立基礎(14	本杭),11:独立	基礎(1本杭)·	…120:独立	基礎(12本杭)								:

● つなぎ筋の段数と径

つなぎ筋							
段数	径						
[段]							

段数入力で、'0'+[Enter]を入力すると、以下の値を自動入力することができます。 段数:(基礎端部厚/300)-1の整数部 径:D13

● 標準レベル



基礎下端レベルを指定します。基準層に GL を指定することもできます。 ここで設定した値は、基礎の最初の配置時に、初期値として基礎配置データに反映されます。

 ・ 柱幅、柱成、寄り

		柱	
柱幅	柱成	쳚	Ð
	_	X方向	Y方向
D	U	dx	dy
[mm]	[mm]	[mm]	[mm]
600	600		

基礎リスト描画時にのみ柱サイズ・寄りとして使用されます。

5.3.3.柱定義

[部材定義]タブ→[柱定義]→[柱定義]を開きます。

🖸 🙆	💆 🗄	9 👼							SIRBIM	Ver.1 [s к ビル]												- 0	×
JOB	- 1 0	ンポートン	エクスポー	-ト 硝	認	設計条件	建物	那状	部材定	義	部材配置	设	+テーブル	, y ,	スト図確認	忍 構	造図作図	设計	数量	算出			\sim	?-
?・・ 符号先頭 デフォルト 設定	 文字列 ▶設定 E	基码	<mark>₽</mark> ^遊 定義	住定義 予	大柱定義	₩ 梁定義 ·	小梁派) E義 才断面	レースた ブレースた ~) E義	壁板定義	き 床	そう 版定義 ・	桂	Ⅰ 総手	梁継手	高 許容 継手	*日本 かんしたの かんしたの かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし) 定	小梁(鉄骨(AI 9 イ デ	AIS Structur ンポート ータ連携	e
柱定義	×			🛄 柱定	義																			-
画間性定義 1 2 1 2 1																				表 	示倍率		100 -	%
	醫 既製品柱脚定義 RC断面																							
					形	狱					主節	5								芯鉄	筋			
No Z	75階	符号	構造				1	¥				本	数				1	ž		本	数		重心	
	10-10 11-																							
					[mm]	[mm]	X	和	 [本]	 [本]	 [本]	 [本]	 [本]	 [本]	 [本]	 [本]	X	細	 [本]] [本]	 [本]	 [本]	osx [mm]	-
階分割 配置する階	階結(節囲指	合 ZS 錠可(ex	i階↓i 1 .2-4)	符号 ↓ᢓ	構造↓	,ĝ		1										遃	用(A)	i ē	i定(D)	閉じる(C)

● S 断面:形状パターン





柱断面リスト作図用の鉄骨部材の寄りデータです。 入力しない場合は、RC 柱の中心に配置されたリスト図を描きます。

● S 断面: 継手符号



[部材定義]タブ→[柱継手] →[柱継手定義]で継手データを入力した場合、その継 手符号を選択出来ます。

5.3.4.梁定義

<u>, ше г</u>		· [~ ·	-	L	~~~~	-12	1 1				100		,										
() 🖄 (🗿 👼							SIRBIM	Ver.1 [5	к ビル]											-	□ ×
JOE	3 1	(ンポート/	⁄ェクスポー	ト確	12	设計条件	建	物形状	部材定	義音	财材配置	设	+テーブル	, yz	ト図確認	2 構	造図作図		安計数量	算出			- 8-
符号先 デフォ	··· :頭文字列 ルト設定 没定	j ž	₽ C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	建 柱定義	大 記	梁定義 、 基礎梁定	小梁	↓ 定義 · · · ·	ブレース定	Ĕ義	課 壁板定義 マ	ŧ ¢	一次	柱	■ 継手	梁継手	: 篇 許容 継手	*日 高力ボル 客応力度	トの 観設定	小梁鉄骨	1 (±口 /:	AIS エ AI Struct インポー データ連	ure ト 携
大梁	大梁定義 日 日 100 % 1 日 日 日 日 日 2 日 第定義 日 日																						
2																							
					形	状								主節	5	INC MILE	•						- 1
	- 0-		1000					1	₹			上端創	6本数		-			下端創	筋本数				Г
NO	∠階	전투	構造	位置	в	D	ハンチ			1局	筋	2≸	筋	3段	觞	1扇	筋	2員	受筋	3員	助	12	7
								太	細	太	細	太	細	太	細	太	細	太	細	太	細	佺	
					[mm]	[mm]	[mm]			[本]	[本]	[本]	[本]	[本]	[本]	[本]	[本]	[本]	[本]	[本]	[本]		1
3G1 RC L 350 650 1200 D22 4 3 D10																							
1				C	350	500		D22		2						3						D10	-
L																							•
階分割	副 階結	i合 Zi	階 ↓ 🌡 符	j≓ †Ş	構造↓	ź													適用(<u>A</u>)	1	確定(<u>D</u>)	閉じる	(<u>C</u>)
配置する	置する階 範囲指定可(ex.2-4):																						

[部材定義]タブ→[大梁定義]→[梁定義]を開きます。

● 位置

	断面の入力の什方を指定します。
-	A : 全断面の1行で梁定義を入力します
位置	E : 端部/中央の2行で梁定義を入力します
-	O : 外端/中央/内端の3行で梁定義を入力します
	L : 左端/中央/右端の3行で梁定義を入力します
C	DL : ドロップハンチ付、左端/中央/右端の3行で梁定義を入力します
R	

• ハンチ

ハンチ長は、柱面からの長さを入力します。 ハンチ [mm] 1200

● S 断面: 継手符号



5.3.5.小梁定義

「5.3.4 梁定義」を参照してください。

5.3.6. ブレース定義

[部材定義]タブ→[ブレース定義]→[ブレース定義]を開きます。

G		1 	<u>8</u>					9	SIRBIM Ver	1 [S K ĽIJ]								1 ×
JC	B	1	インポート/エクスポート	ト 確	2	設計条件	建物用	狱	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図	作図	設計数量	算出	\sim	<mark>?</mark> -
符号	<u>?</u> : 先頭 フォル 設?	・ 文字列 ト設定 定	基礎定義	正 柱定義 文	大	⊋ 定義 ▼	小梁定義	5 ブレ 新面 100 ·	レース定義 ン ブレース定手	建 板定義 変	床版定義		深継手	* 高力オ 許容応ナ	いたの り度設定	(1) 小梁仕口 ~ 鉄骨仕口	AIS AI Structur インポート データ連携	e
	梁定	義	ブレース定義	×				_	ブレー									-
										ALTA						表示倍率	100 🌩	%
No	,	符号	鋼材タイプ	_	P1 [mm]	P2 [mm]	P3 [mm]	P4 [mm]	P5	材料種別								-
1	V	L	H:H形鋼		30	50	5.0	7.0	8	SS490								
2																		
																		Ŧ
符号	∃ ↓ ĝ	鋼材	1												適用(<u>A</u>)) 確定(<u>D</u>)	閉じる(<u>C</u>)
定義	する行	号																

● 鋼材タイプ



5.3.7.壁板定義

[部材定義]タブ→[ブレース定義]→[ブレース定義]を開きます。

-	6) 🖄	<u>8</u>						SIRBIM	Ver.1 [S K ĽIJJ										_ [X
	JOE	3 1	(ンポート/エク	スポート	確認	設計条件	ş	的形状	部材定	義	部材配置	設計	テーブル	リスト	図確認	構造[図作図	設計数	量算出		\sim	? -
	符号ダ デフォ	?・・ ・ ・ ・ ・ い ト 設定 。	基礎定) 義 柱	定 美 ▼	大梁定義	小導音	₽ 全義 ・ 和 が 新 新 面	ブレースズ) E義	壁板定義 下 一般壁	床	「 夜定義 *	Ⅲ 柱継	∮	梁継手 、 鉄骨継	* 高力⊼ 許容応 手	↓ ポルトの 力度設定	小 (鉄	 第 第 日 日	AIS MI Structure インポート データ連携	e
_	大梁	定義	ブレース定	義	一般聲	定義 ×					1 地下臂	一般壁定	ž,									-
																				表示倍率	100 🜩	%
					/+ F				縦筋			橫筋				開口	補強筋					•
	No	符号	壁種別	壁厚	重量	配筋タイプ	位票	67 s	(V o	ピッチ	177.4	(T)	ピッチ	縦	飾	+ 30	黄筋	余 一 - ***	消防	-		
				[mm]	[N/mi]	-		侄」	侄2	[mm]	住主	1全2	[mm]	 [本]	径	(本)	径	(本)	径			
	1	CB100	内壁	100		チドリ	全	D10		400	D10		400							_		
	1																					
	2	CB150	内壁	150		シンクル	全	D10		400	D10		400	2	D10	2	D10	2	D10			
	_	W25	外壁	250		チドリ	全	D10		200	D10		200									
	3																					
		W100	内壁	100		シングル	全	D10		200	D10		200	1	D13	1	D13	1	D13			-
	符号	↓2 壁種	別↓⋛ 壁厚	13														適用((<u>A</u>)	確定(<u>D</u>)	閉じる(<u>C</u>)
7	e義す	5符号																				

● 配筋タイプ

	配筋タイプには、以下のものがあります。
記な方イプ	シングル : 1行入力します
HP90.0.1.2	ダブル : 2 行入力します
≳.∧.கீர 👻	内外 : 内外の2行入力します
227710 -	チドリ : チドリ配筋を行うため、1 行入力します

5.3.8.床板定義

[部材定義]タブ→[床板定義]→[床板定義]を開きます。

5] () 💆 1	8					SIRE	BIM Ver.1 [SKĽIJJ										-	□ ×
J	0 8	3 1	<i>いポート/エクスポー</i>	ト 確認	2 121	†条件	建物形物	代 部本	オ定義	部材配置	設計	テーブル	リスト図	確認	構造図作		受計数量算	章出			- 🛛 -
符	号 デフォ	?・・ 注頭文字列 ドルト設定 設定	基礎定義	● 柱定義 ▼	大梁江	É	小梁定義	】 ブレー 11	▲ ス定義 ▼	建 板定義 ▼	上 床版 「一	2 注義 ・ 般スラブ 定	柱継手 ・	梁#	¥手 / 新 失骨継手	常応力度	トの 観設定	小梁伯 小梁伯 鉄骨伯) := /	AIS MI Structo インポーI データ連想	ure ト 烤
-	-般	スラブ定義	×										一般スラ:	ブ定義	[表	示倍率 튶	100	• %
					床	厚	ルンチョ	仕上					端部			中央			Ax•Ay		
N	٥V	符号	床種別		中央部 [mm]	端部 [mm]	[m]	重量 [N/mi]	配筋タイプ	プ 配筋方向	置	径1	径2	ピッチ [mm]	径1	径2	ピッチ [mm]	径1	径2	ピッチ [mm]	
		CS1	床版(一般型枠)		150				チドリ	主力筋	Ŧ	D10		150	D10		150	D10		150	
	1										下	D10		150	D10		150	D10		150	
	-									配力筋	上	D10		200	D10		200	D10		200	
		EC1	けに(フェットニッナ)		200				670	王士白	1	D10		200	D10		200	D10		200	
		-51	ホルス(ノフットアッキ)		200				9710	(m)/) [D]	エ	D13		200	D13		200	D13		200	
	2										Ľ.	010		200	010		200	010		200	
																					•
符	号	↓ 全 床種	別↓₂ 中央厚↓₃														適用(<u>A</u>)	6	i定(<u>D</u>)	閉じる	(<u>C</u>)
定義	気 する	3符号																			

● 床種別

床種別	
床版(一般型枠)	Ŧ
床版(一般型枠)	
床版(合成デッキプレート)	
床版(フラットデッキ)	
床版(キーストンプレート)	
床版(PC板)	
片持スラブ(RC)	
片持スラブ(PC)	
土間	
底盤	

床種別には、左図のものがありますので、選択します。

※ SIRBIM / 数量で、型枠を拾うのは、以下のタイプのみです床版(一般型枠)片持スラブ(RC)

● 配筋タイプ

	配筋タイプには、以下のものがあります。
記念カイプ	シングル : 主力筋/配力筋の2行入力します
HUBD 917	ダブル : 主力筋/配力筋の上下で、4行入力します
≳ுரி⊪. ▼	チドリ : チドリ配筋を行うため、1 行入力します

5.3.9. 柱継手定義

[部材定義]タブ→[柱継手]→[柱継手定義]を開きます。

I Companya (1990)	<u>.</u>				SIRBIM Ver.1	[4階S造]						_ 🗆 X
JOB 12	ポート/エクスポー	ト確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	忍 構造図作图	3 設計数量	算出	No. 10
<u>?・・</u> 符号先頭文字列 デフォルト設定 設定	基礎定義	社 定義 文	大梁定義	小梁定義 小梁定義 部材断面	アレース定義 マ	壁板定義	床版定義	 	二 梁継手 下 下和 ○ 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	*日本 動ポルトの 感応力度設定	(計算) 小梁仕口 (((((() () () () () () ()	AIS AI Structure インポート データ連携

下記画面が表示されます。

柱継手	定義 [San	nple]																															
																														1	表示倍	* #	100 🗘
1										-																							. '
			7	ful h	プレート		母材									75	ンジ												ウェブ				
No	符号	形状				1	JD	間隔	位		ポル	- 		ゲ	-ジ	ピッチ	緑端距離	1	外添植	5	-	内添植	ž –	h3	(= 10 h	ポルト		Ľ	y Ť	緑端距離	-	添板	-
		19-2	径	材種	材種	HX/I [m]	HY [mm]	[mm]	æ	配列	行政 nf	列 叙 mf	1自 [mm]	g1 [mm]	 [mm]	[mm]	el [mm]	/早 [mm]	16	長さ [mm]	/厚 [mm]	HB [mm]	5, [m]	_2 h4	行款 mw	列 叙 mw	1日 [mm]	pC [mm]	pL [mm]	el [mm]	/厚 [mm]	48 [mm]	長さ [mm]
						[]	[]	[]					[]	[]	[]	[]	[]	[[]	[]	[]	[]	[]				[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]
1																																	
符号	4 H {x}	パターン19	搬手	±成(5055-1	H97)																								滴用	(A)	確定(2)	閉じる(C
																													- Call C	· · ·	- month	· /	

柱の継手情報を直接手入力することもできますが、「SIRBIM」では、S 柱定義から「SCSS-H97」の計算 基準に従って継手計算を行い、継手情報を自動的に作成することができます。

5.3.9.1. 柱継手生成(SCSS-H97による自動計算)

継手生成(SCSS-H97) ボ	タンをクリックします。
 開 柱継手自動計算(SCSS-H97) [Sample] × ボルトの材質 	ボルトの材質とフランジ幅に対応したボルト径を指定してから、
フランジ幅 (mm) ボルト径 (mm)	
1 0 0 (952B<110) 16 1 2 5 (110≤B<130) 16 16 √	S 柱部材定義(H 形鋼)を読み込んで、その鋼材に適した継手を計算
1 5 0 (130≤B<160) 20 ∨ 1 7 5 (160≤B<190) 20 ∨	します。
2 0 0 (190≤B<225) 22 ∨	
2 5 0 (225≤B<275) 22 ∨ 3 0 0 (275≤B<325) 22 ∨	
3 5 0 (325≤B<375) 22 ∨ 4 0 0 (375≤B) 22 ∨	
実行 閉じる(<u>C</u>)	

柱継手の計算結果が表示されます。

11 1	±継手:	生成(SCSS-H	197)																							
																									表示倍率	100 🗣 %
定義	済み一	覓																								
1															-									-		-
									X方向日	₽材 (h3i	≥H4)							Y	方向母材	(h3≥H4)				ウェブ	判定	
	刷	継手符号	ポルト材	種 柱型	Type	н	В	tw	tf I	R	材種	h3	h4	ポルト	Type	н	В	tw t	R	材種	h3	h4	ポルト	n	oi 結果	ロック
		101	FIOT			(m)	(m)	(mm) (m) (1	m)	100	(m)	(m)	呼称:		(mm)	(m)	(m) (m) (m)		(m)	(m)	呼称	0.50	407	
2)C2	F10T	н	н	400	200	8.0	13.0 1	3.0 554	100 100	400	0 0	M22										0.50	H97	
3	Г																									
																										_
																										-
行	追加	行削除	注 全征	前除																1	主定義継手符	時登録	柱継手道	珈読込	全選定計算	▼ 選定計算
行柱総	追加 手定義	行削時	注 全/	前除																1	主定義継手符	行号登録	柱継手道	助読込	全選定計算	▲
行 柱継 1	追加 手定義	行削除	注 全 行	前除		-														ł	主定義継手?	行受登録	柱継手近	助読込	全遛定計算	▲定計算
行 柱継 1 2	追加 手定義	行削除	È ≙í	前除		=															主定義継手? ·	·	柱継手近	动読込	全遛定計算	
行 柱継 1 2	這加手定義	行削除	全 (ポルト	前除		=				•	752	· ・・・ う	·	·	· · ·		•	 #u.b	ウェフ		主定義継手? 汤2板	·	柱継手道	助缺込	全遛定計算	
行 柱継 1 2	道加手定義	行削除 添板 材種	★ 全行 ポルト 材種	前除 方 可	174至 間2	Fij nf	ポルト	g1	_5 g2	ビッチ	フラン 端空	ジ 外添え 厚 福	· 板 長さ	· 厚	· · ·	h3 ≥	mw	 זער nw pc	・ ウェス : pL	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	主定義継手? ・ 添え板 ! 幅	- 長さ	柱継手道	动铸込	全選定計算	
行 柱継 1 2	追加 手定義	行削账 添板 材種	È 全行 ポルト 材種	前除 方向 呼	び径 配	= آبا (7	ポルト mf) (列	ゲ g1 (m)	->> g2 (m)	Ľv≠ (m)	フラン 端空 (m)	ジ 外添え 厚 幅 (m) (m	· 長さ) (m)	厚 (m) (i	記して (m) (m)	h3 ≥ h4		ポルト nw pC (列) (m	・ ウェブ : pL) (m)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	主定義継手や ・ 添え板 【 幅 」) (mn)	- 長さ (m)	柱継手近	3加読込	全遛定計算	
行 柱継 1 2 1	·追加 手定義	行削除 添板 材種	 全名 ボルト 材種 	所 所 方 向 平 X M2	び径 配 2 千県	同 [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1]	ポルト mf) (列 3	· g1 (m) 2 150	->> g2 (m)	ビッチ (m) 45	フラン 端空 (m) 40	ジ 外添え 厚 福 (m) (m 9 30	· 振 長さ) (mn) 00 350	· 厚 (m) (1 12	5.2版 福 長さ m) (mm 110 35	h3 ≥ h4 0	mw (行) (3	ポルト nw pc (列) (m	・ ウェブ : pL) (m) 50 60	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	主定義継手? ・ 添え板 (m) 9 200	· 一 長さ (m) 170	柱継手近	b加読込	全遛定計算	▲ 選定計算
行 柱組 1 2 1	追加 手定義 SS4	行削p t 参板 材種 200 ▼	全 ポルト 材種 F10T	7削除 方向 呼 X M2	び径 配 2 千乗	= ۱ ۱ ۱	ポリレト mf) (列 3	· g1) (m) 2 150	->> g2 (m) 0 40	ປັນ∓ (m) 45	75> 端空 (m) 40	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	版 長さ) (m) 00 350	内)(厚 (m) ((12	充え板 福 長さ m) (m) 110 35	h3 ≥ h4 0 h4 h3	mw (行) (3	ポルト nw p(列) (m 1	・ ウェフ)(m) 50 60	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	主定義継手や ぶえ板 (幅) (mm) 9 200	i号登録 長さ (m) 170	柱搬手近	制加速这	全溫定計算	▲定計算
行 杜維 1 2 1	追加 手定義 SS4	行前则 5 标 材種 100 ~	全 ポルト 材種 F10T	方削除 方向 呼 X M2 Y	び役 配 2 千月	5) (行	ポリレト mf) (列) 3	グ 91 (m) 2 150		ະ ປັນ≯ (m) 45	75ン 端空 (m) 40	ジ 外添え 厚 種 (m) (m 9 30	版 長さ) (m) 20 350	内淡 厚 (m) ((12		h3 ≥ h4 0 h4 h3 h4 h3 h4	(行) (3	ポルト nw pú (列) (m 1	ウェフ - pL) (m) 50 60	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	注定義継手? ※え板 (幅)) (m) 9 200	- 長さ (m) 170	柱継手近	和加速这	全溫定計算	¥定計算
行 柱継 1 2	追加 手定義 SS4	行削L t 参板 000 ~ ~	★ 全谷 ポルト 材種 F10T	所削除 方向 呼 X M2 Y	び径 配 2 千月	الج الح الح الح الح الح الح الح الح الح الح	ポルト : mf) (列 3	ゲ g1 (m) 2 150	-> g2 (m) 40	ປະນ≠ (m) 45	滞空 (m) 40	ジ 外添え 厚 (m) (m) (m 9 30	- 振さ 展さ 00 350	· 厚 (m) (12	航花板 福 長さ m) (m) 110 35	h3 ≥ h4 h3 h4 h3 h4	((7) (3	ポリレト nw p((利) (m 1	・ ウェス : pL) (m) 60 60	· 端空 厚 (m) (m 40	主定義継手? · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- 長さ (m) 170	柱継手近	加速这	全選定計算	✓ 道定計算 検定計算
行 柱総 1 2	追加 手定義 SS4	行前p 添板 材種 000 ~	全谷 ポルト 材種 F10T	方向 呼 X M2 Y	び径 配 2 千月	آبا آبا آبا آبا آبا آبا آبا آبا آبا آبا	ポリレト mf) (列) 3	// g1 (m) 2 150	-≫ g2 (m) 0 40	ピッチ (m) 45	万ラン 端空 (m) 40	ジ 外添え 厚 幅 (m) (m 9 30	版 長さ) (m) 00 350	序 厚 (m) ((12	6.2板 種 長さ m) (m) 110 35	h3 ≥ h4 h4 h3 h4	(行) (3	ポリレト nw pc (列) (m 1	・ ウエン シークエン シークエン シークエン シークエン シーン シーン ション ション ション ション ション ション ション ション ション ショ	· 端空 厚 (m) (m 40	主定義継手不 <u>添え板</u> [福]) (mn) 9 200	- 長さ (m) 170	柱継手近	加続込	全道定計算	✓ 道定計算 検定計算 時1:3(C)

- ※ 継手計算の詳細については、『SCSS-H97 鉄骨構造標準接合部 H型鋼編』(建設省住宅局建 築指導課 監修) をご参照ください。
- ※ 配置にてS柱継手を配置していない場合、継手は作成されません。

- 全選定計算

ロック解除された状態の母材データ全てに対して継手計算を実行します。

● 選定計算

ロック解除された状態かつアクティブな行に対して継手計算を実行します。

● 検定計算

選定計算で求めた継手情報を修正する事ができます。修正後、継手計算を行います。

継手結果の CSV 出力
 生成した継手の結果を CSV 出力します。

● 計算書印刷

継手計算の計算過程(計算根拠)を印刷します。

. 総	手符号 10			i age -
1922	V Contraction	· · · H_300×300×10×15×13 (\$\$400)	形	<u>t</u> †
臣	⊧ 材 ├^			
		7=2.00		
	大 通	フランジ オポルレ ボルト ゲージ ビッチ #	レト ピッチ	ノ 添板
	材種 材種	[1] (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(nw pC pL S) (mm) (mm)	「 ^{MM エ} 」厚x幅x長さ
		× M22 千島 3x2 150 40 45 40 9x300x350 12x110x350 h3 33	1 60	40 9x200x170
	SS400 F10	IT 14 h3		
	做手续用/+			
継	モナ和末は (ソちば			
手				
	10			
	4540			
	40.45			
		計算式 10 = 10=2.g. [1/12.d.btf3_+d.btf.(H-btf)2_(4)	X 方向	Y方向 単位
		$\frac{10 - 10^{-2} \cdot g^{-1}}{2e = 1e/(0.5H)}$	16, 161. 6	(cm ⁴)
	i⊕ i+	Mj = Ze·ft (ft=23.5)	25, 319. 9	(kN•c
	応力	Nj = Ae•ft (Aex=2*Aef+Aew+Afil = 2*35.1+19.8+1.5)	2, 149, 1	(kN)
		$Mw = 0.5 \cdot Iw/I0 \cdot Mj \qquad (Iwx=1640.3 cm4, Iox=20186.0 cm4)$	1. 028. 7	(kN)
		Mf = Mj-Mw	24, 291. 2	(kN·c
		$Nw = Aew \cdot ft$	465.3	(kN)
	フランジ	NTI = (AET + ATII/2) ·TL Nf2 = Mf/(Ho-btf)	841.9	(kN)
	添 板	Aef' = Nf/ft (Nf=Max (Nf1, Nf2))	36.3	(cm ²
許		pLAef = pLb1·pLt1+2·pLb2·pLt2-g·d·(pLt1+pLt2)	39.5	(cm ²
容	7 = 5.85	Rs = 2x85.5 (fs×1.5 = 225.0N/mm ² A = 380.0mm ²)	171.0	(kN)
心力	ブランシ	Nmin = Nf/Rs	4. 98	(本)
度	1001	∴ nF * mF ≧ Nmin	O K	(cm ²)
設計		.: pLAew ≧ Aew	0 K	(0117)
"	ウェブ	pLlew = 2·pLt3·pLb3 ³ /12-Σ {2·pLt3·(d ³ /12+d·ej ²)}	882.7	(cm 4
	漆 板	pLZew = pLIew/(0.5-pLb3) 7'ow - Mw/ft	88.3	(cm ³
		∴ pLZew ≧ Z'ew	OK	
		nwb1 = Aew·ft/Rs	2. 721	(本)
		$s = 2.13^{-1}$ f1 = Ww/S+rmax-cos θ (rmax=6.0(cm), cos θ =1.000)	/2.0 85.7	(cm² (kN)
	ウェブ	$f2 = Mw/S \cdot rmax \cdot sin \theta$ (rmax=6.0(cm), sin θ =0.000)	0.0	(kN)
	ボルト	$f3 = Qw/(nw\cdot mw)$ f2 = -(f3+f2)/2 + f1/2	89.5	(kN)
		$Rs^2 = (2x85.5)^2$	29, 241. 0	(kN ²
		$\therefore \operatorname{Rs}^2 \ge f^2$	ОK	
		$\frac{\mu}{2} = \frac{\mu}{2} = \frac{2}{2} = \frac{1}{2} = \frac{1}$	1,483.4	(cm ³)
		M1 = Zpe-σu (σu=40.00kN/cm ² , bσu=100.00kN/cm ²)	48, 049. 7	(kN·c
		A1 = $\gamma \cdot bnf \cdot 0.75 \cdot bAs \cdot b \sigma u$ (bAsx=0.75 · (d1/2) ² · π =2.85cm ²)	2, 565.0	(kN)
		AZ = bnt-e-btf-σu A3 = nlAef-σu	1,440.0	(kN)
第	M笛中	Fp = Min. [A1, A2, A3]	1, 440. 0	(kN)
	WI升化	B1 = 2 · nw · 2 · [0.5 · mw] · 0.75 · bAs · b σ u	855.0	(kN)
裡 保		BZ = nw+Z+ LU.5+mw] +e-btw+σu B3 = pLHw/bHw+pLAew+σu (pLHw=10.90cm, bHw=12.00cm)	320.0 837.1	(kN) (kN)
有		Wp = Min. [B1, B2, B3]	320.0	(kN)
耐力		$M2 = Fp \cdot (H-btf) + 0.5 \cdot Wp \cdot bHw$	42, 960. 0	(kN·c
接		mu = min. (mi, M2) α j = Mu/(Zpo·σy) (σy=23.5KN/cm ²)	42,960.0	(kN·c
合		∴ αj ≧ 1.2	0 K	
		$C1 = pLAew \cdot \sigma u/\sqrt{(3)}$	532.1	(kN)
	Q算定	GZ = Aew·σu/√ (3) G3 = 2·nw·2· [0.5·mw] ·0.75·bAs·bσu	457.3 855.0	(kN)
	- 77 AL	Qu = Min. [C1, C2, C3]	457.3	(kN)
		Mpo = Zpo·σy	34, 859. 7	(kN•c
			100 01	

5.3.10. 梁継手定義

[部材定義]タブ→[柱継手]→[柱継手定義]を開きます。

C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	3 👼				SIRBIM Ver.	1 [Sample]						_ 🗆 ×
JOB イン	パート/エクスポー	-ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確	認 構造図	s/fe	設計数量算出	2
<u>?・・</u> 符号先頭文字列 デフォルト設定 設定	基礎定義	正 柱定義 文	大梁定義	小梁定義 小梁定義 •	レース定義 ブレース定義 マ	壁板定義	床版定義	課 柱継手 下	梁継手 ※継手 ※ 梁継手定	* 高力ボル 許容応力が 主義	レトの 度設定 鉄骨付	AIS Lロ AI Structure インポート テータ連携
									ļ	梁継手定義		

下記画面が表示されます。

梁継手	定義 [Sa	imple]																										×
																									表	下倍率	镾	100 🗘 %
1																	_							_				
2							•	·	·	·	·	·	·	•	·	·	·	•	·		•	·	·	·	•	·	·	•
		7	おんト	プレート	母材							フランジ	>											ウェ	ブ			
No					8978		ボルト			ゲー	-ジ	Burt	縁端距離		外添板			内添板			ボルト		Ľ	チ	縁端距離		添板	
	0.0	径	材種	材種	18JPM	82.5H	行数	列数	首下	g1	g2	LYT	e1	厚	幅	長さ	厚	幅	長さ	行数	列数	首下	рС	pL	e1	厚	幅	長さ
					[mm]	HE73	nf	mf	[mm]	mw	nw	[mm]	[mm]	[mm]	[mm]	[mm]	[mm]	[mm]										
1	L																											
																												_
																												-
符号	↓2 継	手生成(SC	SS-H97)																					適用(<u>A)</u> 码	定(<u>D</u>)		閉じる(<u>C</u>)
定義す	る符号																											

梁の継手情報を直接手入力することもできますが、「SIRBIM」では、S 梁定義から「SCSS-H97」の計算 基準に従って継手計算を行い、継手情報を自動的に作成することができます。

5.3.10.1.梁継手生成(SCSS-H97による自動計算)

梁継手生成に関しても、「5.3.9.1 柱継手生成」と同様です。
5.3.11.1.ベースプレート定義

				ベースプレート						アンカー	ボルト										
No	Z階	符号	形状 パターン	形状 タイプ	板厚 BP	材料種別	下端 レベル	径 AB	材料種別	長さ L	へりあき e1	はしあき e2	本数1	本数2	位置1 L1	位置2 L2	殺り h				
				t	[mm]		[mm]	[mm]		[mm]	[mm]	[mm]		112	[mm]	[mm]	[mm]				
1	1	C1	В	2	19	SS490	-100	22	SS490	450		25	2	2		50					
2																					

● 形状パターン

n1 -

○柱タイプ:H

o



○柱タイプ: B







タイプ3

等ピッチ n2

> -0 6

> > ≓ e2 e2

ℓ2 e1

n1=0本 n2=3本

Å

0 0 0

1

e1ℓ2

○柱タイプ: P







○柱タイプ:T



タイプ1

0 0

0 0

n2

0

0

○柱タイプ:C





タイプ 2

● 位置 L1,L2 L1 - 図の **l**1

n1

- L2 図の**Q**2
- 絞りh



● ベールプレートの配置およびレベルの変更に関して

(配置方法)

階と柱符号により、その柱が配置されていればその柱の柱脚に自動的に配置されます

(レベルの変更)

配置されている柱のプロパティを開き、柱脚のオフセットを指定することで、ベースプ レートのレベルを変更できます

プロ	コパティ ソフレー	-ム配置 Y1(/	A)(手前(U)					×
۵	識別情報	1							-
	柱符号				C1				
	GUID				11BD693D-	C5A3-4986-9	C45-1D5F600	AF758	
۵	配置位置								
		位置固定			する				
		X章曲			X1(1)				
		Y軸			Y1(A)				
	柱頭	Z軸			Z2(2FL)				
			Х	[mm]				(0.0
		オフセット	Y	[mm]				(0.0
			Z	[mm]				-150	0.0
		位置固定			する				_
		X章由			X1(1)				_
		Y軸			Y1(A)				- 1
	柱脚	Z軸			Z1(1FL)				
			Х	[mm]				(0.0
		オフセット	Y	[mm]				(0.0
			Z	[mm]				-100	0.0
1	断面回転								
	RC部材			[度]				0.	00
	S部材	X方向M		[度]				0.	00
4	74.5	MINICAY		[度]				0.	00
-	ノカシ	L /Bil		r1					0
		1RU ABU		[[[[[]]]]]					0
	つわさ。厚	1~1RU 七個山		[որ]					0
	ノリントチ	左側		[mm]					0
		田柱		[mm]					0
		1 1111	径	[um]					-
		補強筋1	本数	[本]					0
			₩.	[mm]					ō
			径	()					-
		補強筋2	本数	[本]					0
			Et	[mm]					0-
⊳	⇔					適用(<u>A</u>)	元に戻す(<u>U</u>)	閉じる	(<u>C</u>)

5.3.12. 高力ボルトの許容応力度設定

柱、梁の継手計算では、高力ボルトを使用します。

高力ボルトの長期許容応力度、引張強さ、降伏強さに関して値を設定することができます。

[部材定義]タブ→[高力ボルトの許容応力度設定]を開きます。

🖸 🖆 💆 🛃	1				SIRBIM Ver	.1 [Sample]					_ 🗆 ×
JOB インボ	ポート/エクスポー	ト確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	2
?・・・ 符号先頭文字列 デフォルト設定 設定	基礎定義	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	大梁定義	 小梁定義 • 部材断面	レース定義 ブレース定義	壁板定義	床版定義	北 柱継手	梁継手 京力 許容応 鉄骨 総子	ポルトの 力度設定 高力が近の許容応力度設	AIS AI Structure インボート 定 データ連携

下記画面が表示されます。

高力ボルトの許容応力度設定 [Sample] ×										
				表示倍率 關	100 🔹 %					
	長期許容	応力度	리면왕수		備考 🔺					
	引張	せん断	JUEDEC	降伏強さ						
	[N/mm2]	[N/mm2]	[N/mm2]							
F8T	250.00	120.00	800.00	640.00						
S8T	250.00	120.00	800.00	640.00						
F10T	310.00	150.00	1000.00	900.00						
S10T	310.00	150.00	1000.00	900.00						
F14T	460.00	230.00	1400.00	1260.00						
S14T	460.00	230.00	1400.00	1260.00	-					
, 初期化(F)	システム登録	(R)	[確定(D)	 閉じる(C)					

ボルト材種ごとに許容応力度、引張 強さ、降状強さを入力できます。 ここで入力した値で継手計算を行い ます。コメント等を残す場合は備考 欄に入力します。 ※実際の継手計算で使用する値は、

(美学の) 「許容せん断応力度」と「引張強さ」で す。それ以外の入力値はテーブルとして 保存します。許容せん断応力度「fs」は、 継手計算書の[許容応力度設計]-[フ

ランジボルト]の「Rs」(高力ボルトの許容せん断耐力)の算出に、引張強さは、[第一種保有耐力接合]の 「bσu」(高力ボルトの破断強度)の値として使用します。

高力ボルトの許容せん断耐力の計算

許容せん断応力度[短期] (N/mẩ) = 許容せん断応力度[長期] (N/mẩ) × 1.5 _{入力値} 許容せん断耐力[短期] (N) = 許容せん断応力度[短期] (N/mẩ) × ボルト軸断面積 (mẩ) 高力ボルトの許容せん断耐力[短期] (kN) = 摩擦面数 (2) × 許容せん断耐力[短期] (kN)

(計算例)

M20, fs=150(F10T)とした場合の継手計算書でのフランジボルト本数算定



5.3.13. 使用鋼材種設定

柱、梁の継手計算で用いる鋼材の規格値を設定します。

テーブルに無い鋼材種を追加することで、部材定義および継手計算で使用することができます。

o 🖄 🖆 🗿	<u>8</u> 👼			SIRB	IM Ver.1 [Kb	AP]					_ 🗆 ×
JOB 1	(ンポート/エクスボ	ート 確認	設計条件	建物形状	部材定義	義 部材酮	超 設計	テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出 🔼 🛐
使用鋼材種	x										-
										表示	
錮	材種	10.17	σu		F値[N/mm2]						_
名称	サフィックス	j 調種	[N/mm2]	40mm以下	40mm超	75mm超	alfaM	alfaQ			
SS400		400N級	400	235	215	0	1.2	1.3			
SS490		490N級	490	275	255	0	1.1	1.2			
SS540		540N級	540	390	0	0	1.1	1.2			
SM400		400N級	400	235	215	0	1.2	1.3			
SM400	Α	400N級	400	235	215	0	1.2	1.3			
SM400	В	400N級	400	235	215	0	1.2	1.3			
SM400	С	400N級	400	235	215	0	1.2	1.3			
SM490		490N級	490	325	295	0	1.1	1.2			
SM490	Y	490N級	490	325	295	0	1.1	1.2			
SM520		520N級	520	355	335	325	1.1	1.2			
STK400		400N級	400	235	215	0	1.2	1.3			
STK490		490N級	490	325	295	0	1.1	1.2			
STKR400		400N級	400	235	215	0	1.2	1.3			
STKR490		490N級	490	325	295	0	1.1	1.2			
SN400		400N級	400	235	215	0	1.2	1.3			
SN400	A	400N級	400	235	215	0	1.2	1.3			
SN400	В	400N級	400	235	215	0	1.2	1.3			
SN400	С	400N級	400	235	215	0	1.2	1.3			_
SN490		490N級	490	325	295	0	1.1	1.2			_
初期化(<u>F</u>)	システム登録(<u>R</u>)									確	定(<u>D)</u> 閉じる(<u>C)</u>

- 鋼材種(名称、サフィックス)
 グレー表示されている鋼材種は、削除できませんが、登録されていない鋼材種は、後ろの行に追加できます。
- 鋼種、ou、F 値、alfaM、alfaQ
 継手の設計で使用する鋼材の材料特性を入力します。
 F 値は、板厚ごとの基準強度を入力します。一つ下の板厚と同じ場合は、0 で同じ値とします。
 alfaM、alfaQ は、「SCSS-H97」を参照してください。

5.4. 部材配置

[部材配置]タブ→[伏図形式配置]/[Yフレーム配置]/[Xフレーム配置]を開きます。 配置画面は2つ以上並べて配置することもできます。

G 👛 🛛	1 🛃 🕅	<u>2</u>			SIRB	IM Ver.1 [Sam	ple]					_ 🗆 ×
JOB	インポー	Ւ╱ェクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>~ 2</u> -
JZ	RY	£1										
任図形式	V7L-L	X7L-A										
配置	立面配置	立面配置										
	ALLE											

「伏図形式配置」、「Y フレーム配置」、「X フレーム配置」の入力操作は、ほぼ一緒です。 「伏図形式配置」を例に、入力操作を説明します。

5.4.1. 配置入力画面について

配置画面の上部の主なアイコンの機能について説明します。

階選択	見下げ/見上げ	アンドゥ/リドゥ	レベル ON/OF	F	スナップ ON	\∕OFF	
		/			1		
Z1(1)	× 💵 🏽 🗲 🛧	🕒 🔼 🗅 🗇 🔁 🤂	🛄 🗠 🐹 🔽 🐯	+	🔺 🛄 文字	サイズ 9	<
配置 ツール			✓ 基礎	 Image: A start of the start of	交点	1	
		8 0	en 🗹 😤	2	端点		
<u>~</u>			─────────────────────────────────────	2	中点	4	
全選択	基礎 基礎柱	柱 梁	壁 🔽 スラブ	 Image: A start of the start of	線分	スラブ	雑壁
			±≤+8733	 Image: A start of the start of	節点		
即竹桶集			第17大兄自己证	 Image: A set of the set of the	部材基点		

- 階選択
 配置する階を選択します。
 初期画面では、未選択の状態で画面が開きます。必ず部材を配置する階を選択します。
- 見下げ配置/見上げ配置
 配置画面の方向を指定します。
- アンドゥ/リドゥ
 直前の操作を取り消します/取り消した操作を戻します。Ctrl キー+ Z キーでもアンドゥできます。

- レベル表示の ON/OFF
 基礎、梁、小梁、スラブのレベル値を表示/非表示指定します。
- スナップの ON / OFF
 交点、端点、中点、線分、節点、部材基点のスナップを ON / OFF します。

5.4.2. 基本的な配置方法

基本的な配置方法として、「個別配置」と「範囲配置」があります。 以下に配置方法に関して説明します。

5.4.2.1. 軸交点配置方法

「伏図形式配置」において、軸交点配置には、「基礎」、「柱」などがあります。「柱」を例に説明します。

配置する階を指定します。

柱部材をクリックすると、定義済みの部材符号が表示されますので、符号を選択します。



(1) 個別配置

部材選択後、マウスを通り軸の交点に持って行くと、水色の●マークが表示されます。 水色の●マークが表示された状態で、クリックすると、配置されます。





(2) 範囲配置

範囲配置する場合は、マウスドラッグすることで矩形の範囲を指定することができます。





5.4.2.2. スパン配置方法

「伏図形式配置」において、スパン配置には、「梁」、「壁」などがあります。「梁」を例に説明します。

配置する階を指定します。

梁部材をクリックすると、定義済みの部材符号が表示されますので、符号を選択します。



(部材符号選択画面)

部材符号選択[配置例] ×	● 配置方法 □重複配置可
- 配置部材 ● 基礎梁 ○ 片持基礎梁 ○ 片持基礎梁 ○ 片持薬	駐車場のスロープなど、水平材と斜め材を同じ階 に梁として配置したい場合等に、チェックして配置 します。 ● 通り軸上に配置
	軸のスパンを自動認識し、配置します。 重複配置可としない限り、上書きされ重複配置 されません。
 記置内引 · 配置方法 □ 重複配置可 ④ 通り軸上に配置 ○ 端部 2 点指定 	 端部2点指定 軸の交点を2点クリックして配置する方法です。 この場合、常に重複配置されます。

(1) 個別配置

部材選択後、マウスを通り軸のスパンに持って行くと、水色の線分が表示されます。 水色の線分が表示された状態で、クリックすると、配置されます。





(2) 範囲配置

範囲配置する場合は、マウスドラッグすることで矩形の範囲を指定することができます。





5.4.2.3. エリア配置方法

「伏図形式配置」において、エリア配置には、「スラブ」、「小梁」、「ブレース」などがあります。

エリアとは、「伏図形式配置」では、梁または小梁で囲まれた領域を指します。また、「X/Y フレーム配置」では、柱と梁で囲まれた領域をさします。ここでは、「伏図形式配置」の「小梁」を例に説明します。

配置する階を指定します。

小梁部材をクリックすると、定義済みの部材符号が表示されますので、符号を選択します。



(部材符号選択画面)

部材符号選択 [配置例] ×	 ● エリア配置 梁または小梁で囲まれた領域を自動認識して
配置部材 符号 ▲ ● 基礎小梁 FB1	配置します。
 ○ 方 孙梁 ○ 小梁 ○ 片持小梁 配置方法 ④ エリア配置 ○ 端部 2 点指定 	 端部2点指定 軸の交点を2点クリックして配置する方法です。 補助線の交点も指定可能です。 デフォルト符号、スパン 複数の小梁を配置する場合の初期値とします。
デフォルト符号: FB1 デフォルトスパン: 2500 mm エリア配置 配置本数: 1 ਦ	(以下は、エリア配置の時のみの入力値) ● 配置本数
配置方向: ○ 縦方向 ● 横方向 平行直交: ● 梁に平行 ○ 梁に直交	エリアに配置する小梁の本数を指定します。
 ○ 絶列座標系 梁指定: ● 下側梁 ○ 上側梁 分割指定: ● 等分割 ○ スパン指定 	 ● 配置方向 縦方向または横方向を指定します。
端部条件: ○ビン ● 剛 No 符号 スパン(mm) 始端 終端 ▲ 1 FB1 ▼ 2500.0 剛 剛 ▼	 平行直行 小梁を配置する場合の向きを指定します。 ・梁に平行 – 小梁と同方向の梁を指定します ・梁に直行 – 小梁と交わる梁を指定します ・絶対座標系 – 梁の方向とは無関係に 絶対座標系の向きで配置します

● 梁指定

平行直行で、「梁に平行」または「梁に直行」を指定した場合に、どちらの梁かを指定します。

● 分割指定

「等分割」または「スパン指定」を指定します。「スパン指定」の場合は、小梁間のスパン長を指定する必要があります。

● 端部条件

「ピン」または「剛」を指定します。

 ● 表入力 初期値が自動的に入力されていますので、必要があれば修正します。

(1) 個別配置

部材を選択し、配置方法と配置条件を設定後、マウスを配置したいエリアに持って行くと、自動認識したエリアと水色の線分が表示されます。

水色の線分が表示された状態で、クリックすると、配置されます。





(2) 範囲配置

範囲配置する場合は、マウスドラッグすることで矩形の範囲を指定することができます。





5.4.3. 参照図を見ながらの配置

配置画面に参照図(2次元のDXF ファイル)を表示しながら、部材を配置することができます。 5.2.1 で参照図を登録している場合は、[ツール]タブ→[参照図 ON]アイコンをクリックすることで、 登録済みの参照図を表示することができます。

※ [ツール]タブ→[参照図登録]アイコンをクリックすることで、ここでも参照図を登録することができます。



[配置]タブ→[基礎]をクリックして、基礎符号を選択して参照図と同じ位置に基礎を配置します。 ※ 新規配置時は、通り軸交点に配置されます。



一旦配置した後に、適宜位置やレベルを移動します。

5.4.4.壁の開口配置

X または Y フレーム配置で、開口を配置したい壁を選択します。 例えば、1 階の壁のみ選択します。



次に、右クリックでメニューを表示し、「開口入力」を選択します。



● 開口符号

開口符号を入力します。

- ●開口種別
 一般開口/窓開口/扉開口/シャッター開口の中から選択します。
- 開口サイズ

躯体の開口サイズを入力します。

● 開口位置

横:開口までの距離の基点を柱面または軸のどちらかを指定し、開口位置までの距離を入力します。縦:開口までの距離の基点を梁面または軸のどちらかを指定し、開口位置までの距離を入力します。

● 開口タイプ



開口までの距離のタイプを以下のパターンから選択します。

下記を入力し、「確定」ボタンをクリックします。

開口を連続で配置したい場合は、「確定」ではなく、「連続入力」ボタンをクリックします。



下図のように開口が配置されます。



5.4.5.小梁の配置



配置画面で、[小梁]をクリックすると、部材符号選択画面が表示されます。

部材符号選択画面について説明します。

部材符号選択	ų×
配置部材	符号 🔺
○ 基礎小梁	B1
○ 片持基礎小梁	B2I
◉ 小梁	B2r
○ 片持小梁	B3
和平古注	B4
	B5
● エリア配置	
〇 端部2点指定	-

● 配置部材

基礎小梁、片持基礎小梁、小梁、片持小梁のいずれかを選択します。 定義を入力済みの部材だけ選択できます。

- 符号
 選択した配置部材に応じて符号一覧が表示されます。
 クリックして配置する符号を選択します。
- 配置方法
 エリア配置/端部 2 点指定から選択します。

エリア配置を指定した場合、複数本の小梁をエリア内に同時に配置できます。

「エリア配置」について説明します。

デフォルト符号: デフォルトスパン:	2500 mm
エリア配置	
配置本数:	1 🚔
配置方向:	
◉ 縦方向	○ 横方向
平行直交:	
◉ 梁に平行	○ 梁に直交
 絶対座標系 	Ŕ
梁指定:	
◉ 左側梁	○ 右側梁
分割指定:	
● 等分割	○ スパン指定
端部条件:	
○ピン	Image:
No 符号	スパン(mm) 始端 終端 ▲
1 B1 🔻	2500.0 剛 剛
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

- デフォルトスパン
 領域に配置する小梁のスパン長の初期値を指定します。
- 配置本数
 配置する小梁の本数を入力します。
- 配置方向 縦方向/横方向から選択します。
- 平行直交
 梁に平行/梁に直交/絶対座標系から選択します。
- 梁指定
 基準とする梁を、左側梁/右側梁から選択します。
- 分割指定
 等分割:領域を梁本数で等分割します。
 スパン指定:スパン長を任意に指定します。
- 端部条件

配置する小梁端部を、ピン/剛から選択します。

例えば、下図のように部材符号選択画面を設定して、配置領域にマウスホーバーすると、梁で囲まれた領域、または、梁が無い場合は通り軸で囲まれた領域に、指定の小梁が仮配置されます。







5.4.6.スラブの配置



配置画面で、[スラブ]をクリックすると、部材符号選択画面が表示されます。

部材符号選択画面について説明します。

部材符号選択	Ψ×
符号	
CS1	
FS1	
RS1	
RS2	
S1	-
配置符号:	
- 配置方法 🔄 重複配置可	
● エリア配置 ○ 頂点指定	
0 mm	

● 配置方法

重複配置可:チェックすると、同じ領域に重複してスラブを配置することができます。

レベルを変えて二重スラブ配置することができます。

チェックしないと、同じ領域にスラブ配置すると、新しい符号に差し変わります。

エリア配置/頂点指定のいずれかを選択します。

レベル入力:チェックすると、配置するレベルをmm単位で入力することができます。

例えば、下図のように部材符号選択画面を設定して、配置領域にマウスホーバーすると、梁で囲まれた領域、

または、梁が無い場合は通り軸で囲まれた領域に、スラブが仮配置されます。

配置する場合は、仮配置された位置をクリックします。



5.4.7.水平ブレースの配置

伏図配置画面で、[ブレース]をクリックすると、部材符号選択画面が表示されます。



部材符号選択画面について説明します。

部材符号選択 [ブレース検証 2 a] ×
符号
H1
H2
V1
V2
配置方法
○ 端部指定 ④ 構成指定
配置指定 ● ○ ○ □ 小梁を除いた領域で配置
ストレッチ指定
☑ 自動ストレッチを行う 隙間 = 200
AまたはBが隙間の寸法に なるまでストレッチします

● 配置方法

端部指定:

ブレースを配置する領域を自動判定しない場合に指定し ます。以下のパターンがありますので、パターンに合わせて 入力します。

配置指定	
\circ	۰ ا
0 🔽	0 🔼

構成指定:

ブレースを配置する領域を自動判定します。領域は、大 梁または小梁で囲まれた領域を判定しますが、小梁を無 視して領域を決めることができます。領域内に配置するパ ターンは以下になります。

配置指定			
\circ	0	0	
□ 小梁を除いた領域で配置			

構成指定で配置したブレースは、始終点位置を梁芯と梁芯の交点になります。



● ストレッチ指定

自動ストレッチ指定でチェックすると、梁面からの隙間が指定した値になるように、ストレッチを行います。



例えば、下図のように部材符号選択画面を設定して、配置領域にマウスホーバーすると、梁で囲まれた領域、または、梁が無い場合は通り軸で囲まれた領域に、ブレースが仮配置されます。 配置する場合は、仮配置された位置をクリックします。





5.4.8. 鉛直ブレースの配置

X フレーム、Y フレーム立面配置画面で、[ブレース]をクリックすると、部材符号選択画面が表示されます。



操作は、水平ブレースと同様ですので、詳細は、「5.4.6 水平ブレースの配置」を参照してください。

6. 配置データの編集

初期状態は、全ての部材を選択出来る状態ですが、特定の部材のみ選択することができます。 特定の部材だけ選択したい場合は、部材編集アイコンをクリックし特定部材を指定します。



6.1. 梁の面合わせ

梁面を他部材と面合わせします。

- (1) 梁部材のみ選択するように、部材編集で「梁」を選択しておきます
- (2) 移動する梁を選択し、右クリックします
 - ・「Ctrl」キーを押しながら梁部材をクリックすると、複数選択可能です
 - ・マウスで、梁部材を囲んでも選択できます
- (3) メニューから「面合わせ」を選択します。



(4) 移動する梁面を選択します



(5) (4)で指定した梁面と合わせたい他の部材面を指定します







※ 面合せ先は、サポートラインでも可能です また、参照図の線分を使用することもできます 参照図に関しては、「5.2.1.参照図登録」を参照ください

6.2. 小梁の編集

6.2.1.小梁のレベル

小梁の「レベル」編集を行います。

(1) 部材編集で「小梁」を選択しておきます



- (2) 編集する小梁を選択し、右クリックします
- (3) メニューから「レベル」を選択します



(4) レベルの設定画面が表示されます。

	確定(D)			
● 所属階Z ○ 接続している梁・小梁の上端	キャンセル			
L/JL -200 mm				

● レベルの基準指定

所属階 Z – 表示されている階のレベルを基準にして、そこからのレベルを指定します 接続している梁・小梁の上端 – 選択した小梁が接続している梁または小梁の上端位置を 基準レベルにして、レベルを指定します

※「接続している梁・小梁の上端」を指定して、レベル=0とすると、選択した小梁の端部の上端は、接続する梁または小梁の上端と一致します

レベル
 基準レベルからの上下レベルを指定します

(5) 確定(D) ボタンを押すと、指定したレベルに変更されます。 下記は、接続している梁・小梁の上端に合わせた例です。 始終端の基礎梁レベルが、-200 なので、小梁もそのレベルになります。

ーレベルの基準打	定	確定(D)
○ 所属階Z	● 接続している梁・小梁の上端	キャンセル
	0 mm	



6.2.2.小梁のスパン設定

小梁の「スパン設定」を行います。

選択した小梁を、他の大梁(または小梁)とのスパン長を指定して移動する機能です。

- (1) 編集する小梁を選択し、右クリックします
- (2) メニューから「スパン設定」を選択します。



- (3) 画面下に操作ガイドが表示されますので、順番に指定していきます。
 - [1] 基準となる大梁または小梁を選択します
 - [2] 基準梁芯からの距離(スパン長)を入力します



(4) スパン設定画面が表示されます。

スパン設定(部材芯-部材芯間の距離)	確定(<u>D</u>)
スパン長 <u>3150</u> mm	キャンセル
※基準梁(小梁)の部材芯に平行に配置されます	

スパン長

初期値は、編集する小梁と、基準となる大梁(または小梁)の、現在の梁芯間距離が表示されています。

任意のスパン長を入力すると、指定のスパン長位置が仮表示されます。(下図水色線)



(5) 確定(D) ボタンを押すと、小梁が指定位置へ移動します。


軸が傾斜しているような場合、最寄りの大梁または小梁に平行に配置したい場合があります。この様な 場合に、「平行指定」を行います。

平行になるまで指定した小梁が回転しますが、回転中心は、選択した小梁の梁芯中央になります。





- (2) 編集する小梁を選択し、右クリックします
- (3) メニューから「平行指定」を選択します



(4) 基準となる大梁または小梁をクリックします



(5) 小梁の梁芯中央を中心に回転して、基準とした大梁(または小梁)に平行になります



6.2.4.小梁の複写

選択した小梁からのスパン長(芯間距離)と本数を指定して、小梁を新規配置する機能です。



(1) 部材編集で、「小梁」を選択しておきます

(2) 編集する小梁を選択し、右クリックします

(3) メニューから「複写」を選択します



(4) 複写指定入力が表示されます



(5) 確定(D) ボタンを押すと、小梁が新規配置されます



6.3. スラブの編集

スラブの編集として以下の機能があります。

- ① スラブ分割(線分指定)
- ② スラブ分割(閉領域指定)
- ③ スラブ合成

6.3.1.スラブ分割(線分指定)

段差スラブを設定したい場合などに、配置した一つのスラブを、補助線や梁芯線分などで分割する事が できます。

(1) 部材編集で「スラブ」を選択しておきます



(2) 分割したい位置に補助線を引きます



- (3) 編集するスラブを選択し、右クリックします
- (4) メニューから「スラブ分割(線分指定)」を選択します



(5) 下図のように、補助線や小梁芯をマウスホーバーすると、分割線が仮表示されます 分割する線分上でクリックします



(6) 分割処理は続けて行うことができます 分割処理は、終了ボタンを押すか、右クリック/ Esc キーで終了します。



一つのスラブが2分割され、片方のスラブのレベルを変更することで、段差スラブを設定できます。

6.3.2.スラブ分割(閉領域指定)

床スラブに開口を空けたい場合などに使用します。

(1) 事前に補助線で、閉開口を作成しておきます



- (2) 部材編集で「スラブ」を選択しておきます
- (3) 編集するスラブを選択し、右クリックします
- (4) メニューから「スラブ分割(閉領域指定)」を選択します



(5) メニューから「スラブ分割(閉領域指定)」を選択します
 閉領域の多角形の頂点を1点ずつクリックしていきます。
 クリックした点を結んだ線分が、下記のように仮表示(水色線)されます。
 1点目と同じ点をクリックするか、最終節点の決定後にEnterキーを押すと、閉領域が確定されます



(6) 下図のようにスラブが分割されます。



分割したことにより、開口部分の床スラブを削除する事ができます。



配置したスラブを合成して一つのスラブにします。

- (1) 部材編集で「スラブ」を選択しておきます
- (2) 合成するスラブを選択し、右クリックします。



(3) メニューから「スラブ合成」を選択します。



(4) 選択したスラブと隣り合うスラブをマウスホーバーすることで、合成したスラブが仮表示されます



クリックすることでスラブが合成されます。

(5) 合成処理は続けて行うことができます

合成処理は、終了ボタンを押すか、右クリック/ Esc キーで終了します。



合成後、「終了」ボタンが押されるまで、隣り合うスラブで合成を続けることができます。

(二つ目の合成の例)





6.4. 雑壁の編集

面合わせ
スパン設定
開口入力
削除(D)
プロパティ
部材定義参照
MI II

雑壁の編集メニューに、以下の機能があります。

● 面合わせ

「6.1 梁の面合わせ」を参照してください。

● スパン設定

「6.2.2 小梁のスパン設定」を参照してください。

● 開口入力

「5.4.4 壁の開口配置」を参照してください。

● プロパティ 「6.5 部材のプロパティ」を参照してください。

6.4.1. 雑壁端部の延伸

雑壁は、編集メニューから行う以外に、端部の延伸を行う事ができます。 端部の延伸方法は、以下になります。

部材編集で、「雑壁」を選択します。



雑壁以外は、グレー表示されます。



延伸させたい端部をクリックすると、黄色い〇が表示されます。



一度ドラッグしてマウスを動かすと、水色の破線が表示されますので、延伸させたい位置まで移動しクリックします。



下図のように延伸させることができます。



6.5. 部材のプロパティ

各部材には、「プロパティ」として配置情報を確認または修正することができます。 操作は、同じですので、「柱部材」を例に説明します。

柱のプロパティを確認します。

- (1) プロパティを表示したい部材を選択し、右クリックします
- (2) メニューから「プロパティ」を選択します



(3) 「プロパティ」が表示されます

プロ	プロパティ 伏図配置 Z3(2)(見下げ) - ロ X									
۵	識別情報	1			~			^		
	性何亏				C1					
	GUID				5043AF	83-8238-	4D88-	9D64		
-	配置位置									
		位置固定			する			_		
		X章由			X1(1)			_		
		Y軸			Y1(A)			_		
	柱頭	Z章曲			Z4(3)					
			X	[mm]			2	00.0		
		オフセット	Y	[mm]			2	00.0		
			Z	[mm]			-	30.0		
		位置固定			する					
		X車由			X1(1)					
		Y軸			Y1(A)					
	柱脚	Z軸			Z3(2)					
			х	[mm]			2	00.0		
		オフセット	Y	[mm]			2	00.0		
			z	[mm]			-	30.0		
۵	断面回転									
	RC部材			[度]				0.00		
		X方向材		[度]				0.00		
	S部材	Y方向材	√510,55 [(反] √方向材 [度]			1 0.00				
4	フカシ									
	~~~~	日间		[mm]				•		
⊳	⊖		遃	印用( <u>A</u>	) 元	こ戻す( <u>U</u> )	閉じ	/a( <u>C</u> )		

「プロパティ」を直接編集する事ができます。

柱の寄り、回転、フカシ、鉄筋のかぶり厚、鉄筋の定着方 法などを指定できます。

### 6.5.1. 水平ブレース、鉛直ブレースの自動ストレッチ

ー貫構造計算データのインポートの場合、ブレースのストレッチ寸法はゼロで設定されていません。この場合、 ブレースを選択して、自動的にストレッチ寸法を設定することができます。

下図は、全てのブレースを選択して、プロパティメニューを表示した画面です。



プロパティメニューから「自動ストレッチ」を選択します。



「5.4.6 水平ブレースの配置」で説明した「隙間」の寸法を指定して、「確定」ボタンをクリックします。



### 指定したブレースに対して、ストレッチ計算が行われ、下図のようになります。

#### (隙間=500mmの例)



## 6.6. 検索

[ツール]タブをクリックすると、「符号検索」と「GUID検索」の二つの検索ツールがあります。



#### 6.6.1.符号検索

[ツール]タブ→[符号検索]をクリックすると、符号検索機能画面が表示されます。 Ctrl キー+F キーでも 表示されます。以下は伏図配置の例ですが、立面配置でも符号検索が可能です。

- (1) 配置画面にて、ツールタブで「符号検索」を選択します。
- (2) 符号検索画面が表示されます。

C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C      C	◎ -ト/エクスポート <del>下げ) ×</del> ■■ ■ ■ ▲	SIRBIM Vet I [S K ビル] 確認設計条件 建物形状 部材定義 部状和定面 設計ケーブル リスト回確認 構造回作回 設計数量算出 (1) 国际合体) 図 ロ 42 10 ・ EE 11 ・ 11 文字サイズ 9 、	, 2 , 2
で 符号検索 501D核		世代	
	•		
	, C	K12         K13         K13 </td <td></td>	
	Y2		
	(B)		•
X:28,957.1 , Y:5,94	(A) 10.1 部材編	(-30) ×((1) ×3(2) ×3(2) ×4(3) ×3(4) ま:編集する部材を選択します。(Ctrl+クリック、マウスドラッグ範囲指定で複数道訳可能)	

● 検索部材

検索する部材(すべて、基礎、柱、梁、壁、壁開口、根巻、小梁、スラブ、雑壁、雑壁開口、間 柱、ブレース)を選択します。

● 検索符号

文字の直接入力、ドロップダウンによるリスト選択をします。 検索部材で指定された部材の符号のみをリストし、配置画面の層/フレームに配置されている符 号を表示します。

● 新規選択

選択を解除して、別の符号を新規で選択する場合に使用します。

● 追加選択

1つ符号を選択後、別の符号を追加で選択する時に使用します。

● 選択解除
 指定した符号を選択から解除する場合に使用します。

### 6.6.2. GUID検索

[ツール]タブ→[GUID 検索]をクリックすると、GUID 検索機能画面が表示されます。 以下は伏図配置の例ですが、立面配置でも GUID 検索が可能です。

- ① 配置画面にて、ツールタブで「符号検索」を選択します。
- ② 符号検索画面が表示されます。



検索部材

検索する部材(すべて、基礎、柱、梁、壁、壁開口、根巻、小梁、スラブ、雑壁、雑壁開口、間柱、ブレース)を選択します。

● 検索 GUID

検索したい部材の Guid を貼り付けます。

- 新規選択
   選択を解除して、別の部材を新規で選択する場合に使用します。
- 追加選択

1 つ部材を選択後、別の部材を追加で選択する時に使用します。

● 選択解除
 指定した部材を選択から解除する場合に使用します。

#### (検索例)



GUID は、ユニークな ID のため、一つだけ選択されます。

表示階に見つからない場合は、以下が表示されます。



## 6.7. 配置時のツール(アイコン)

「伏図形式配置」、「Yフレーム立面配置」、「Xフレーム立面配置」を開くと、上の方に下図のツールアイコンが表示されます。

### 6.7.1. 見上げ/見下げ(伏図形式配置の場合)

2 🔽

指定した階(Zxx(フロア名称))を下から「見上げ」て配置するか、上から「見下げ」て配置するか を指定します。

### 6.7.2.右側/左側、下側/上側(立面配置の場合)

**[4** 🛃

2

「X フレーム立面配置」の場合、指定した X 軸を右から見て配置するか、左から見て配置するかを 指定します。

▼ 「Y フレーム立面配置」の場合、指定した Y 軸を下から見て配置するか、上から見て配置するかを 指定します。

#### 6.7.3.**再計算**·再描画

ピン空き処理による梁の延伸、柱の移動による梁の延伸など、作図に近いモデルで表示したい場合に 「再計算・再描画」処理を行います。

### 6.7.4. Undo / Redo

🔄 🚰 配置処理では、Undo/Redo 処理を行う事ができます。

### 6.7.5.確定

配置編集した内容をメモリーに保存したい場合に、「確定」ボタンを押します。
「確定」しても、Undo/Redoの処理は削除されません。

### 6.7.6. 入力モード

■■ 「移動モード」、「拡大モード」、「縮小モード」にいる場合に、「入力モード」に戻したい時にクリックします。

#### 6.7.7.全体表示

□□ 「全体表示」したいときに、クリックします。

#### 6.7.8. 画面移動

🕐 このボタンをクリック後、画面をドラッグする事で、画面移動が可能です。

#### 6.7.9. 画面拡大

😟 このボタンをクリックし、マウスで、拡大したい範囲を2点で指定します。

#### 6.7.10.画面縮小

◎ このボタンをクリックし、マウスで、縮小したい領域を2点で指定します。

#### 6.7.11.距離計測

🛄 このボタンをクリックし、距離を計測したい2点を指定します。

#### 6.7.12.角度計測

🕮 このボタンをクリックし、角度を計測したい二つの線分を指定します。

### 6.7.13.レベル表示(ON/OFF)

 このボタンをクリックすることで、下記の部材レベルを表示/非表示する事ができます。
 ・基礎(下端レベル)
 ・梁(上端レベル)
 ・小梁(上端レベル)
 ・スラブ(上端レベル)

📴 このボタンをクリックすると、上記部材全ての表示/非表示となります。

▲ 上記ボタンがONの時、このボタンをクリックすると、下図のメニューが表示され、部材を個別に選択して 表示/非表示の設定が可能です。

	基礎
<ul> <li>Image: A start of the start of</li></ul>	梁
<ul> <li>Image: A start of the start of</li></ul>	小梁
	スラブ

## 6.7.14.ピン空き設定

10-2	マのぜんいたんしいりオスレ	て回のピンウキナナカフ	も両面が主ニキャキオ
	このホタンをクリックタると、	「凶のしノ至さり広の八	ノ回回ル衣小C1にちり。

ピンあき寸法	o mm	確定(D)
		キャンセル

空き寸法を実寸で入力します。

例えば、100(mm)に設定すると、縮尺 1:100の伏図では、1(mm)の隙間が空きます。

## 6.7.15.スナップ設定(ON/OFF)

■ このボタンをクリックすることで、下記のポイントのスナップ機能の ON/OFF を設定することができます。

- ·交点
- ・端点
- ·中点
- ・線分
- ・節点
- ·部材基点
- 🚹 このボタンをクリックすると、上記のスナップ機能全ての ON/OFF 設定となります。
- 上記ボタンがONの時、このボタンをクリックすると、下図のメニューが表示され、各スナップポイントを個別に選択してON/OFFの設定が可能です。

交点
端点
中点
線分
節点
部材基点

## 6.7.16.直交部材表示(ON/OFF)

■ このボタンをクリックすることで、下記の部材の表示/非表示をする事ができます。

- ·直交梁·直交基礎梁
- ·直交小梁
- ・直交壁
- ・直交ブレース
- ・スラブ

#### ・雑壁

- このボタンをクリックすると、上記の部材全ての表示/非表示設定となります。
- ▶ 上記ボタンがONの時、このボタンをクリックすると、下図のメニューが表示され、各部材の表示/非表示設定が可能です。



### 6.7.17.グリッド表示

このボタンをクリックすると、画面にグリッド表示をする事ができます。

### 6.7.18.文字サイズ

文字サイズ 9

配置時に、いつでも表示の文字サイズを変更できます。

# 7.リスト図確認

## 7.1. リスト図確認で部材断面の確認・編集

部材定義を確認するために、リスト図を表示させることができます。 また、リスト図で定義を編集することができます。 以下は柱リスト図の確認例です。

#### [リスト図確認]タブ→[柱リスト]→[柱リスト]をクリックします。



柱リストが開くと定義済みの柱の断面リストが描画された状態で表示されます。

🚺 🖄 🖄 🚺		SIRBIM Ver.1 [S K Ľ	JL]		_ 🗆 ×
J О В インポー	ト/エクスポート 荷	確認 設計条件 建物形状 部材定義	部材配置 設計テーブル	リスト図確認構造図作図	設計数量算出 🔼
柱リスト ×					-
S ⊂ ⊕	🕀 Q 🔁 🕅	削プレビュー( <u>P)</u>			
柱リス	.⊢ 1:50				
階	符号	C1	C2		
	仕口部帯筋	2-2-D10-@150	2-2-D10-0150		
5 ))25	断面	3 ∞ 500	3 ∞ <b>[]</b> 00 500		
	B×D	500×500	500×500		
	主筋	8-D19	8-D19		
	帯筋	2-2-D10-@100	2-2-D10-@100		
	11日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	2-2-D10-@150	2-2-D10-0150	-	
V-100 C0 V/ 70 10		3	3		T (A)
X:109.00 Y:-79.10	褐集するリス	下を避死します。	.:		田( <u>A</u> ) 元に戻り( <u>U</u> )

修正したい、または確認したいリスト図の上にマウスを移動し、クリックすると、プロパティが表示されます。 編集して 適用(A) ボタンを押すと、リスト図と同時に定義にも変更が反映されます。



# 8. 構造図作図

以下の構造図を作図する事ができます。

- (1) リスト図(断面リスト図、文字リスト図)
- (2) 構造図: 伏図(基礎伏図、杭伏図、伏図形式柱リスト、柱芯関係図、アンカープラン、一般階伏図)
- (3) 構造図: 軸組図
- (4) 構造図:詳細図(RC架構詳細図、S架構詳細図)

### 8.1. 作図設定

構造図作図を行う前に、作図に共通項目の設定を行っておきます。

#### 8.1.1.文字設定

文字設定				×
テーブル一覧       使用       テーブル名       I       標準テーブル	テーブル : No.1 標準テーブル フォント MS ゴシック	k -	表示倍率	₩ 100 <b>•</b> %
	文字高さ			
	タイトル	mm		4.0
	縮尺	mm		3.5
	階名称	mm		3.0
	部材符号	mm		3.0
	寸法	mm		3.0
	項目名称	mm		3.0
	リスト内容	mm		3.0
	せん断補強筋記号			
	文字サイズに対する比率	%		90.0
	2型記号"口"	記号	口で作図	-
追加コピー削除			システム登録(R)	閉じる(C)

リスト図、伏図、軸組図、詳細図、躯体図に描く文字フォント、サイズ等を設定します 「システム登録(R)」する事により、次に新規で作成した JOB でも登録した内容で作図することができます

#### 8.1.2.鉄筋マーク設定



#### ・以下の標準的な鉄筋マークを用意しています

営繕協会	呼び径	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	マークプレビュー	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51
建築学会	呼び径	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	マークプレビュー	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51
公団	呼び径	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	マークプレビュー	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51
東京都財務局	呼び径	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	マークプレビュー	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51

### 8.1.3. 用紙設定

用紙設定 [SKビル	計数量検証)] ×
用紙方向: 〇 🏻	● 横 ───
用紙サイズ: フィッ	(1枚の用紙に作図) ~
余白: 上	25 ਦ 📷 下 25 ਦ 📷
左	20 th m 右 20 th m
中央合わせ: 2	
	2.7年7.部約(の) 明にス(の)
	システム豆鉢(K) 闭しる(C)

- ・用紙方向、用紙サイズを設定します
- ・用紙サイズには、「フィット」が追加されています
   「フィット」は、図面の大きさに合わせてサイズが可変します
   CAD 出力してレイアウトする場合は、「フィット」サイズをご使用ください
- ※「SIRBIM」は、将来的には、用紙を指定したレイアウト機能を設ける予定です。

## 8.2. 構造図作図(リスト図)

リスト図では、以下の図面を作図する事ができます。 但し、「SIRBIM/リスト図」オプション購入が必要です。

#### (1) 断面リスト図

基礎断面リスト(基礎リスト、杭リスト) 柱断面リスト(基礎柱リスト、柱リスト、間柱リスト) 大梁断面リスト(基礎梁リスト、片持基礎梁リスト、大梁リスト、片持梁リスト) 小梁断面リスト(基礎小梁リスト、片持基礎小梁リスト、小梁リスト、片持小梁リスト) ブレース断面リスト(ブレースリスト) 壁断面リスト(一般壁リスト、基礎壁リスト) 鉄骨継手断面リスト(柱継手リスト、梁継手リスト)

#### (2) 文字リスト図

鉄骨柱文字リスト(柱リスト、間柱リスト) 鉄骨梁文字リスト(大梁リスト、片持梁リスト、小梁リスト、片持小梁リスト) ブレース文字リスト(ブレースリスト) 壁文字リスト(一般壁リスト、地下壁リスト) 床文字リスト(一般スラブリスト) 杭文字リスト(杭リスト、杭集計表) 鉄骨継手文字リスト(柱継手リスト、梁継手リスト) 小梁仕口文字リスト(小梁仕口リスト、片持小梁仕口リスト)



### 8.2.1. 一括作図

メニューから[構造図作図] – [リスト図]を選択します。



複数枚の図面を一括で作図する場合は、作図リストの一番上の「一括作図」をダブルクリックします。

🎒 一括作図   図面選択	×
断面リスト 基礎断面リスト ビ 基礎 ビ 杭 基礎性 ビ 柱 目前柱	- 文字リスト - 鉄骨柱文字リスト
大梁断面リスト ☑ 基礎梁 □ 片持基礎梁 ☑ 大梁 ☑ 片持梁	<b>鉄骨梁文字リスト</b> □ 大梁         □ 片持梁         □ 小梁         □ 片持小梁
- 小梁断面Jスト ☑ 基礎小梁 □ 片持基礎小梁 ☑ 小梁 □ 片持小梁	- <b>ブレース文字リスト</b> - 壁文字リスト □ ブレース - 型 -般壁 □ 地下壁
ブレース断面リスト     壁断面リスト       □ ブレース     □ 一般壁	床文字リスト     杭文字リスト □ 一般スラブ     □ 杭 □ 杭集計表
鉄骨継手断面以入 <t< td=""><td>鉄骨継手文字リスト       日 柱継手     梁継手       全羅択     全解除</td></t<>	鉄骨継手文字リスト       日 柱継手     梁継手       全羅択     全解除
	OK キャンセル

ー括作図の図面選択画面が表示されます。 必要に応じて作図するリストを選択してから、OK ボタンをクリックします。

※ 定義にないものはグレーアウトになります。

図面選択で指定図面が一括で作図されます。

🔀 🛅 🖉 🗿 SIRBIM Ver.1 [ S K 🖓 // ]	_ 🗆 ×
JOB インボート/エクスポート 確認 設計条件 建物形状 部材定義 部材配置 詳細入力 設計テーブル データ連携 リ	リスト図確認 構造図作図 設計数量算出 🗹 🛜 🛛
文字設定 鉄筋マーク設定 用紙設定 リスト図設定 構造図設定 施工図設定 CAD出力設定 リスト図 構造図 施工図	
作図設定 出力設定 構造図作成・CAD出力	
	·
1/13 🔄 🔎 🔻 🔟 🚾 📟 📾   再作図(R)   プリング選択 😓 印刷(P)   CAD出力 🗸 閉じる(C)	
フィット用紙(610 x 266 mm)構   RICOH SP C750 JPN RPCS	

作成図面は、💽 ボタンで作図図面が切り替わります。

「CAD 出力」ボタンをクリックすることで、一括作図した図面を指定フォルダの下に図面毎にファイル名を変えて 出力する事ができます。
## 8.2.2. 断面リスト作図設定

作図設定を変更することにより、図面をカスタマイズできます。



「断面リスト作図設定」をクリックします。

テーブル一覧 ▲ 使用 テーブル名	テーブル: No.1 標準テーブル 表示倍率 開 100 € % システム登録
	共通 梁位置名称 基礎 杭 柱 梁 ブレース 壁 地下壁 柱継手 梁継手 鉄筋名称
	タイトル表示         表示する
	タイトル欄高さ mm 10
	図面枠とタイトルのアキ mm 5
	タイトル縮尺のアキ mm 10
	寸法のアキ mm 1
	寸法足の長さ mm 5
	寸法線と寸法値のアキ mm 0.5
	帯筋・肋筋のツメ表示表示しない
	蒂筋表示形式 11:2-2-D13-@200
	肋筋表示形式 5:2-D13-@200
	文字を〇で囲む材種
	(共)         文字を口で囲む材種
	骨文字を◇で囲む材種
	<ul> <li></li></ul>
	** 文字を二重口で囲む材種
	文字を二重◇で囲む材種
-	
追加 □ピー 削除	確定( <u>D</u> ) 閉じる(

設定には、各断面リストに共通な共通設定と、各部材で固有な設定の2種類があります。 設定項目は、右下の「確定」ボタンをクリックすると、即時、反映されます。作図結果を確認しながら調整して ください。

### 8.2.2.1. 各部材設定での共通設定

### ●表示形式

表示する/しない、表示する幅、高さ、表示方法などを変更します

#### (基礎の例)



断面リスト枠幅:「自動調整する」とした場合、自動で 必要な枠幅が計算されます。

「自動調整しない」場合は、枠幅の入力値が使用されます。また、符号毎に枠幅を指定したい場合は、 [8.2.4 符号別リスト幅設定」を参照してください。

#### ●項目表示

作図する/しない、作図順序、項目名称を変更します

#### (柱の例)

		· · · · ·			
	(最上部)	符号欄		符号	
	1段目	仕口部帯筋欄	データがある場合に作図	仕口部帯筋	
	2 段目	断面欄	作図する	断面	
	3段目	BxD欄	データがある場合に作図	ВхD	
	4 段目	主筋欄	データがある場合に作図	主 筋	
	5 段目	芯鉄筋欄	データがある場合に作図	芯鉄筋	
	6段目	帯筋欄	データがある場合に作図	帯 筋	
	7段目	鉄骨欄	作図しない	鉄 骨	
酒口主二	8段目	B.PL欄	データがある場合に作図	B.PL	
項目茲小	9段目	A.BOLT欄	データがある場合に作図	A.BOLT	
	10段目	製品名欄	データがある場合に作図	製品名	
	11段目	型番欄	データがある場合に作図	型番	
	12段目	最下部仕口部帯筋欄	データがある場合に作図	仕口部帯筋	
	13段目	予備枠1	作図しない	備考1	
	14段目	予備枠 2	作図しない	備考 2	
	15段目	予備枠3	作図しない	備考 3	
	16段目	予備枠4	作図しない	備考4	
	17段目	予備枠 5	作図しない	備考 5	
上に移動 下に移動   「   行 を指定して上下移動					
		作図する/	しない等の指定		
				項目名称変	

●項目文字

項目名称を変更します

(基礎の例)

	符号欄文字	符 号
	断面図欄文字	断面
	平面図欄文字	平 面
酒口去会	GL記号文字	∀GL
項曰义子	上端筋リスト文字	上端筋
	下端筋リスト文字	下端筋
	捨てコン厚文字	捨てコン厚
	敷砂利厚文字	敷砂利厚

#### ●寸法表示

断面リストに表示している寸法を表示する/しないを変更します

(柱の例)

	BxD寸法線	作図する
++==	鉄骨寄り寸法線	作図する
可法表示	同一寸法省略	省略しない
	芯鉄筋かぶり寸法	作図する

### ●断面表現

断面リストの断面表示の表現に関係する項目の設定を行います

#### (梁の例)

				1
肋筋上下かぶり厚	実寸	(in	50	
肋筋左右かぶり厚	実寸	(in	40	
2段筋あき	実寸	(in	40	
主筋本数の表記方法				作図する
2段筋記号				作図する
位置欄を各階に表記				作図しない
	梁幅)	スケールア	ウト	しない
	ANT	A	(in	500
基礎梁 基礎小梁 片持基礎梁 片持基礎小梁	(おを	В	(in	900
	Cとする	С	0 <b>m</b>	700
	梁成(	スケールア	しない	
	ALLE	A	(in	500
	(おを	В	(in	900
	Cとする	С	(in	700
	梁幅 スケールアウト			しない
<b>★</b>	ALLE	А	(in	500
	(おを	В	(in	900
小梁	Cとする	С	(in	700
片持梁 片持小梁	梁成 スケールアウト			しない
	AULT	A	(in	500
	(おを	В	(in	900
	Cとする	С	m	700
	<ul> <li>助筋上下かぶり厚</li> <li>助筋左右かぶり厚</li> <li>2段筋あき</li> <li>主筋本数の表記方法</li> <li>2段筋記号</li> <li>位置欄を名階に表記</li> <li>基礎公小梁</li> <li>片持基礎小梁</li> <li>片持基礎小梁</li> <li>大梁</li> <li>大梁</li> <li>大子梁</li> <li>片持小梁</li> </ul>	助筋上下かぶり厚           助筋左右かぶり厚           2段筋あき           主筋本数の表記方法           2段筋記号           位置欄を名階に表記           塩礎名階に表記           基礎子型           基礎子型           上前各型           基礎子型           上前各型           上           基礎子型           上           上           上           上           基礎子型           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上           上	助筋上下かぶり厚         実寸           助筋左右かぶり厚         実寸           2段筋あき         実寸           主筋本数の表記方法         22           主筋本数の表記方法         22           空筋記号         レーン・           2段筋記号         レーン・           2段筋記号         レーン・           2段筋記号         人以上           402         A以上           403         B           2405         C           2405         Q           2405         A以上           145         B           2505         C           2605         C           2405         A           145         B           145         B           145         B           145         B           145         B           145         C           145         C           145         B           145         C           145	助筋上下かぶり厚実寸៣助筋左右かぶり厚実寸៣2段筋あき実寸៣主筋本数の表記方法三2段筋記号一七週欄を名階に表記第位週欄を名階に表記A以上 におるA基礎小梁イレーレーン片持基礎小梁A片持基礎小梁A上付A上付名化名上方A以上 になる人以上 片持梁A片持梁A片持梁A片持梁A上A上A人以上 片持梁A「A上A上A人山上 におるA「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A「A」A」A」

スケールアウトに関して

極端に断面幅または成が大きな部材があった場合、スケールアウトすることにより、断面リストの空白を小さくすることができます。

スケールアウト前

符号		FG1a		
位置	左端	中央	右端	全断面
断 面		2 006 0 0 3 0 0 400		
B×D		350x2, 500		
上端筋	4-D25 2-D25		4-D25	2-D25
下端筋	3-D25 3-D25 2-D25			2-D25
肋筋		2-D13-@100		
腹筋				



符号		FG1a		
位置	左端	中央	右端	全断面
断 面			4 2 400 2 9 9 9	
B x D		350x2, 500		
上端筋	4-D25	2-D25	4-D25	2-D25
下端筋	3-D25	3-D25	2-D25	2-D25
肋 筋		2-D13-@100		
胞筋				

## 8.2.2.2. 断面リスト作図設定:共通

共通		梁位置名称	基礎	杭	柱		梁	ブレース	壁	地下壁	柱継手	4	•
911	·Nā	表示					表示する					-	
911	ル根	膈さ			n	m	15						
図面	神と	タイトルのアキ			n	m	10						
911	北新	<b>記尺のアキ</b>			n	m	10						
寸法	ወፖ	4			n	m	1						
寸法	足の	)長さ			n	m	5						
寸法	線と	:寸法値のアキ			n	m	1						
帯筋	5.肋	筋のツメ表示					表示しない						
帯筋	表示	₹形式					11:2-2-D13-@200						
肋筋	表示	示形式					5:2-D13	-@200					
BxD	リス	トにカンマを付か	П				付加する						
	文	字をつで囲む材	種										
鉄	文	字を口で囲む材	種										
骨	~~ 骨 文字を◇で囲む材種												
材文字を二重〇で囲む材種													
住 文字を二重□で囲む材種													
	文	字を二重◇で囲	囲む材種										

#### 共通項目の寸法を設定します。



# ● 帯筋表示形式、肋筋表示形式

下記の24パターンから選択します

1:D13-D-@200	11:2-2-D13-@200	21:2-2 D13 @200
2:D13-D-200@	12:2-2-D13-200@	22:2-2 D13 200@
3:0-D13-@200	13:2-2-D13 @200	23:0(2,2) D13@200
4:0-D13-200@	14:D13 🗆 @200	24:(2,2)-D13@200
5:2-D13-@200	15:D13 🗆 200@	
6:2-D13-200@	16:0 D13 @200	
7:D13-🗆 @200	17:0 D13 200@	
8:0-D13 @200	18:2 D13 @200	
9:2-D13 @200	19:2 D13 200@	
10:(2-2) 🗆-D13 @200	20:(2-2) 🗆 D13 @200	

● BxD リストにカンマを付加(柱断面リスト、梁断面リスト共通)

#### 付加する場合

付加しない場合

符号	FG1
位置	全断面
断 面	
ВхD	400x1, 200
上端筋	4-D25
下端筋	3-D25
肋筋	2-D13-@250
腹筋	8-D10



### ● 鉄骨材種

鋼材記号に○、□、◇、2重○、2重□、2重◇を鋼材種を指定して表示することができます

	文字をつで囲む材種	SS400
<u></u> 44	文字を口で囲む材種	
骨	文字を◇で囲む材種	
材	文字を二重○で囲む材種	
裡	文字を二重口で囲む材種	
	文字を二重◇で囲む材種	

			仑	
	壯丽	Х	-400x400x20 (SS400)	-400x400x20 (SS400)
分四	11.256	Y		
шA Н	壮助	Х	(H) -400x400x25x25 (SS400)	-400x400x20 (SS400)
	1. T. 1. Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Million Milli	Y		

## 8.2.2.3. 断面リスト作図設定:基礎

	基礎			
図面タイトル				基礎リスト
図面縮尺	図面縮尺			40
リスト枠		作図		する
つなぎ筋		作図		する
	تر به جوستا	作図		する
	上端肋ガキ	長さ	d	15
店拉甘林		作図		しない
但按控键	下出於力力	長さ	d	20
	1、3曲月277-1-	フック		フック無し
		フック長さ	d	10
	日本単数カード	作図		する
		長さ	d	15
1本		作図		する
杭基礎	下出於古者	長さ	d	20
	「単面周カノノート	フック		フック無し
		フック長さ	d	10
	日本単数の力子	作図		する
	上端肋ガキ	長さ	d	15
2本以上	下端筋カギ	作図		する
杭基礎		長さ	d	20
		フック		180度フック
		フック長さ	d	10
柱型表示高さ			mm	50
	地業の出(実す	t) (t	mm	100
	杭表示長さ		mm	20
	項目欄	幅	mm	15
	紙面ロフト物値	自動調整		する
表示形式		幅	mm	100
	符号欄	高さ	mm	6
	断面図欄	高さ	mm	100
	平面図欄	高さ	mm	100
	GI表記	作図		する(GL-xxx)
	001260	表記		する
	符号欄文字			符号
	断面図欄文字			断面
	平面図欄文字		平面	
項目文字	GL記号文字		∀GL	
200	上端筋リスト文	字		上端筋
	下端筋リスト文	字		下端筋
	捨てコン厚文字			捨てコン厚
	敷砂利厚文字		敷砂利厚	

項目は、必要に応じて修正してください。 右下の「確定」ボタンをクリックすると、 即時、反映されます。 作図結果を確認しながら調整してださい。

● 上端筋/下端筋カギ フック (無し/180度/135度/90度)





敷砂利厚100 -

## 8.2.2.4. 断面リスト作図設定:柱

		柱							
	基礎柱			基礎柱リスト					
図面タイトル	トル柱			柱リスト					
	間柱			間柱リスト					
図面縮尺	1/			50					
断面枠サイズ	最大枠サイズ自動計算			自動計算する					
	柱頭柱脚 1 枠			1枠にまとめて区切り線を作図					
	階欄表示形式			階欄別枠					
	階欄	幅	mm	15					
	項目欄	幅	mm	25					
	リスト枠	幅	mm	50					
	鉄骨方向枠	幅	mm	6					
≢≕≓	符号欄	高さ	mm	6					
衣示形式	断面欄	高さ	mm	50					
	文字欄	高さ	mm	6					
	鉄骨欄表示形式			タイプ 2					
	高強度鉄筋2重枠			する					
	芯鉄筋を主筋欄に表示			する					
	帯筋スパイラル記号			Sを付加					
	データ無し			斜線(右下がり)					
	(最上部)			符号欄		符号			
	1段目			仕口部帯筋欄	データがある場合に作図	仕口部帯筋			
	2段目			断面欄	作図する	断面			
	3段目			BxD欄	データがある場合に作図	B x D			
	4段目			主筋欄	データがある場合に作図	主筋			
	5段目			芯鉄筋欄	データがある場合に作図	芯鉄筋			
	6段目			帯筋欄	データがある場合に作図	帯筋			
	7段目			鉄骨欄	データがある場合に作図	鉄 骨			
「日中主テ	8段目			B.PL欄	データがある場合に作図	B.PL			
項日茲小	9段目			A.BOLT欄	データがある場合に作図	A.BOLT			
	10段目			製品名欄	データがある場合に作図	製品名			
	11段目			型番欄	データがある場合に作図	型 番			
	12段目			最下部仕口部帯筋欄	データがある場合に作図	仕口部帯筋			
	13段目			予備枠 1	作図しない	備考1			
	14段目			予備枠 2	作図しない	備考 2			
	15段目			予備枠 3	作図しない	備考 3			
	16段目			予備枠 4	作図しない	備考 4			
	17段目			予備枠 5	作図しない	備考 5			
	階接尾文字			階					
	柱頭文字			柱頭					
項目文字	柱脚文字			柱脚					
	~		Х	x					
	<u> </u> 获骨万回又子		Y	Y					
	BxD寸法線			作図する					
	鉄骨寄り寸法線			作図する					
可法农示	同一寸法省略			省略しない					
	芯鉄筋重心位置寸法			作図する					
	帯筋かぶり厚	実寸	mm	40					
	2 段筋あき	実寸	m	40					
	<u>↑</u> ☆★粉実=□			作回する					
	工加冲动权配			D13         以下の細径は主筋本数に計上しない					
	芯鉄筋本数表記			()表示					
	2段筋記号	2段筋記号			… 作図する				
	BPL			作図する					
长南丰和	バンドプレート		作図する						
可叫农场	断面幅スケールアウト			しない					
	断面幅	Α	mm	500					
	A以上は	В	m	900					
	BをCとする	С	m	700					
	断面成スケールアウト			しない					
	断面成	Α	mm	500					
	A以上は	В	mm	900					
	BをCとする	С	m	700					

項目は、必要に応じて 修正してください。 右下の「確定」ボタンを クリックすると、即時反映 されます。 作図結果を確認しながら

調整してださい。

● 柱頭柱脚1枠(1枠にまとめる/断面ごと/1枠にまとめて区切り線をいれる)

#### 1 枠にまとめる





断面ごと



● 階欄表示形式(階欄別枠/断面欄に表示)

#### 階欄別枠

	仕口部帯筋	2-2-D10-@150	2-2-D10-@150
1 階	断面	4 600 600	4 600
	ВхD	600x600	600x600
	主筋	12-D22	12-D25
	帯筋	2-2-D10-@100	2-2-D10-@100
	仕口部帯筋	2-2-D10-@150	2-2-D10-@150

#### 断面欄に表示

仕口部帯筋	2-2-D10-@150	2-2-D10-@150
1 階		4 ▼ 600
B x D	600x600	600x600
主筋	12-D22	12-D25
帯筋	2-2-D10-@100	2-2-D10-@100
仕口部帯筋	2-2-D10-@150	2-2-D10-@150

### ● 鉄骨欄表示形式(タイプ1~タイプ8)

タイプ1

鉄 骨X	H-400x200x8x13 (SS490)	
鉄 骨Y	H-400x200x8x13 (SS490)	

タイプ3

<u></u>	唇	H-40	0x200	H-400x200	
荻	ΪĦ.	x8x13	(SS490)	x8x13	(SS490)

#### タイプ5

鉄 骨 X	v	H-400x200	v	H-400x200	
	^	x8x13 (SS490)	ľ	x8x13 (SS490)	

#### タイプ フ

鉄 骨X	H-400x200
	x8x13 (SS490)
鉄 骨Y	H-400x200
	x8x13 (SS490)

タイプ 2	2		
丝 星	X	H-400x200x8x13	(SS490)
<u></u> 新 月	Y	H-400x200x8x13	(SS490)

タイプ4

상 목	H-40	0x200	H-400x200		
<b>亚大 月</b>	x8x13	(SS490)	x8x13	(SS490)	

### タイプ 6

상 목	¥	H-400x200	v	H-400x200	
<u> </u>	^	x8x13 (SS490)	'	x8x13 (SS490)	

#### タイプ 8

	H-400x200
⇒ 」	x8x13 (SS490)
At BV	H-400x200
· 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」	x8x13 (SS490)

#### ● 高強度鉄筋2重枠

ВхD 主 筋

帯 筋

仕口部帯筋

断 面

B×D

主筋

しない

#### する

BxD	600×600
主筋	12-D22
帯筋	2-2-UHD13-@100

# ● データ無し(ブランク/斜線(右下がり)/斜線(右上がり))

600x600

12-D22 2-2-UHD13-@100

ブランク

2 蹃

## 斜線(右下がり)





## 8.2.2.5. 断面リスト作図設定:梁

			梁								
	基礎梁				基礎梁リスト						
	片持基礎梁				片持基礎梁リスト						
	大梁				大梁リスト						
	片持梁				片持梁リスト						
図面タイトル	基礎小梁				基礎小梁リスト						
	上 持 基 礎 小 辺				片持基礎小梁リスト						
	小型				小梁リスト						
	日来				小菜 ツムト 仕持小沙川フト						
阿南線只	1/				50						
ビロ相八		er.			白動計算する						
町画程ワイス	取八杯 リイス日勤計	Ħ			日動計弁分の						
	1111日初の小ガル - キャット・シャーフェーブロ	(±+)	*+		19198001111 200						
	大楽・小楽のスラノ厚	·(美可)	美订	001	200						
	基礎梁・基礎小梁の	スラフ厚	上新	001	200						
	(美小)		下端	(in	200						
	地業厚 (実寸)		捨てコン	(in	50						
			敷砂利	an	50						
	スラブ・地業の出(実	4)	実寸	(in	100						
	階欄		幅	(in	15						
表示形式	項目欄		幅	an	25						
	リスト枠(基礎)		幅	(in	50						
	リスト枠(一般)		幅	a <b>n</b>	50						
	符号欄		高さ	a <b>n</b>	6						
	位置欄		高さ	an	6						
	断面欄(基礎)		高さ	an	50						
	断面欄(一般)		高さ	an	50						
	文字欄		高さ	ា	6						
	データ無し		高さ	an	斜線(右下がり)						
	(最上部固定)				符号欄		符号				
	1段目				断面欄	作習する	断面				
	2段目				BxD欄	作図する	BXD				
	3段日				上端的欄	作図する	上端節				
	4段日				下端的欄	作図する	下端節				
	5608				助館棚	/F図する	助館				
酒曰妻子	5000				防防期	/F図する	胞節				
-900-02/0					建晶锭調	コトロッツ	A使 DJ 				
	/ 探田				灰白肋1 又供加 1	プログルの多物ロビイド目	妖 FI (#来)				
	8 FXE				丁油和学士	1FBU/4V1	198151				
	9段目				予備枠 2	作图しない	備考 2				
	10段目				予備枠3 作凶しない 備考3 ス(#th.a /た网したい) (#考す						
	11段目				予備枠4         作図しない         備考4						
	12段目				予備枠5 作図しない 備考5						
梁主筋	主筋本数の表記方法	5			1段筋/2段筋	/ DXX					
<b>佰日</b> ☆空	位置欄文字				位置						
MAXT.	階接尾文字				階						
	B×D寸法線				作図する						
计计主子	鉄骨寄り寸法線				作図する						
可法表示	同一寸法省略				省略しない						
	捨てコン、敷砂利のす	法			作図する						
	肋筋上下かぶり厚		実寸	(in	50						
	肋筋左右かぶり厚		実寸	(m	40						
	2段筋あき		第4		40						
	主筋本数の表記方は	Ę.	~ 1		作図する						
	2段節記号	-			<u>作図する</u>						
	位置欄を久嗟にまい	1			作図しかい						
	acternet C 등 MEIC 42.55	(73.6G	76-17	ήĿ	しかい						
		米幅	x9=10¥	211	500						
		A以上 (+D本	A	m <b>m</b>	300						
	基礎梁	しょちを	В –	n <b>m</b>	900						
	基礎/小梁 出共其磁源	50 90		1000	700						
断面表現	/117至吨米 片持基礎小型	梁成	スケールア	ワト	9.0						
णाम्बरूम्ह		A以上	A	(in	500						
		はおを	В	ា	900						
		1293	С	ាព	700						
		梁幅	スケールア	ウト	しない						
		ANT	A	m	500						
	大型	(おを	В	ា	900						
	小梁	Cとする	С	am	700						
	片持梁	梁成	スケールア	ウト	しない						
	片持小梁	ANE	A	(mn	500						
		(おを	В		900						
		Cとする	6	000	200						
			0	100							

項目は、必要に応じて 修正してください。 右下の「確定」ボタンを クリックすると、即時反映 されます。 作図結果を確認しながら

調整してださい。

●階欄表示形式(階欄別枠/断面欄に表示)

階欄別枠







- データ無し(ブランク/斜線(右下がり)/斜線(右上がり)) 「10.2.2.4 柱設定」と同様
- 梁主筋本数の表記方法
  - 以下の3パターンから選択します
  - ① 合計本数-Dxx
  - ② 1段筋/2段筋/···· Dxx
  - ③ 1段筋+2段筋+···· -Dxx

(②パタ-	-ン例)
	~ 1/3/

B x D	350x650										
上端筋	4/2-D22	2-D22	4/2-D22								
下端筋	3/2-D22	3-D22	2/2-D22								
肋筋		2-D10-@150									
腹筋	2-D10										

● 位置欄を各階に表記する

作図しない場合





※「10.2.2.6 梁位置名称」設定で、通り軸名称を位置欄に表示することができます

### 8.2.2.6. 梁位置名称

<ul> <li>新面リスト作図設定</li> <li>テーブル一覧</li> <li>使用 テーブル名</li> </ul>	テーブル: No.1 標準	テーブル	▼ 表示倍率 開 100 文 % システム登録( <u>R</u> )								
標準テーブル	共通 梁位置名称	(通 梁位置名称 基礎 杭 柱 梁 ブレース 壁 地下壁 柱									
	1 断面	全断面	全断面								
	2.166万万	端部	端部								
	2 四回(1)	中央	中央								
	2.16页 ③	左端	左端								
	2 101111 (2)	中央·右端	中央·右端								
	2.断面③	左端·中央	左端·中央								
	2 0/04 0	右端	右端								
	2 断面 (片持恐)	元端	元端								
		先端	先端								
		左端	左端								
	3 断面	中央	中央								
		右端	右端								
		外端	外端								
	3 断面	中央	中央								
		内端	内端								
	3断面両端(左端	/右端)の通り軸名表示	位置名称で作図								
▼											
追加コピー 削除			確定(旦) 閉じる(⊆)								

梁の定義の断面設定(全段面/端部・中央/左端・中央・右端/内端・中央・外端)の各位置の名称を設定します。

● 3 断面両端(左端/右端)の通り軸名表示

「位置名称で作図」する場合



「通り軸名で作図」する場合



#### 「通り軸名+端で作図」する場合



※ 本設定を有効にするためには、「8.2.2.5 断面リスト作図設定:梁」で、「位置欄を各階に表記する= 作図する」に設定する必要があります

## 8.2.3. 文字リスト作図設定

作図設定を変更することにより、図面をカスタマイズできます。

						SIRBIM Ver.1 [S	к Ели]		( itter milem				_ 🗆 X			
	- 1 一 (睡認)	IVIT:	*FF 2番 英王王	初形状部附定到	t 804/1802 ×	計構入力 設計:	アーブル アータ連邦	5 リスト凶難認	構造凶作凶	以計劃重昇出						
文字設定 鉄筋マーク設定 田紙					CADUED	ШТ Ь 🕅 🕴	·····································									
XTEXE SOUT TEXE HIS		*	1442034	KAC 1/6-2-C36XAC	CHD [[]/] 5000											
1/1         ●         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■         ■																
	スラブリスト															
				短辺	方向	長辺	方向									
	符号	板厚		端部	中央	端部	中央	備	考							
	001	150	上端筋	D10-@150	D10-@150	D10-@200	D10-@200									
	631	150	下端筋	D10-@150	D10-@150	D10-@200	D10-@200					- 🖓 小梁				
	FS1	200	上端筋	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200									
	131	200	下端筋	D13-@200	D13-@200	D13-@200	D13-@200					□ 冊 ブレース				
	RS1 120	RS1 1	RS1 120	RS1 120	S1 120	上端筋	D10+D13-@200	D10-@400	D10-@250	D10-@500					一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	
		S1 120	下端筋	D10-@400	D10+D13-@200	D10-@500	D10-@250					- 唐 地下壁 				
	RS2	120	上端筋	D10+D13-@200	D10-@400	D10-@200	D10-@400					福 柱継手				
		-	下端筋	D10-@400	D10+D13-@200	D10-@400	D10-@200									
	S1	120	上端筋	D10+D13-@200	D10-@800	D10-@250	D10-@750					→ → 鉄骨柱文字リスト	E			
			下端筋	D10-@400	D10+D13-@200	D10-@500	D10-@250					福祉				
	S1_5	120	上端筋	D10+D13-@200	D10-@400	D10-@250	D10-@500					□				
			下端筋	D10-@400	D10-@200	D10-@500	D10-@250					一座 片持梁				
	S2	120	上端筋	D10+D13-@200	D10-@800	D10-@200	D10-@800					·····································				
			下端筋	D10-@400	D10+D13-@200	D10-@400	D10-@200					プレース文字リスト     読立字リスト				
	S3	120	上端筋	D10+D13-@200	D10+D13-@200	D10-@250	D10-@250					一般壁				
	<u> </u>		ト端筋	D10-D10-@200	D10-D10-@200	D10-@250	D10-@250									
	S4	120	上端筋	D10-D12 @200	D10+D13-@200	D10-@250	D10-@250					殿 スラブ				
			▶ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	D10-0200	D10+D13-@200	D10-@250	D10-@250					<ul> <li>① 一</li></ul>				
フィット用紙(208 x 205 mm)横	RICOH SP	т С750 JPN	I RPCS	1 010-@200	010-@200	010-@200	010-02001						-			

「文字リスト作図設定」をクリックします。

文字リスト作図設定													
テーブル一覧	テーブ	ル:No.1 標準テ・	ーブル								表示倍率	≊ <b>∭</b> 100 <b>€</b> %	システム登録(R)
マークル石 一 標準テーブル	共通	梁位置名称	柱	梁 5	ルース	一般璧	地下壁	スラブ	杭	杭集計表	柱継手	梁継手 小梁仕口	) 鉄筋名称
	911	····表示				表示する							•
	911	ル欄高さ			an	10							
	図面	枠とタイトルのアキ			ាព	5							
		文字をつて囲む	種										
	鉄	文字を口で囲む物	糎										
	日日	文字を◇で囲む株	種										
	一府	文字を二重〇で	囲む材種										
	1±	文字を二重口で	囲む材種										
		文字を二重◇で	囲む材種										
-													
追加□ピー 削除												確定(D)	閉じる(C)

※ 詳細に関しては、「8.2.2 断面リスト作図設定」と同様ですので、そちらを参照してください

### 8.2.4. 符号別リスト幅設定

柱部材、梁部材の断面リストの幅を符号毎に指定できます。 この設定で作図する場合は、断面リスト枠幅の自動調整を「しない」に設定してください。



※ この機能は、断面リスト作図設定で、「断面枠サイズ=自動計算しない」場合に、有効です

「符号別リスト幅設定」をクリックします。



断面枠幅は、1 断面の幅を指定します。



(50)は、作図設定のリスト枠幅を表示しています

断面数によって、1符号のリスト幅は、 断面数×断面枠幅 となります。

## 8.2.4.1. 符号の枠幅を全ての符号で同じ幅に設定したい場合

符号別リスト幅設定					x		
部材種別	大梁				表示倍率 關 100 🖨 %		
叠啶性 柱	No	符	<del>7</del> 号 構造	断面数	断面枠幅(50)[mm]		
間柱		1 G1	RC	3			
基礎梁		2 G2	RC	2			
片持基礎梁		3 SG1	S	3			
大 <u>梁</u> 片持梁 基礎小梁 片持基礎小梁 小梁							
片持小梁					🎒 断面枠幅一括設定	×	(
	· 構造·行	加 枠移	動↑ 枠移動↓ 断面枠幅一括設定	枠削除	<ul> <li>) 断面枠幅を一括指定</li> <li>」 (1) 符号の枠幅を一括指</li> </ul>	Eする(指定値が断面枠幅として入力されます) 定する(指定値÷断面数=断面枠幅として入力されます)	
右図のように設定し	て「確	宦をク	リックします	⇒ °	指定値[mm] 150	確定( <u>D</u> ) 閉じる( <u>C</u> )	



符号の枠幅が指定した値になるように、各部材の断面数で割って、断 面枠幅に自動設定されます。

下図の様になります。

🚺 👛	i 💆 🖁	3 👼					SIRBIM Ver.	1 [梁リスト]					- 🗆 ×
JOB	12	ボート/エク	スポート 確認	設計条件	建物形状 部	材定義 部材配置	詳細入力	設計テーブル	データ連携	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	
橫道図	1:リスト図	×											<u> </u>
1/1	1 🗄 🔎	- 0	. 🔤 🖽 📓	再作図( <u>R</u> ) フ	リンタ選択 🖶 印刷	剧( <u>P)</u> CAD出力 -	閉じる( <u>c</u> )						局 一括作図 ▲
	大	■ 単 リスト 1:3	Þ										
	-	2 B C B	28	9A	84		12		20	12 ++	5		
				A CONTRACTOR	No. of the second secon				E e	T a			□-■ 性断面リスト → 照 基礎性 → 照 性 → 照 間柱
1		8.0 1.90 7.94 8.0	250,700 1-405 1-405	30-400 5403 6403 2403-000	30.400 1-005 6-005								□-■ 大衆政策面以入下 - 歴 基礎梁 - 歴 片枝基礎梁 - 授 片枝基礎梁
			23		11				8-400-200-044 004	8-83200041 3	400 B450200-014	13492	し際 片持梁
	5						-	2	End a	I e	I -		日
		8.0 1.10 7.10 8.0 8.0	3%x200 0405 0405	260400 5423 6423 2433-1010 3403	361,700 9-005 9-005	200 24년 24년	24(2-(1))	265400 2485 2485	Lateration and	en ll sustaneous en	ano I stationeda		
		4 8	29	9A	88	22		9 <u>4</u>	23	99	<b>F</b> 5		□····································
			and the second s	100 mm	Name of State	200 z	1	2 2			6 [21]		- 福 柱框手 - 福 梁電手 文字リスト 
		8.0 246 756 8.0 8.0	1405 (405	150/00 8405 8405 2403 3403	1405 6405	248 248	2402-4930	3405 3405		en Turkenson e	an I safetitera		- 歴 柱 - 岡 暦柱 日- 一 鉄骨梁文字リスト - 一 炭 大梁
フィット用紙	紙(531)	x 343 mm ) ;	描   RICOH SP	C750 JPN RPCS									

(注意) 指定の枠幅にするためには、断面リスト作図設定で、「断面枠サイズ=自動計算しない」に設定 してください 下記の梁部材の断面リストで、スラブ厚、スラブレベル、底盤レベル、上下左右の肋筋かぶり厚さを指定できます。

- (片持) 基礎梁
- (片持) 大梁
- (片持) 基礎小梁
- (片持) 小梁



#### 「梁符号別階別スラブ・肋筋かぶり厚設定」をクリックします。

梁符号別階別スラブ・	肋筋かぶり厚 基礎梁	設定										表示	倍率關	× 100 🔹 %
基礎梁 片持基礎梁 + 33	No	符号	厚さ(	<u>ح</u> ۳۳۱)	ブレベル	L(mm)	厚さ(	底2 mm)	12 12/11/1	(mm)	đ	あばら筋かぶり	)厚さ(mm)	
八栄			左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側	F	Т	左	右
其礎小涩	1	FG1	200	200	0	0	200	200	0	0	50	50	40	40
片持基礎小梁	2	FG2	200	200	0	0	200	200	0	0	50	50	40	40
小梁	3	FG3	200	200	0	0	200	200	0	0	50	50	40	40
片持小梁	4	FG4	200	200	0	0	200	200	0	0	50	50	40	40
	5	FG5	200	200	0	0	200	200	0	0	50	50	40	40
	6	FG6	200	200	0	0	200	200	0	0	50	50	40	40
• •	,													初期化
			符号ソート									確定	E(D)	閉じる(C)

「断面リスト作図設定」の梁で設定された値が初期値として表示されます。

## 8.2.5.1. スラブレベルを変更する場合

### 変更前の断面リスト



#### 修正内容

梁符号別階別スラブ・肋筋かぶり厚設定														x	
▲	基礎梁	基礎梁 表示倍率 關 10													100 🗘 %
片持基礎梁	No		符号	厚さ(	ح mm)	.5ブ レベリ	↓(mm)	厚さ(	底: mm)	盤 レベル	/(mm)		あばら筋かふ	い厚さ(mm)	▲ _
片持梁				左側	右側	左側	右側	左側	右側	左側	右側	F	下	左	右
基礎小梁	1	FG1		200	200	100	-100	200	200	0	0	50	50	40	<u>4</u> <u></u>
片持基礎小梁	<u> </u>														
															初期化
			符号	א-ר									確	定(D)	閉じる(C)

### スラブレベルを左側+100、右側-100とします

変更後の断面リスト



### 8.2.5.2. 梁の肋筋かぶり厚を変更する場合

肋筋かぶり厚さを実寸で、入力します。

「断面リスト作図設定」の梁の断面表現では、基礎梁、大梁、小梁とも一律同じ値の上下かぶり厚、左右かぶり厚の設定が行えますが、ここでは、符号毎に、上下左右のかぶり厚を設定することができます。



## 8.3. 構造図作図(伏図、軸組図、詳細図)

以下の図面を作図する事ができます。

但し、「SIRBIM/構造図」オプション購入が必要です。

- (1) 伏図(基礎伏図、杭伏図、伏図形式柱リスト、柱芯関係図、アンカープラン、一般階伏図)
- (2) 軸組図
- (3) 詳細図(RC架構詳細図、S架構詳細図)

### 8.3.1. 配置軸と作図軸

計算データをインポートすると、「配置軸」と「作図軸」は同じ情報で読み込まれます。 「配置軸」は、柱、梁の配置を入力しやすくするため、折れ曲がった軸にしますが、伏図、軸組図では、通常ま っすぐな通り軸になっています。まっすぐな作図軸にするために、以下の処理を行います。

### 8.3.1.1. 作図軸の編集

[建物形状]タブ→[節点移動]を開きます。



#### 「配置軸」と「作図軸」がありますので、「作図軸」を選択します。

角	節点移動 [S K ビル①]														
	配置軸 作図軸 表示倍率 關 100 € %														
Γ		X軸	範囲	Y車由語	範囲	Z軸論	範囲	把安士计	X座標	Y座標	Z座標		<b></b>		
	INO	Xs	Xe	Ys	Ye	Zs	Ze	指足力法	[mm]	[mm]	[mm]				
	1	0	1	3	4	0	8	相対距離	0	-2000	0				
	2	2	2	3	4	0	8	相対距離	0	-925	0				
	3	3	3	3	4	0	8	相対距離	0	-500	0				
	4														
													-		
	#3.99	1										歴史(の)	881° 7 (C)		
	ĦCīđ	(単田→イイ)	FMI									1/進花(D)	閉しる(C)		

### 全ての行を選択し、右クリックするとメニューが表示されますので、「行削除」をクリックして削除します。 ^{節点移動}[SKビル①]

配置	軸	作图	回軸							;	表示倍率 關	100 🔹 %
Ne	X軸範囲 Y軸範囲 Z軸範					範囲	将中古社	X座標	Y座標	Z座標		<b>_</b>
NO	Xs	Xe	Ys	Ye	Zs	Ze	相足门広	[mm]	[mm]	[mm]	]	
1	0	1	3	4	0	8	相対距離	0	-2000	0		
2	2	2	3	4	0	8	相対距離	0	-925	0		
3	3	3	3	4		切り	<b>又り</b>	0	-500	0		
4						⊐ピ–						
						貼り作	tlt					
						行削	除					
					-							
												•
配置	讀曲→作	F図軸									確定(D)	閉じる(C)

削除後、必ず「確定」ボタンを押して終了します。

### (作図軸:削除前)



#### (作図軸:削除後)



#### 8.3.2. 一括作図

伏図、軸組図、詳細図の「一括作図」の作図の手順は、同じ手順で行います。 以下は、「一般階伏図」の場合です。



「構造図作図」-「構造図」を選択します。

「一般階伏図」を右クリックし、「一括作図」をクリックします。

■ 一般階伏図作図 ×
図面見方:       見上げ ✓         図面タイトル:       @DW 階柱壁 @FL 階床伏図         出力範囲:       X       1 - 5 - :Y       1 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 -
レベル表示: ✓ 基礎小梁 標準レベル -200 → mm ✓ 基礎小梁 標準レベル -200 → mm ✓ 大梁 標準レベル -30 → mm ✓ 小梁 標準レベル -30 → mm ✓ 小梁 標準レベル -30 → mm ✓ 由般スラブ 標準レベル -30 → mm 標準レベルで指定したレベル値は表示しません
通り名表示: 2 左側 Y軸 2 上側 X軸 日 右側 Y軸 2 下側 X軸 確定(D) 閉じる(C)

#### ●図面見方

「見上げ/見下げ」を選択します。

●図面タイトル

図面のタイトルを入力します。 初期値は、「構造図作図設定」で指定します。 詳細は、「8.3.2 構造図作図設定」を参照してください。

●出力範囲

作図する範囲を指定します。

●切断位置

Z 軸からの距離で、切断する位置を指定します。 「見上げ」の場合は、Z 軸を切断位置から上方向に見た図面を描きます。 「見下げ」の場合は、Z 軸を切断位置から下方向に見た図面を描きます。

●作図距離

切断位置から見る方向の距離を指定します。



切断位置は、見る方向と反対方向に距離を取ります。

作図距離=0の場合 Zn 軸に配置されている部材のみで作図します

作図距離>0の場合 切断位置と作図距離で指定された作図領域内の部材で作図します

●縮尺

縮尺を入力します。

●レベル表示

伏図に、各部材(基礎梁、大梁、小梁、基礎スラブ、一般スラブ)の上端レベルを表示する事ができま す。表示する場合は、チェックを付けます。但し、標準レベルで設定した値のレベルは表示しませんので、特 記事項として CAD で追記願います。

●通り名表示

通り名、スパン長を表示する位置(上、下、左、右)を指定します。

## 「確定」をクリックすると、作図を開始します。 指定した図面がすべて描き終わると以下の画面になります。

🛛 🚺 👛	💆 🛃 🔎						SIRBIM Ve	m.1 [SKĽ	)Ju						_ 🗆 X
JOB	インボート/エ	クスポート	確認 設計条	件 建物形状	部材定義	部材配置	詳細入力	) 1911	テーブル	データ連携	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出		No.
(八) 文字設定	<u> </u>	₩ 用紙設定	W リスト図設定	₩ ● 構造図設定	₩ 一 施工図設定	CAD CAD出力記	淀り		◎↓↓↓ 構造図	施工図					
		作	図設定			出力設定	:	構造図	作成・CAE	出力					
構造図	×														-
														● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	

2階の「見上図」をダブルクリックすると、図面が表示されます。



標準レベル以外のレベルが表示されています。

### 8.3.2.1. 再作図

一括作図した各図面は、作図時の設定条件を保持しています。その設定条件は、プロパティとして表示し、 変更後「再作図」できます。「再作図」の手順を説明します。

「1階の伏図」をダブルクリックして表示します。



1 階は、「見下げ」で描きたいので、「1 階の伏図」を右クリックし、「プロパティ設定」をクリックします。



🏢 プロパティ設定	2:1 階柱壁	1 階月	<b>F伏図</b>	1 – 🗆 X
				表示倍率 開 100 🔷 %
	タイトル			1 階柱壁 1 階床伏図
図回 91 トル	高さ		mm	10
作図フレーム			z	1
図面見方				見上げ
	開始X軸			1
山力筠田	終了X軸			5
	開始Y軸			1
	終了Y軸			3
(た)図合査+ポ	切断位置			-1000
	作図距離			0
縮尺			_	100
図面位置X			mm	40.0
図面位置Y			mm	40.0
甘林汤	レベル表示			作図する
200 ×	標準レベル		mm	-200
甘林小汤	レベル表示			作図する
	標準レベル		mm	-200
大辺	レベル表示			作図する
/*	標準レベル		mm	-30
小辺	レベル表示			作図する
小葉	標準レベル		mm	-30
甘びマニブ	レベル表示			作図する
空碇入り	標準レベル		mm	-200
	レベル表示			作図する
112 ~ 77	標準レベル		mm	-30
	自動計算			自動計算する
	左側	幅	mm	20
あき寸法	下側	高さ	mm	20
	右側	幅	mm	20
	上側	高さ	mm	20
	通り名表示			作図する
左側Y軸名表示	通り名	幅	mm	20
	寸法	幅	mm	20
	通り名表示			作図する
下側X軸名表示	通り名	幅	mm	20
	寸法	幅	mm	20
	通り名表示			作図しない
•				
				確定( <u>D</u> ) 閉じる( <u>C</u> )

図面の見方を「見下げ」に設定し、「確定」をクリックします。

※一括作図で設定した作図条件と異なる設定にしたい場合は、ここで設定しなおします。



#### 「1階の伏図」のみ再作図され、「見上げ」から「見下げ」に変わり、以下の図面が表示されます。

### 8.3.3. 構造図作図設定

作図設定を変更することにより、図面をカスタマイズできます。



#### 「構造図作図設定」をクリックします。



設定には、伏図、軸組図、詳細図の設定があります。ここでは、作図時の初期値を設定します。 作図後に、個々の図面の「プロパティ」で変更することもできます。

### 8.3.3.1. 伏図設定

伏図	I	軸組図	詳細図	3		
			基	礎伏図		基礎伏図
			1	抗伏図		杭伏図
			伏図	形式柱り	スト	@FL 階伏図形式柱リスト
図面	igth	JL	柱	芯関係図	K	柱芯関係図
			アン	カープラ	>	アンカープラン
			一般階	伏図(見	下げ)	@FL 階柱壁 @FL 階床伏図
			一般階	伏図(見	上げ)	@DW 階柱壁 @FL 階床伏図
図面	縮尺			1⁄		100
	B	四夕1	'ኮル	高さ	mm	10
			Ē	動計算		自動計算する
		き寸法	左側	幅	mm	20
	あき		下側	高さ	mm	20
			右側	幅	mm	20
		Y軸名 表示	上側	高さ	mm	20
	V=		左側	Y 軸名	称	作図する
表	ま		通り名	幅	mm	20
示		~~~	寸法	幅	mm	20
形	v=		下側	X軸名	称	作図する
14	ま	調査	通り名	高さ	mm	20
			寸法	高さ	mm	20
		±.~	右側	Y軸名	称	作図しない
	表	家	通り名	幅	mm	20
			寸法	幅	mm	20
	V	itt 🛷	上側	X軸名	称	作図しない
	「素	調査	通り名	高さ	mm	20
		22/1	寸法	高さ	mm	20

● 図面タイトル

各図面ごとのタイトルを設定します。 基礎部以外の各階伏図の場合は、階の変数設定が可能です。

@FL - 作図している階名

- @LO 作図している階の下の階名
- @DW 作図している階の下の階名
- (入力例)見上げの場合 @DW 階柱壁 @FL 階床伏図見下げの場合 @FL 階柱壁 @FL 階床伏図
- ●縮尺

縮尺を入力します。

### ● 表示形式



作図領域:1番目の通り軸から最後の通り軸間になります

空き寸法の自動計算:片持ち梁、片持ちスラブ等を考慮して、空き寸法を自動計算します

## 8.3.3.2. 軸組図設定

伏図	軸組図	詳細図			
図面	タイトル	i	軸組図		@XY 通り軸組図
図面	縮尺		1/	_	100
	図面タイ	hji –	高さ	mm	10
		É	動計算		自動計算する
		左側	幅	20	
	あき寸法	下側	高さ	mm	40
		右側	幅	mm	20
		上側	高さ	mm	20
	-++ /7	左側	Z軸名	称	作図する
表	25軸沿 表示	通り名	幅	mm	20
豪	12/11	寸法	幅	mm	20
形		下側	XorY軸	名称	作図する
1	XorY 軸沿 表示	通り名	幅	mm	20
	12/14	寸法	幅	mm	20
		右側	」 Z軸名	称	作図しない
	Z軸沿 表示	通り名	幅	mm	20
	12/11	寸法	幅	mm	20
		上側	XorY軸	名称	作図しない
	XorY麵名 表示	通り名	幅	mm	20
	24/14	寸法	幅	mm	20

● 図面タイトル
 軸組図のタイトルを設定します。
 X 通り軸、Y 通り軸の変数設定が可能です。

@XY – 作図している通り軸名

(入力例) @XY 通り軸組図

●縮尺

縮尺を入力します。

●表示形式

「伏図設定」の「表示形式と同様です。

### 8.3.3.3. 詳細図設定

伏図	軸組図	詳細図								
	i b Z ku	RC架構	詳細図		@XY 通り配筋詳細図					
	1911/04	S架構詳	・ 置		@XY 通り鉄骨詳細図					
図面	縮尺	1/			30					
	図面 タイ	イトル 高さ mm			10					
		自動計算	<b>\$</b>		自動計算する					
		左側	幅	mm	20					
	あき寸法	下側	高さ	mm	40					
		右側	幅	mm	20					
		上側	高さ	mm	20					
	-++ /7	左側 Z	軸名称		作図する					
表	∠ 蠅名 表示	通り名	幅	mm	20					
宗	14/14	寸法	幅	mm	20					
形式		下側 X	orY軸谷	砳称	作図する					
I IV	XorY 軸沿 表示	通り名	幅	mm	20					
	12/1	寸法	幅	mm	20					
		右側 Z	軸名称	-	作図しない					
	∠ 蠅名 表示	通り名	幅	mm	20					
	12/3/	寸法	幅	mm	20					
	N	上側 X	orY軸名	G称	作図しない					
	XOTY 朝治 表示	通り名	幅	mm	20					
	22/11	寸法	幅	mm	20					

● 図面タイトル

各図面ごとのタイトルを設定します。 X 通り軸、Y 通り軸の変数設定が可能です。 @XY – 作図している通り軸名

(入力例) @XY 通り軸組図

●縮尺

縮尺を入力します。

●表示形式

「伏図設定」の「表示形式」と同様です。

### 8.3.4. 鉄骨詳細図の作図手順

鉄骨詳細図を作図する場合、柱梁の仕口部プレートおよび継手を描くことになります。 柱梁の仕口部プレートおよび継手の作成方法を説明します。

### 8.3.4.1. 柱梁仕口部プレートのデータ作成

少なくとも、鉄骨柱、鉄骨梁の部材定義、部材配置が終了しているものとします。

(1)「部材定義」-「柱梁接合部」を選択します

🖸 👛 📓 🖁						SIRBIM Ver.1	[4階S造]							_ 🗆 ×
JOB イン/	ポート/エクスポー	ト確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	こ 構造	図作図	設計数量	算出		2
<b>?・・</b> 符号先頭文字列 デフォルト設定 設定	■ 基礎定義 ▼	住定義     文	大梁定義	小梁定義 小梁定義 部材断面	レース定義 ブレース定義 *	壁板定義	床版定義	<b>目</b> 柱継手 ▼	業務 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 </th <th>* 高カボル 許容応カル 手</th> <th>レトの 度設定</th> <th>柱梁接合部 鉄骨仕口</th> <th>AIS AI Structure インポート データ連携</th> <th></th>	* 高カボル 許容応カル 手	レトの 度設定	柱梁接合部 鉄骨仕口	AIS AI Structure インポート データ連携	

#### (2) S 柱パターン毎に、仕口部の条件を入力します

<b>G</b>	👌 💆 🛃 🛛	<u>8</u>				SI	RBIM Ver.1 [4	階 S 造]							_ 🗆 X
J O	B インポー	ト/エクスポ	-ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル リスト®	回確認 構造	豊図作図	設計数量算出				<u>^ ?</u> -
柱纲	接合部:基本部	定 ×													-
27	说明表示												_	表示倍率 田	100
	18/04/31							柱梁接合部基本設定( 	)説明				×		
S パタ	住 通し > 区分	梁通し   方向	仕口継手 方法	e寸法	水平 スチフナタイプ	仕口部 テーパータイプ	e la companya de la c	- 柱梁接合部基本設定	の入力説明	si / ±.vetoi ±					-
	- 梁通し -		溶接	45	タイプ1	タイプ1	_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1生通し 、 米通 S 柱パターンが	ш <i>о №</i> шшитоа Н∕С∕ТО:	59 場合に通し方向を打	官定します			
	) 梁通し	nê.	溶接	20	タイプ1	タイプ1		仕口継手方法:	'溶接'、'ポルト'	・ * を選択します					
	- H 柱通し		溶接		タイプ1			水平スチフナタイプ:	(梁通しタイプ)	)	(柱通しタイプ				
(	注 柱通し		溶接		タイプ1				型 タイプ1 	タイプ2	<u> </u>	タイプ2	タイプ3		
	「 柱通し		溶接		タイプ1										
									н		н				
										L					
													$\Delta$		
										╹┳┚					
									e	-		-	-		
									т		Т				
								仕口部テーパータイプ:	(梁通し時)	te (min					
									9171	9172					
													閉じる( <u>C</u> )		-
※ダイ	アフラムの板厚は、	梁フランジ最	大板厚の2サ	イズアップとする	•										
初期	化( <u>E</u> ) システ	ム登録( <u>R</u> )												確定( <u>D</u> )	閉じる( <u>C</u> )

「入力説明表示」ボタンを押すと、入力説明が表示されます。

「確定」ボタンを押すことで、全ての柱梁接合部のデータが作成されます。

### 8.3.4.2. 柱・梁継手の作成

少なくとも、鉄骨柱、鉄骨梁の部材定義、部材配置が終了しているものとします。

(1)「部材定義」-「柱継手定義」を選択します

	💽 🖆 📓						SIRBIM Ver.1	[4階S造]						_ 🗆 ×
JOB インボート/エクスボート 確認 設計条件 建物形状 部材定義 部材配置 設計テーブル リスト図確認 構造図作図 設計数量算出													2	
	<u>?・・</u> 符号先頭文字列 デフォルト設定 設定	■ 基礎定義 ▼	<b>建</b> 柱定義	大梁定義	小梁定義 小梁定義 部材断面	レース定義 ブレース定義 ~	壁板定義	床版定義	<b>目</b> 柱継手	<b>課</b> 梁継手 • 鉄骨維	* 高力ボルトの 許容応力度設定 *手	4梁接合部 铁骨仕口	AIS AI Structure インポート データ連携	

#### (2) 柱の継手定義

柱の継手作成の手順は、「5.3.9 柱継手定義」を参照ください。

(3) 梁の継手定義

梁の継手作成の手順は、柱継手と同様ですので、「5.3.9 柱継手定義」を参照ください。

※ ここで定義した継手符号を、鉄骨柱定義または鉄骨梁定義の継手符号に入力する必要があります。 便利機能として、「柱・梁継手の作成」時に、柱・梁の部材定義に継手符号を自動でセットする機能があ ります。



### 8.3.4.3. 鉄骨詳細図作図

柱梁仕口部データと柱・梁の継手定義が作成されたら、以下の様な詳細図を描くことができます。



# 9. 施工図作図

以下の施工図を作図する事ができます。

## 9.1. 施工図作図(躯体図、断面図、鉄骨伏図、鉄骨軸組図)

以下の図面を作図する事ができます。

但し、「SIRBIM/構造図・施工図」オプション購入が必要です。

- (1) 躯体図
- (2) 鉄骨伏図
- (3) 躯体図(基礎断面)
- (4) 躯体図(断面)
- (5) 鉄骨軸組図

### 9.1.1. 配置軸と作図軸

計算データをインポートすると、「配置軸」と「作図軸」は同じ情報で読み込まれます。 「配置軸」は、柱、梁の配置を入力しやすくするため、折れ曲がった軸にしますが、平面図、断面図では、通 常まっすぐな通り軸になっています。

詳細に関しては、構造図作図の「8.3.1.配置軸と作図軸」を参照願います。
## 9.1.2. 一括作図

躯体図、鉄骨伏図、躯体図(基礎断面)、躯体図(断面)、鉄骨軸組図の「一括作図」の作図の手 順は、同じ手順で行います。以下は、「躯体図」の場合です。

🖸 🖾 🖾 💭 🕰	SIRBIM Ver.1 [S Kビル(訳	計数量検証)]	- 🗆 ×
J O B インポート/エクスポート	確認 設計条件 建物形状 部材定義	。 部材配置 設計テーブル リスト図確認	構造図作図 設計数量算出 🖂 🛐 🛛
		Čad 🏛 🖽	
文字設定 鉄筋マーク設定 用紙設定	リスト図設定構造図設定施工図設定	CAD出力設定 Jスト図 構造図	施工図
f	乍図設定	出力設定 構造図作成・CAD 出	<b>わ</b>
施工図 ×			
			日本         國務部           日本         鉄骨状図           日本         駅本図(個面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面面

「構造図作図」-「施工図」を選択します。

「躯体図」を右クリックし、「一括作図」をクリックします。

郵 躯体図作図         ×
図面見方: 見上げ ~
図面タイトル: @FL 階躯体図
出力範囲: X 1 - 5 : Y 1 - 3 Z 1 - 7 ·
切断位置: 1000 🖨 📠 (Z軸からの距離)
作図距離: 0 🚽 📶 ([0]の場合はZ軸に配置されている部材のみ作図)
縮尺: 1 ∕ 50 🖨
通り名表示: ☑ 左側 Y軸 □ 上側 X軸 □ 右側 Y軸 ☑ 下側 X軸
確定( <u>D</u> ) 閉じる( <u>C</u> )

●図面見方

「見上げ/見下げ」を選択します。

●図面タイトル

図面のタイトルを入力します。 初期値は、「施工図作図設定」で指定します。 詳細は、「9.2.2 施工図作図設定」を参照してください。

- ●出力範囲
   作図する範囲を指定します。
- ●切断位置

Z 軸からの距離で、切断する位置を指定します。 「見上げ」の場合は、Z 軸を切断位置から上方向に見た図面を描きます。 「見下げ」の場合は、Z 軸を切断位置から下方向に見た図面を描きます。

●作図距離

切断位置から見る方向の距離を指定します。



切断位置は、見る方向と反対方向に距離を取ります。

作図距離 = 0 の場合 Zn 軸に配置されている部材のみで作図します

作図距離>0の場合 切断位置と作図距離で指定された作図領域内の部材で作図します

●縮尺

縮尺を入力します。

●通り名表示

通り名、スパン長を表示する位置(上、下、左、右)を指定します。

「確定」をクリックすると、作図を開始します。

### 指定した図面がすべて描き終わると以下の画面になります。

	o 👛	🛃 🛃 🔘	2 <u>2</u>		S	IRBIM Ver.1 [	S Kビル(設計	数量検証)]						- 🗆 ×
1	ОВ	インポート/エ	クスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テ	ーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	No.
, 文	(A) 字設定	<u>                                   </u>	●日 用紙設定	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	設定構		<b>※</b> 副 施工図設定	CAD CAD出力	设定	) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	。 構造図	施工図		
				作図設定		Ť	Ť	出力設定	ŧ	構造	國作成・CAD	出力		
	施工図	×												-
												□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	図 0 階躯体図 階躯体図 階躯体図 階躯体図 階躯体図 (型の(基礎断面) 図(基面) 軸組図	

#### 2階の「見上図」をダブルクリックすると、図面が表示されます。



### 9.1.2.1. 再作図

一括作図した各図面は、作図時の設定条件を保持しています。その設定条件は、プロパティとして表示し、 変更後「再作図」できます。「再作図」の手順を説明します。

「1階の伏図」をダブルクリックして表示します。



1 階は、「見下げ」で描きたいので、「1 階の伏図」を右クリックし、「プロパティ設定」をクリックします。



💼 プロパティ設定:1 階躯体図 - 🗌 🗌								
					表示倍率		100	\$ %
	タイトル			1 階躯体図				
図面タイトル	高さ		mm	10				
作家フレーム	i ne		7	2				- 1
図面見方			-	見上げ				
	閉始X軸			1				- 1
	終了X軸			5				- 1
	開始Y軸			1				
出力範囲	終了Y軸			3				- 1
	切断位置			1000				
	作図距離			0				
縮尺				50				
図面位置X			mm	80.0				
 図面位置Y			mm	95.0				
	自動計算			自動計算する				
	左側	幅	mm	20				
あき寸法	下側	高さ	mm	20				
	右側	幅	mm	20				
	上側	高さ	mm	20				
	通り名表示			作図する				
左側Y軸名表示	通り名	幅	mm	20				
	寸法	幅	mm	20				
	通り名表示			作図する				
下側X軸名表示	通り名	幅	mm	20				
	寸法	幅	mm	20				
	通り名表示			作図しない				
右側Y軸名表示	通り名	幅	mm	20				
	寸法	幅	mm	20				
	通り名表示		作図しない					
上側X軸名表示	通り名	幅	mm	20				
	寸法	tā	mm	20			1	<u> </u>
<b></b>			_			_		•
					確定( <u>D</u>	)	閉じる	( <u>C</u> )

図面の見方を「見下げ」に設定し、「確定」をクリックします。

※ 一括作図で設定した作図条件と異なる設定にしたい場合は、ここで設定しなおします。



#### 「1階の伏図」のみ再作図され、「見上げ」から「見下げ」に変わり、以下の図面が表示されます。

# 9.2. 施工図作図設定

作図設定を変更することにより、図面をカスタマイズできます。

## 9.2.1.施工図タグ設定

施工図のマークをカスタマイズできます。

G 👛	🛃 🛃 👼 💈			SIRBIM Ver.1 [	S Kビル(設計	数量検証)]					- 🗆 ×
JOB	インポート/エ	ウスポート	確認 設計領	全件 建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	No.
文字設定	 鉄筋マ−ク設定	第二日 用紙設定 イ	メート リスト図設定 作図設定	₩ 構造図設定 ▼	₩ 施工図設定 ▲ … … … … … … … … … … … … …	だ CAD出力 設定 出力設定	設定 リスト図 主 構造	構造図 歯の作成・CAD	<u>通</u> 施工図 出力		
施工図	×				2 施工図タグ語	定					-
									■	図(基礎断面) 図(断面) 強細図	

「施工図タグ設定」をクリックします。

・基礎、RC梁、S梁、スラブ、底盤、開口に関してカスタマイズ可能です

#### (基礎の例)



#### (RC 梁の例)



# 9.2.2.施工図作図設定

作図設定を変更することにより、図面をカスタマイズできます。

🚺 🖸	🛃 🛃 👼 !	<u>5</u>		SIRBIM Ver.1 [	S Kビル(設計	数量検証)]					- 🗆 X
ЈОВ	インポート/エ	クスポート	確認設調	计条件 建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>~</u> 2-
(文字設定	鉄筋マーク設定	第 日 田 新 新 設定 日	メート回設定 リスト回設定 作回設定	₩ ● ■ 構造図設定 ▼	▲ 施工図設定 ▲ 酒 施工図作図	₩ CAD CAD出力i G定出力設加	設定 リスト図 E 構造	↓ 構造図 皆図作成・CAD	<u>施工図</u> 出力		
				l	画 施工図タグ設 一	xxe 定					

「施工図作図設定」をクリックします。

#### 施工図作図設定

テーブル一覧	テーブ	ル:No.1 標	進テーブ	r		表示倍率 開 100 🗣 % システム登録(民)		
マ 標準テーブル	平面	図 断面図						
			躯体図	(見下け	f)	@FL 階躯体図		
	家商	i AZ NIL	躯体図 (見上げ)		f)	@FL 階躯体図		
	四回2117/		鉄骨伏図 (見下げ)		トげ)	@FL 階柱壁 @FL 階床鉄骨伏図		
			鉄骨伏図(見上げ)		こけ)	@DW 階柱壁 @FL 階床鉄骨伏図		
	図面	縮尺	1/			100		
		図面 91	(トル	高さ	mm			
		あき寸法	自動計	昇		日期IT月90		
			上側	- H道 吉+	mm	20		
			上側	in C		20		
			上面	188	11	20		
			左側 Y軸名称			作図する		
	+	Y軸名	通り名	幅	mm	20		
	一示	衣示	寸法	幅	mm	20		
	形		下側 >	(軸名称		作図する		
	자	X 主 末	通り名	幅	mm	20		
		22/31	寸法	幅	mm	20		
		∨≢⊕∕⊽	右側 Y	(軸名称		作図しない		
		表示	通り名	幅	mm	20		
			寸法	幅	mm	20		
· ·			I FABIL X	(神名称)				
追加 コピー 削除						確定( <u>D</u> ) 閉じる( <u>C</u> )		

x

設定には、平面図、断面図の設定があります。ここでは、作図時の初期値を設定します。 作図後に、個々の図面の「プロパティ」で変更することもできます。

## 9.2.2.1. 平面図設定

平面図	新面図	

		躯体図	(見下に	f)	@FL 階躯体図			
	5ZKil	躯体図	(見上に	f)	@FL 階躯体図			
	21170	鉄骨伏	図 (見)	F(J)	@FL 階柱壁 @FL 階床鉄骨伏図			
		鉄骨伏	図(見」	Eげ)	@DW 階柱壁 @FL 階床鉄骨伏図			
図面	縮尺	1/			100			
	図面タイ	'ኮル	高さ	mm	10			
		自動計	算		自動計算する			
		左側	幅	mm	20			
	あき寸法	下側	高さ	mm	20			
		右側	幅	mm	20			
		上側	mm	11	20			
		左側 Y軸名称			作図する			
耒	Y軸名 表示	通り名	幅	mm	20			
示	42/1	寸法	幅	mm	20			
形		下側 >	(軸名称		作図する			
자	X 軸 名 表 示	通り名	幅	mm	20			
	42/1	寸法	幅	mm	20			
		右側 Y	(軸名称		作図しない			
	Y軸名 表示	通り名	幅	mm	20			
	12/11	寸法	幅	mm	20			
			(軸名称		作図しない			
	X 朝 名 表示	通り名	幅	mm	20			
	衣示		幅	mm	20			

● 図面タイトル

各図面ごとのタイトルを設定します。

各階平面図の場合は、階の変数設定が可能です。

- @FL 作図している階名
- @LO 作図している階の下の階名
- @DW 作図している階の下の階名
- (入力例) 見上げの場合 @DW 階柱壁 @FL 階床鉄骨伏図 見下げの場合 – @FL 階柱壁 @FL 階床鉄骨伏図

#### ●縮尺

縮尺を入力します。

#### ● 表示形式



作図領域:1番目の通り軸から最後の通り軸間になります

空き寸法の自動計算:片持ち梁、片持ちスラブ等を考慮して、空き寸法を自動計算します

# 9.2.2.2. 断面図設定

平面	図 断面図				
図面タイトル		躯体図	(基礎問	面)	@XY 施工断面図(基礎)
		躯体図	(断面)		@XY 施工断面図
		鉄骨軸	ae		@XY 通り鉄骨軸組図
図面	縮尺	1/			50
	図面タイ	1516	高さ	mm	10
		自動計	算		自動計算する
		左側	幅	mm	20
	あき寸法	下側	高さ	mm	40
		右側	幅	mm	20
		上側	高さ	mm	20
		左側 Z軸名称			作図する
夫	Z 転 表示	通り名	幅	mm	20
示	衣小	寸法	幅	mm	20
形		下側 XorY軸名称			作図する
자	XorY軸名 表示	通り名	幅	mm	20
	42/1	寸法	幅	mm	20
		右側 Z	主軸名称		作図しない
	Z 転 表 示	通り名	幅	mm	20
	42/1	寸法	幅	mm	20
		上側 XorY軸名称			作図しない
	XOrY 朝名 表示	通り名	幅	mm	20
	12/1	寸法	幅	mm	20

● 図面タイトル

断面図のタイトルを設定します。 X 通り軸、Y 通り軸の変数設定が可能です。

@XY – 作図している通り軸名

(入力例) @XY 通り軸組図

●縮尺

縮尺を入力します。

●表示形式

「平面図設定」の「表示形式と同様です。

# 10. 図面の出力

「SIRBIM」で自動作図した図面を出力することができます。 出力には、以下の方法があります。

- プリンタ出力(リスト図のみ出力可能)
- 2次元 CAD 出力

出力できる CAD データは以下の通りです。

- (1) DXF 出力: 『*.dxf』ファイル (適用可能なソフト: AutoCAD など)
- (2) DRA-CAD 出力: 『*.mpx』ファイル (適用可能なソフト: DRA-CAD)
- (3) Jw_cad 出力: 『*.jww』ファイル((適用可能なソフト: Jw_cad など)

2 次元 CAD 出力する場合、事前にレイヤー設定を行うことにより、通常使用している CAD の操作性を落 とすことなくシームレスに使用することができます。

# 10.1.レイヤー設定

使用するCADごとにレイヤーを設定する必要があります。

# 10.1.1.AutoCAD (DXF)

「構造図作図」-「CAD 出力設定」-「DXF 出力設定」を選択します。

G 👛 🖏 🗿 Sirbim	ver.1 [S K Ľ]l/]	_ 🗆 ×
JOB インボート/エクスボート 確認 設計条件 建物形状 部材定義 部材配置 詳細ノ	カ 設計テーブル データ連携 リスト回確認 構造回作回 設計数量算出	
▲▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲		
作図設定	■ 遭 図 作成・CAD 出力	
ite DRA-GAMMAN DVRH75 J/J JW_CO-margan		
	DXF出力設定	×
	テーブル一覧     →       使用     テーブル       ア     デーブル       「マ     標準       「マ     「東京・ブル       「マ     「東京・ブル       「マ     「東線       「日本     「日本       「マ     「東線       「日本     「日本       「日本     「日本       「マ     「日本       「市     「日本       「日本     「日本	表示信率 田 100 0 % 文字 文字高さ倍率 オブジェクト スタイル名 STYLE1 キストフォント M S ゴシック 漢字フォント
	項目名     レイヤー名       寸法線     1       寸法値     1       可法値     1       図面がわル     2       面がわル     2       面がわル     2       間面がわル     2       間面がわル     2       間面がわル     2       間のかわり     2       間のかわり     2       間のかわり     2       間のかれた     3       リスト内容     5       地 捨てつが線     101       何号     10       個本は線     11	

標準テーブルをコピーしてからレイヤー名を修正してください。

レイヤー名には、英数字、漢字を設定することができます。

# 10.1.2.DRA-CAD

「構造図作図」-「CAD 出力設定」-「DRA-CAD 出力設定」を選択します。

DRA-CAD出力設定		×							
テーブル一覧     使用     テーブル名     標準テーブル	テーブル: No.1 標準テーブル 文字 文字高さ倍率 全角 1.1 () 倍 半角 1.1 () 倍 文字縦構比(幅/高さ) 全角 0.9 () 点 半角 2.0 () 点	表示倍率 🏢 100 🐳 %							
	文字間隔倍率 全角 0.9 € 倍 半角 0.9 € 倍								
	□ 半角全角混在文字を分解 □ DRACADフォントとして出力								
	寸法線 ☑ 小数点以下の0を表示しない □ 寸法を文字と線に分解する								
	線種ビッチ								
	破線 1.00 🜩 2.00 🜩 2.00 🜩 2.00 🜩 1.00 🜩	初期化							
	点線 0.40 (10.80 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10.40 (10)))))))))))))))))))))))))))))))))))								
	二点鎖線 5.00 ↓ 0.80 ↓ 0.40 ↓ 0.80 ↓ 0.40 ↓ 0.80 ↓	5.00 -							
	U17-								
	項目名 レイヤー名	● 線種 ▲							
	寸法線 1	黒 標準(ペン番号3)							
	寸法値 1	黒 標準(ペン番号3)							
	<ul> <li>四面タイトル 2</li> <li>面</li> </ul>	黒 標準(ペン番号3)							
	情 図面縮尺 2	黒 標準(バン番号3)							
		黒 標準(ベン番号3)							
-		黒 信準(ハン番芍3)							
追加コピー 削除		システム登録( <u>R</u> ) 閉じる( <u>C</u> )							

標準テーブルをコピーしてからレイヤー名を修正してください。

レイヤー名には、数字のみ(1~200までの整数)設定可能です。

## 10.1.3.Jw_cad

「構造図作図」-「CAD 出力設定」-「Jw_cad 出力設定」を選択します。

テーブル一覧	<del>7</del> -1	ブル:No.1 標道	着テーブル			表示倍率 關 100	<b>*</b>
標準テーブル		子調堂		11			
	X	子局さ倍率		1.1 -			
	文	字縦横比(幅/高	ið)	0.9			
	文	字間隔倍率		0.9 🌩			
		英数字を半角	こ変換				
		数値にカンマを	付けて変換				
	- 713	法總					
		(寸法線端部の)	〇を軍点に変換				
		(17-	o exampleix				
		11日夕	ガループタ	1.12-12	奋	治福	
		マは現	0 •	0	0:色No2		-
		寸法値	0	0	0:色No2	標準(パン番号3) 標準(パン番号3)	
		図面タイトル	0	0	0:色No2	標準(ペン番号3)	
	面	図面縮尺	0	0	0:色No2	標準(ペン番号3)	
	報	リスト枠	0	0	0:色No2	標準(ペン番号3)	
		リスト項目	0	0	0:色No2	標準(ペン番号3)	
		リスト内容	0	0	0:色No2	標準(ペン番号3)	
	地	捨てコン線	5	0	0:色No2	標準(ペン番号3)	
	業	割りグリ線	5	0	0:色No2	標準(ペン番号3)	
		符号	2	0	0:色No2	標準(ペン番号3)	
		躯体線	3	0	3:色No5	太線(ペン番号2)	
	基	はかま筋	5	0	0:色No2	標準(ペン番号3)	
_							

標準テーブルをコピーしてからレイヤー名を修正してください。

グループ名は、0~Fまでを設定します。

レイヤー名は、0~Fまでを設定します。

# 10.2.2次元CAD出力

2次元CAD出力方法が、リスト図と構造図で、手順が異なりますので、出力手順を以下に記します。

### 10.2.1.リスト図の出力方法

2 次元 CAD 出力する前に、断面リスト図、または文字リスト図を描いておきます。

「一括作図」した場合は、全てのリスト図面を2次元 CAD に出力することができます。



## リスト図を表示した状態で、「CAD 出力」をクリックし、出力先 CAD 名を選択します。 出力先フォルダを聞いてきますので、選択します。

フォルダーの参照	×
Jw_cadファイルを出力するフォルダを指定してください。	
NasNavi	^
Outlook ファイル	
> Scanned Documents	
V SIRBIM1	
2DCAD	
Data	
Table	
> SIRCAD V5	
> SoftwareCenter	
> 📙 Ulead VideoStudio	~
新しいフォルダーの作成( <u>M</u> ) OK キャンセ	211

#### 「OK」をクリックすると、2次元 CAD 出力を開始します。

「一括作図」した場合は、下図の様にすべてのリストの2次元 CAD ファイルが作成されます。

📜   🗹 📜 🖵   20	DCAD					_	
ファイル ホーム	共有 表示						~ ?
クイック アクセス コピー にピン留めする	上	貼り付け	<ul> <li></li></ul>	■ 新しい フォルダー	レンジャング (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	<ul> <li>              ずべて選択</li></ul>	バックアッ プの開始
	クリッフルート		全庄	新祝	開く	選択	1.252.27
$\leftarrow \rightarrow \checkmark \land \mid$	« SIRBIM1 » 2DCAD	~	✓ ³ ○ 2DCADの検索				
		^	名前 ^	更新日時	種類	サイズ	
		*	<ul> <li>断面_基礎リスト-1.jww</li> <li>断面_基礎小梁リスト-1.jww</li> </ul>	2023/11/16	14:26 JWW ファイル 14:26 JWW ファイル	82 2 126	2 KB 5 KB
- 9770-r		*	📄 断面_基礎梁リスト-1.jww	2023/11/16	14:26 JWW ファイル	J 170	) KB
F#1X2F		A	📄 断面_小梁リスト-1.jww	2023/11/16	14:26 JWW ファイル	88	3 KB
📰 ビクチャ		*	📄 断面_大梁リスト-1.jww	2023/11/16	14:26 JWW ファイル	355	5 KB
📜 アプリ&ドライノ	(f-	*	□] 断面_柱リスト-1.jww	2023/11/16	14:26 JWW ファイル	/ 80	) KB
			□ 断面_壁リスト-1.jww	2023/11/16	14:26 JWW ファイル	77	7 KB
			□ 断面_片持梁リスト-1.jww	2023/11/16	14:26 JWW ファイル	/ 24	4 KB
			文字_スラブリスト-1.jww	2023/11/16	14:26 JWW ファイル	31	I KB
			<ul> <li>文字_杭集計表リスト-1.jww</li> </ul>	2023/11/16	14:26 JWW ファイル	/ 22	2 KB
			□ 文字_壁リスト-1.jww	2023/11/16	14:26 JWW ファイル	28	3 KB
		~					
11 個の項目							

## 10.2.2.構造図の出力方法

2次元 CAD 出力する前に、構造図(伏図、軸組図、詳細図)を描いておきます。



一般階伏図の場合で説明します。

#### ● 一括 CAD 出力する場合

下図の「一般階伏図」で右クリックすると、メニューが表示されますので、「一括 CAD 出力」を選択します。 次に、出力先 CAD 名を選択します。



この場合、「一般階伏図」にぶら下がっているすべての図面が出力されます。 出力先 CAD 名選択以降は、「11.2.1 リスト図の出力方法」と同様です。 ● 1 図面ごとに CAD 出力する場合

下図の特定の図面「1 階柱壁 1 階床伏図」で右クリックすると、メニューが表示されますので、 「CAD 出力」を選択します。

次に、出力先 CAD 名を選択します。



この場合、指定した図面のみ出力されます。

出力先 CAD 名選択以降は、「11.2.1 リスト図の出力方法」と同様です。



上記以外に、表示図面を出力する方法があります。

表示している図面であれば、左上のメニューから、「CAD 出力」をクリックし、出力先 CAD 名を選択する ことで、出力可能です。

# 10.2.3.施工図の出力方法

施工図の出力方法は、構造図と同様ですので、「10.2.2.構造図の出力方法」を参照してください。

# 10.3.図面のPDF出力・印刷

図面のPDF出力・印刷は、断面リスト図および文字リスト図のみ印刷可能です。

[構造図作図]タブにある「リスト図」をクリックします。

見たい図面を開くと、以下のような画面が表示されます。



※ 直接 印刷(P) ボタンを押すとそのまま印刷しますので、ご注意ください。

プリンタ印刷または PDF 出力する場合は、必ず用紙サイズを「フィット」以外に設定してから印刷してください。 用紙設定は、「10.1.3 用紙設定」を参照してください。

● PDF 出力の場合

画面上部の プリンタ選択 ボタンをクリックします。

1 プリンタ選択		×
プリンタ名 Microsoft Print to PDF		~
	OK	キャンセル

「Microsoft Print to PDF」などの PDF 仮想プリンタを選んで、 OK ボタンをクリックします。

※ 「Microsoft Print to PDF」は Windows 10 と Windows11 に標準でインストールされてい る仮想プリンタとなります。

画面上部の印刷(P)ボタンをクリックすると、以下のような画面が表示されます。

🔜 印刷結果を名前を付けて保存					×
	~	ō	, PDFdataの検	索	
整理 ▼ 新しいフォルダー					?
<ul> <li>名前</li> <li>オ クイック アクセス</li> <li>デスクトップ ★</li> <li>ダウンロード ★ √</li> </ul>	▲ 検索条件に一致する項目はあり;	ません。	種類	サイズ	
ファイル名(N): ファイルの種類(T): PDF ドキュメント (*.pdf)					~
▲ フォルダーの非表示			保存(S)	キャンセル	

ファイル名を入力し、保存(S) ボタンをクリックします。

#### 印刷の場合 •

画面上部の プリンタ選択 ボタンをクリックします。

🌒 プリンタ選択	×
プリンタ名 RICOH SP C750 JPN	~
	OK キャンセル

印刷するプリンタを選んで、OKボタンをクリックします。 画面上部の印刷(P)ボタンをクリックすると、指定した図面が印刷されます。

# 11. 設計数量算出

コンクリート・型枠、鉄筋、鉄骨の設計数量を算出することができます。 また、各数量根拠から、数量集計表を出力することができます。

# 11.1.設計数量算出の準備

#### 11.1.1.材料

鉄筋・コンクリート材料は構造計算データで指定した材料で変換されます。 編集が必要な場合は、以下の設定画面で指定します。

(1) コンクリート材料

[設計条件]タブ→[コンクリート材料]をクリックします。

2   👼			SIRBIM	SIRBIM Ver.1 [Sample]								
ッポート/エクスポー	ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>^ ?-</u>		
*		*	*	*	*	*	₹ <b>5</b> 50	; [≑] ;				
コンクリート材料鉄筋材料		高強度鉄筋 使用材料	5 使用鋼材種 鉄筋継手		定 梁下端筋 定着設定	5 柱梁フカシ 5 配筋設定	高強度鉄筋 一括変換	部材符号名 一括変更				
עב	鉄骨 使用材料	4		詳細設定		୬-	JL					
	・ボート/エウスポート     確認     設計条件       ・ボート/エウスポート     確認     設計条件       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・ボート/エウスポート     確認     設計条件     建物形状       ・ボート/エウスポート     確認     設計条件     建物形状       ・ボーク・エウスポート     確認     ・ボーク     ・ボーク       ・ボーク・エウスポート     確認     ・ボーク     ・ボーク       ・ボーク・ボック     ・ボーク     ・ボーク     ・ボーク       ・ボーク     ・ボーク     ・ボーク     ・ボーク       ・ボ	・ボート/エウスボート 確認     ・ジョンクリート・対新・鉄骨 使用材料     ・ジョンクリート・鉄筋・鉄骨 使用材料     ・ジョンクリート・	・ボート/エウスポート     確認     設計条件     建物形状     部材定義     部材配置       ・ボート/エウスポート     確認     設計条件     建物形状     部材定義     部材配置       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・ボート/エウスポート     確認     設計条件     建物形状     部材定義     部材配置     設計テーブル       ・ボート/エウスポート     確認     設計条件     建物形状     部材定義     部材配置     設計テーブル       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・     SIRBIM Ver.1 [Sample]       パート/エクスポート     確認     設計条件     建物形状     部材定義     部材配置     設計テーブル     リスト回確認       コンクリート・状筋・状骨     使用材料                                                                                                                                  <	・     ・     SIRBIM Ver.1 [Sample]       パート/エクスポート 確認     設計条件     建物形状     部材定素     部材配置     設計テーブル     リスト回確認     構造四作四       ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・ <th>・     ・     SIRBIM Ver.1 [sample]       パート/エクスポート     確認     設計条件     建物形状     部材定義     部材配置     設計チーブル     リスト 四確認     構造回作回     設計数量算出       ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・</th>	・     ・     SIRBIM Ver.1 [sample]       パート/エクスポート     確認     設計条件     建物形状     部材定義     部材配置     設計チーブル     リスト 四確認     構造回作回     設計数量算出       ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・				

#### 以下の画面が表示されます。

タブを切り替えて、「標準コンクリート材料」「階別コンクリート材料」を編集します。

● 標準コンクリート材料



● 階別コンクリート材料

コンクリート材	料 [Samp	le]																			
標準 階	闭																		表	示倍率 畢	100 🗘 9
		基礎		ŧ	ŧ	CFT	「柱	基礎	壁梁	大	<b>梁</b>	基礎	<b>沙梁</b>	小	梁	5	Ē	73	ブ	スラブ	フカシ 🔺
No	材種		Fc [N/mmi]	材種	Fc [N/mi]	材種	Fc [N/mi]	材種	Fc [N/mi]	材種	Fc [N/mi]	材種	Fc [N/mi]	材種	Fc [N/mi]	材種	Fc [N/mi]	材種	Fc [N/mi]	材種	Fc [N/mmi]
標準	普通	-	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24
6																普通	24				
5	普通		24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24
4	普通		24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24
3	普通		24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24
2	普通		24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24
1	普通		24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24
基礎	普通		24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24	普通	24 💌
標準設)	定を反映																		確	定(D)	閉じる(C)

階別にコンクリート材料を指定することができます。

標準 階別													
	基	薩	柱										
No	材種	Fc [N/mmi]	材種	Fc [N/mmi]									
標準	普通	24	普通	24									
6													
5	普通	24	普通	24									
4	普通	24	普通	24									
3	普通	24	普通	24									
2	普通	24	普通	24									
1	普通	24	輕量1	27									
基礎	普通	24	特殊1	27									

コンクリート材料を編集して、標準と異なる材種、Fcは、セルが青く塗りつぶされます。

#### (2) 鉄筋材料

#### [設計条件]タブ→[鉄筋材料]をクリックします。

🚺 👛 🛃	<u>}</u>   👰			SIRBIM	/ Ver.1 [Sample]								
ЈОВ 🕇	インポート/エクスポート 確認		設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	∧ 2 -		
*	*		****		***		*	The second se	; ^{≠;}				
建物標準設定	コンクリート材料 鉄筋材料		料 高強度鉄筋 使用鋼 使用材料		鉄筋継手設	定 梁下端 能 定着設定	5 柱梁フカシ 5 配筋設定	高強度鉄筋 一括変換	部材符号名 一括変更				
標準設定	コン	クリート・鉄筋	鉄骨 使用材料	4		詳細設定		ツ-	JL				

#### 以下の画面が表示されます。タブを切り替えて、「標準鉄筋材料」「階別鉄筋材料」を編集します。

#### ● 標準鉄筋材料

豪华	P	皆別											20110	≄ 100	•
部	位·音	附	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51	_
	標準		SD295 🔻	SD295											
	基礎		SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
++	Ì	筋	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
±	他的	跌筋	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
間	È	筋	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
Ì	他	跌筋	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
	ŧ	Х	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
Ē.	筋	Y	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
교	他	X	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
	鉄筋	Y	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
	ŧ	Х	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
大	筋	Y	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
梁	他	Х	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
	鉄筋	Y	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
Ħ	ŧ	Х	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
空礎	筋	Y	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
小	他	Х	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
¥	鉄筋	Y	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
	ŧ	Х	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
小	筋	Y	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
梁	他	X	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
	鉄筋	Y	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
RŻ	ŧ	筋	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
望	他的	跌筋	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
	スラブ	î	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	
7	ラブフカ	カシ	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	SD295	

#### ● 階別鉄筋材料

鉄筋材 標準	料 [Samp 階別	le]														表示伯	音率 開 10	0 🗘 9
1	部位·部校	ł	表示	•	部材·部位	2:基礎												
	基礎				階	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51	•
柱	土肋	) 742.644			標準	SD295												
	せん断伸	短肋			6													
間	土肋	) 			5	SD295												
11	せん断捕	复肠			4	SD295												
	主筋	X			3	SD295												
其		Y			2	SD295												
覆	せん断	×			1	SD295												
梁	1用5虫肋	Y			基礎	SD295												
	他鉄筋	X Y		-							~ .							•
標	集設定を反	2映	1		,					- <	M_					_		
												部材·部	位:基礎			確定(	D) 閉じ	ର(C)

コンクリート材料と同様に鉄筋材料を編集して、

標準と異なる鉄筋材料は、セルが青く塗りつぶされます。

階	D10	D13
標準	SD295	SD295
6		
5	SD295	SD295
4	SD295	SD295
3	SD295	SD295
2	SD295A	SD295
1	SD295A	SD295
基礎	SD295A	SD295

#### (3) 高強度鉄筋使用材料

#### [設計条件]タブ→[高強度鉄筋使用材料]をクリックします。

🚺 🖄 🛃	9 🛛			SIRBIM	Ver.1 [Sample]						- 🗆 ×
јов 🧃	ンポート/エクスポー	ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>~ 2</u> -
*	*	*	*	*	*	*	* <u>.</u>	₹.	;≑ <b>š</b>		
建物標準設定	コンクリート材料	鉄筋材料	高強度鉄筋 使用材料	使用鋼材種	鉄筋継手設	定 梁下端館 定着設定	6 柱梁フカシ F 配筋設定	高強度鉄筋 一括変換	部材符号名 一括変更		
標準設定	עב	クリート・鉄筋	·鉄骨 使用材	科		詳細設定		<u> </u>	JL		

#### 以下の画面が表示されます。

高強度鉄筋使用	]材料 [Sample]	]		×
			表示倍率 闘	100 🜩 %
鋼材	種	<b>福</b> 港百	公称断面積	単位重量 🔺
記号	径	化主大风	[cm2]	[kg/m]
HDD	10	HIDEC	0.7133	0.56
HDD	13	HIDEC	1.267	0.995
HDD	16	HIDEC	1.986	1.56
K	10	SBPDN	0.713	0.56
K	13	SBPDN	1.267	0.995
K	16	SBPDN	1.986	1.56
RB	6.2	SBPDN	0.3	0.24
RB	7.1	SBPDN	0.4	0.31
RB	10.7	SBPDN	0.9	0.71
RB	12.6	SBPDN	1.25	0.98
RB	6	SBPDN	0.3	0.24
RB	7	SBPDN	0.4	0.31
RB	9	SBPDN	0.64	0.49
RB	11	SBPDN	0.9	0.71
RB	13	SBPDN	1.25	0.98
S	10	KSS	0.7133	0.56
s	13	KSS	1.267	0.995
S	16	KSS	1.986	1.56
U	7.1	SBPD	0.4	0.315
U	10.7	SBPD	0.9	0.71
U	11.8	SBPD	1.101	0.864
U	12.6	SBPD	1.25	0.98
U	9	SBPD	0.64	0.5
U	11	SBPD	0.9	0.71
U	13	SBPD	1.25	0.98
UD	10	SBPD	0.7133	0.56
UD	13	SBPD	1.267	0.995
UD	16	SBPD	1.986	1.56
UH	6	UHY	0.3167	0.249
UH	10	UHY	0.7133	0.56
UH	13	UHY	1.267	0.995
UH	16	UHY	1.986	1.56
UHD	6	UHY	0.3167	0.249
UHD	10	UHY	0.7133	0.56
UHD	13	ину	1.267	0.995
UHD	16	UHY	1.986	1.56 -
初期化(F)	システム登録(	R)	確定(D)	閉じる(C)

#### (4) 使用鋼材種

### [設計条件]タブ→[使用鋼材種]をクリックします。

🚺 👛 🛛 🛃	2 🖉			SIRBIM	Ver.1 [Sample	]					- 🗆 ×
ЈОВ 🕇	ンポート/エクスポー	ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>~ 2</u> -
*	*	*	*	*	*	*	*	The second secon	;≑ʻ5		
建物標準設定	コンクリート材料	鉄筋材料	高強度鉄筋 使用材料	使用鋼材種	鉄筋継手診	た 定 定 着設	筋 柱梁フカシ 定 配筋設定	高強度鉄筋 一括変換	部材符号名 一括変更		
標準設定	コン	クリート・鉄筋	鉄骨 使用材料	4		詳細設定		ツ-	-JL		

### 以下の画面が表示されます。

			表示倍率 開	100 🖨 %
		鋼材種		<u> </u>
名称		サフィッ	クス	
SN490	A			
SN490	В			
SN490	С			
BCR295				
BCP235				
BCP295				
BCP325				
BCP325	т			
TM490				
TM520				
SA440				
SHC400				
SHC490				
SHCK490				
SHC275				
SHC355				
NBCP325EX				
NBCP440				
STKN400				
STKN400	W			
STKN400	В			
STKN490				
G385				
PBCP440				
SNR400				
SNR400	A			
SNR400	в			
SNR490				
SUS304				
WOOD				
				Ŧ

名称やサフィックスを、必要に応じて追加します。

## 11.1.2.鉄筋の継手長・定着長



#### [設計テーブル]タブ→[鉄筋の継手長・定着長]をクリックします。

#### 以下の画面が表示されます。

鉄筋の継手長・定着長テーブル													×
□ 配筋指針2010年版の大梁定着Laを考慮する													
テーブル一覧	テーブル	: No.1 配筋指針	(2010年改訂)							表示(	倍率	1	00 🜩 🍫
使用 テーブル名						912 <b>=</b>		定	差		中空	スラブオ	() () () () () () () () () () () () () (
■ 配筋指針(2010年改訂)	FC			(************	7	長	一般	<del>آ</del>	。 端筋(L3)	) –	-般	下端	筋
Ⅰ_ 配肠指針(2010年改訂La 優先)				跃励權與	ック	L1	L2	小梁	スラブ	r I	L2	L3	Ē.,
	[N/m	i]				[d]	[d]	[d]	[d] [	mm] (	[d]	[d]	[mm]
	19	21 SD295A	SD295B		有	30	25	10	10	150	25	10	150
					無	40	35	20	10	150	35	10	150
	19	21 SD345			有	30	25	10	10	150	25	10	150
	10				無 +	45	35	20	10	150	35	10	150
	19	21 5D390			有	35	30	10	10	150	30	10	150
	24	27 CD 2054	CDOOER		## #	20	40	20	10	150	40	10	150
	24	27 50293A	5D295B		13	25	20	20	10	150	20	10	150
	24	27 5D345			有	30	25	10	10	150	25	10	150
		27 00010			毎	40	35	20	10	150	35	10	150
	24	27 SD390			有	35	30	10	10	150	30	10	150
					無	45	40	20	10	150	40	10	150
	24	27 SD490			有	40	35	10	10	150	35	10	150
					無	55	45	20	10	150	45	10	150
	30	36 SD295A	SD295B		有	25	20	10	10	150	20	10	150
					無	35	30	20	10	150	30	10	150
	30	36 SD345			有	25	20	10	10	150	20	10	150
					無	35	30	20	10	150	30	10	150 👻
追加 コピー 削除 テーブル作成									シス	テム登録	禄(R)	閉	じる(C)

新規にテーブルを作成するときは既存テーブルを「コピー」してテーブルの内容を編集します。 複数テーブルがある場合は、使用するテーブルを ☑ で指定します。 テーブルは、追加、削除することもできます。

# 11.1.3.鉄筋継手設定

# [設計条件]タブ→[鉄筋継手設定]をクリックします。

🚺 🙆 🛃	3   👼			SIRBIM	Ver.1 [Sample	9						_ 🗆 ×
ЈОВ 🕇	ンポート/エクスポー	ト 確認	設計条件	建物形状	部材定義	部林	都置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>~ 2</u> -
*	*	*	*	*	*		*	*		;≑š		
建物標準設定	コンクリート材料	鉄筋材料	高強度鉄筋 使用材料	使用鋼材種	鉄筋継手調	定	梁下端筋 定着設定	i 柱梁フカシ 配筋設定	高強度鉄筋 一括変換	部材符号名 一括変更		
標準設定	עב	クリート・鉄筋	鉄骨 使用材料	4		詳	細設定		У-	JI.		

#### 以下の画面が表示されます。

鉄筋継手設	定 [Sample	e]														x
													-	表示倍率 關	100 🜩	%
ー柱・間柱・フ	く梁・小梁の	D鉄筋の継手方	5法条件													
※継手方法	まが【圧接】	であっても、径	D19 ~	~径 D41 \	以外の新	鉄筋は【重ね継	手】とする。									
×維壬古》	キャット (正培)	アト記条件の	新田内の斜	*館忽であってま		いんぎが フロ	- mmを招う	え 坦会 (+ ) 舌 が	絆毛1とす	z						
AMET/1/					K SABUHE.				46- <b>7-1</b> C 9	.0.0						
(建物樓	準設定に	(鉄筋継手方法	は条件を変	更可能)												
		柱		間柱		壁		大梁		小粱		757	î	基礎	ž	
階	鉄	継手	継手長 (11)	継手	継手長 (11)	継手	継手長 (11)	総手	継手長 (11)	継手	継手長 (11)	総手	継手長 (11)	総手	総手長 (11)	
-	8D	73725	(LI)	7375	(L1)	7375	(LI)	7375	(L1)	73725	(L1)	73725	(L1)	7375	(L1)	
6		-				テーノル		-								
5	U2 -	上接		上接		テーノル		上接		上接		テーノル		テーノル		
4	切る	圧接		圧接		テーブル		圧接		圧接		テーブル		テーブル		
3	切る	圧接		圧接		テーブル		圧接		圧接		テーブル		テーブル		
2	切る	圧接		圧接		テーブル		圧接		圧接		テーブル		テーブル		
1	切る	圧接		圧接		テーブル		圧接		圧接		テーブル		テーブル		
基礎	通す	圧接				テーブル		圧接		圧接		テーブル		テーブル		-
, 初期化(F)														確定(D)	閉じる(C)	

必要に応じて、継手方法の編集を行います。

# 11.2.数量算出

[設計数量算出]タブ→[数量算出]をクリックします。

🖸 🛅	🛃 🛃 🙍			SIRBIN	1 Ver.1 [Sampl	e]				- 0	⊐ ×
ЈОВ	インポート/エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	2-
の数量算出		表									
算出	数量表										

以下の画面が表示されます。

タブを切り替えて、「コンクリート・型枠」「鉄筋」「鉄骨」の算出設定を編集します。

# 11.2.1.コンクリート・型枠算出設定

🎒 設計数量算出 [Sample]	×
コンクリート・型枠 鉄筋 鉄骨	
柱の型枠 梁との接合部	壁との接合部
◉ 以下の条件による ○ 差し引かない ○ 差し引く	◉ 以下の条件による ○ 差し引かない ○ 差し引く
1ヶ所あたり 1.00 🚽 mi以下の型枠は差し引かない	1ヶ所あたり 1.00  mi以下の型枠は差し引かない
梁の型枠 壁との接合部	スラブとの接合部
● 以下の条件による ○ 差し引かない ○ 差し引く	● 以下の条件による ○ 差し引かない ○ 差し引く
1ヶ所あたり 1.00 🔷 mi以下の型枠は差し引かない	1ヶ所あたり 1.00 🚽 mi以下の型枠は差し引かない
壁 開口部 型枠	体積
● 以下の条件による ○ 差し引かない ○ 差し引く	● 以下の条件による ○ 差し引かない ○ 差し引く
1ヶ所あたり 0.50 mi以下の型枠は差し引かない	1ヶ所あたり 0.05 テ ml以下の体積は差し引かない
システム登録(R)	算出 閉じる(C)

# 11.2.2.鉄筋算出設定

🜒 設計数量算出 [Sample]		×
コンクリート・型枠 鉄筋 鉄骨		
一一般定尺	主筋の継手箇所設定	
径 D16 ~ 以上 7000 🖶 ՠ	全般         梁         基礎梁         小梁         基礎小梁	
径 D16 未満 6000 ਦ 📶	連続梁	
せん断補強筋の溶接型	ー本あたり +  0.5 ● 箇所	
○ 溶接 ● フック	長さあたり 5000 € mm毎に 0.5 € 箇所	
機械式鉄筋定着	単独梁 または 片持梁上端筋	
<ul> <li>● 未使用結果表示 ○ 使用結果表示</li> </ul>	径 D16 V以上 7000 🗬 🛲 毎に 1.0 🖨 箇所	
	径 D16 未満 6000 🗣 🛲 毎に 1.0 🖨 箇所	
初期化	建築数量積算基準 全設定に適用	]
システム登録(R)	算出 閉じる(C	)

定尺長の設定や、主筋の継手箇所設定はここで行います。

## 11.2.3.鉄骨算出設定

副 設計数量算出 [Sample]	×
コンクリート・型枠 鉄筋 鉄骨	
鉄骨大梁の長さの計算	
● 接続先の柱の芯−芯で長さを計算する	
○ 接続先の柱の面-面で長さを計算する	
鉄骨小梁の長さの計算	
● 接続先の梁または小梁の芯−芯で長さを計算する	
○ 接続先の梁または小梁の面-面で長さを計算する	
システム登録(R)     算出     閉じる(C)	

# 11.2.4.算出実行

🜒 設計数量算出 [Sample]	×
コンクリート・型枠 鉄筋 鉄骨	
柱の型枠 梁との接合部	壁との接合部
● 以下の条件による ○ 差し引かない ○ 差し引く	● 以下の条件による ○ 差し引かない ○ 差し引く
1ヶ所あたり 1.00 🐳 mi以下の型枠は差し引かない	1ヶ所あたり 1.00 🖶 mi以下の型枠は差し引かない
梁の型枠 壁との接合部	スラブとの接合部
● 以下の条件による ○ 差し引かない ○ 差し引く	● 以下の条件による ○ 差し引かない ○ 差し引く
1ヶ所あたり 1.00 🐳 mi以下の型枠は差し引かない	1ヶ所あたり 1.00 🖶 mi以下の型枠は差し引かない
壁 開口部 型枠	体積
● 以下の条件による ○ 差し引かない ○ 差し引く	● 以下の条件による ○ 差し引かない ○ 差し引く
1ヶ所あたり 0.50 🔿 mi以下の型枠は差し引かない	1ヶ所あたり 0.05 🖶 mi以下の体積は差し引かない
システム登録(R)	算出 閉じる(C)

算出 ボタンをクリックすると、「コンクリート・型枠」「鉄筋」「鉄骨」の配置された部材について設計数量 算出を実行します。

※「算出」ではオプションライセンスが必要となります。ライセンスがない場合は以下のようなエラーメッセージ が出てきます。



## 11.3.数量の確認

## 11.3.1.数量根拠表--表示選択

[設計数量算出]タブ→[数量根拠表]をクリックします。

💽 🔁	🛃 🛃 📓				SIRBIM	l Ver.1 [Sample	e]					- 🗆 ×
JOB	インポート/	エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	^ 🛛
して 数量算出	していた 数量根拠表	∑     〕     数量集計	Ę									
算出	数	量表										

初めて数量根拠表を開いた場合、初めに数量根拠表-表示選択画面が現れます。

🌒 数量根拠表-表示選択 [San	nple]	×
数値0表示 ● 表示しない	表示する	
コンクリート・型枠 鉄筋	鉄骨	
✓ 各部材 ✓ 基礎コンクリート数量	□ 大辺コンクリート数量	☑ スラブコンクリート数量
<ul> <li>☑ 基礎セコンクリート数量</li> </ul>	☑ 朱磁梁□ンクリート数量	☑ 点盤□ンクリート数量
☑ 柱コンクリート数量	☑ 小梁コンクリート数量	☑ 壁⊐ンクリート数量
☑ 間柱コンクリート数量	☑ 基礎小梁コンクリート数量	☑ 雑壁⊐ンクリート数量
		確定(D) 閉じる(C)

数値0を表示しない/表示するを指定します。

コンクリート・型枠、鉄筋、鉄骨のぞれぞれで根拠表を表示する部材を 🛛 で選択します。 ※ 配置されていない部材は、 🗹 が入っていても表示されません。

確定(D) ボタンをクリックすると、数量根拠表を表示します。

# 11.3.2.数量根拠表

数量根拠表は、以下の画面で表示されます。

コンクリート SIRBIM	・型枠数 Ver.11 基	電根拠表 [碁																		
SIRBIM	Ver.1] 基		[礎]		_			<b>エ</b>										表示	元倍率 關	100
		礎				釰	て重想	重類j	選択											
																			2023年	X月 X
ATT 10		位置			形料	π	底面積 コンクリート		底面積 コンクリート			重複	部基礎梁用	狱			型	枠		
নিদ	階	X	Y	B1	B2	D1	D2	М		ふかし	基礎梁名	B1	B2	D	L	L	н	増減		種類
				(m)	(m)	(mm)	(m)	(mi)	(m)	(m)		(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(mi)	(mi)	
1	<b>+</b> У	1	1	1400	1400	700	500	1.96	1.191		(R)FG3	0.40		0.15	0.40	5.60	0.50	-0.12	2.680	FC24
											(U)FG1	0.40		0.15	0.40					
2	<del>†</del> У	1	2	1500	1500	700	500	2.25	1.359		(D)FG1	0.40		0.15	0.45	6.00	0.50	-0.18	2.820	FC24
											(R)FG5	0.40		0.15	0.45					
											(U)FG1	0.40		0.15	0.45					
1	ŧy	1	3	1400	1400	700	500	1.96	1.191		(D)FG1	0.40		0.15	0.40	5.60	0.50	-0.12	2.680	FC24
											(R)FG3	0.40		0.15	0.40					L
3	<b>‡</b> У	2	1	1600	1600	700	500	2.56	1.539		(R)FG4	0.40		0.15	0.50	6.40	0.50	-0.18	3.020	FC24
											(U)FG2	0.40		0.15	0.50					
											(L)FG3	0.40		0.15	0.50					
4	<del>†</del> У	2	2	1800	1800	700	500	3.24	1.932		(D)FG2	0.40		0.15	0.60	7.20	0.50	-0.27	3.330	FC24
											(R)FG6	0.60		0.15	0.60					
											(U)FG2	0.40		0.15	0.60					
											(L)FG5	0.40		0.15	0.60					
3	ŧy	2	3	1600	1600	700	500	2.56	1.539		(D)FG2	0.40		0.15	0.50	6.40	0.50	-0.18	3.020	FC24
											(R)FG4	0.40		0.15	0.50					-
											(L)FG3	0.40		0.15	0.50					
3	ŧy	4	1	1600	1600	700	500	2.56	1.539		(R)FG3	0.40		0.15	0.50	6.40	0.50	-0.18	3.020	FC24
											(U)FG2	0.40		0.15	0.50					-
											(L)FG4	0.40		0.15	0.50					-
4a	<del>1</del> 9	4	2	1800	1800	700	500	3.24	1.932		(D)FG2	0.40				7.20	0.50		3.600	FC24
			_								(R)FG5	0.40								-
			_								(U)FG2	0.40								
											(L)FG6	0.60								-
3a	<del>†</del> У	4	3	1600	1600	700	500	2.56	1.539		(D)FG2	0.40				6.40	0.50		3.200	FC24
											(R)FG3	0.40								-
		-	-								(L)FG4	0.40								
1	ŧy	5	1	1400	1400	700	500	1.96	1.191		(U)FG1	0.40		0.15	0.40	5.60	0.50	-0.12	2.680	FC24
		-	-	1.00							(L)FG3	0.40		0.15	0.40					
2	ŦŸ	5	2	1500	1500	700	500	2.25	1.359		(D)FG1	0.40		0.15	0.45	6.00	0.50	-0.18	2.820	FC24
											(U)FG1	0.40		0.15	0.45					-
		-	-			70.5					(L)FG5	0.40		0.15	0.45					
1	ŦŸ	5	3	1400	1400	700	500	1.96	1.191		(D)FG1	0.40		0.15	0.40	5.60	0.50	-0.12	2.680	FC24
1.4.9.1											(L)FG3	0.40		0.15	0.42					-
1127所	범패	/# /# #		/小添 /甘	林山添 /フ	=ゴ /底段	/84 /M	8 <del>4</del> /	17.502		1								35.550	<u> </u>
141212	20	1.¶±/(∧%	1. 金曜派 /	(小柴人 墨	2019¥E / A	ル人底温	人業人業	<u>*</u>											e	
PDF出力	)(E)															Exc	cel読込(0)	Excel	呆存(S)	閉じ

部材タブをクリックすると部材が切替わります

● 数量種類選択

コンクリート・型枠/鉄筋/鉄骨をタブで選択します。

● 部材選択

表示する部材のシートを選択します。

# 11.3.3. 数量根拠表Excel保存

🚺 👛	1 🛃	<u>.</u>				SIRBIM Ve	r.1 [Sample]								- 🗆 ×
JOB	インポー	ト <b>/ェクスポ</b> ー	-ト 確認	? 設計条	件建物	」形状 🚏	都材定義	部材配置	設計テー	-ブル !	リスト図確認	構造図作	FIX II	と計数量算出	<u>~</u>
数量算出	数量根拠	【 表 数量:	∑〕 _{集計表}												
算出		数量表													
数量根拠	l表 ×														-
コンクリート	·型枠	鉄筋	鉄骨	数量根拠表	-表示選択						表示ス	キン Defa	ult		~
コンクリート	ト・型枠数量	, 根拠表 [基码	盖]										表示倍	率 關 100	÷ %
[SIRBIM	Ver.1] 基礎	5													^
		位置			形料	к		底面積	コンク	リート		重複	部基礎梁	形状	
符号	階	X	Y	B1	B2	D1	D2	М		ふかし	基礎梁名	B1	B2	D	L
				(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mi)	(m)	(m)		(m)	<u>(m)</u>	(m)	<u>(n</u>
F1	ŧУ	1	1	1400	1400	700	500	1.96	1.191		(R)FG3	0.40		0.15	_
											(U)FG1	0.40		0.15	
F2	<del>†</del> У	1	2	1500	1500	700	500	2.25	1.359		(D)FG1	0.40		0.15	
											(R)FG5	0.40		0.15	
											(U)FG1	0.40		0.15	~
	▶ 基礎/ノ	柱/大梁/	〈基礎梁/	小梁/基	勘梁/ス	.ラブ /底盤	1 /璧 /雑	壁/						<	>
PDF出力	)(E)										Excel読记	(O) E	ixcel保存	(S) 閉じ	(C)

# 数量根拠表画面の Excel 保存(S) ボタンをクリックすると、表示されたカテゴリーの数量根拠表を Excel ブックに保存することができます。

📕 コンクリート・型枠数量根拠表 - EXCEL保存ファイル選択		×
	◆  ひ	
整理 ▼ 新しいフォルダー		
<ul> <li>▲ 名前</li> <li>▲ クイック アクセス</li> <li>■ デスクトップ オ</li> <li>▲ ダウンロード オ 、</li> </ul>	種類 検索条件に一致する項目はありません。	サイズ
ファイル名(N): Sample_コンクリート型枠数量根拠表.xlsx		~
ファイルの種類(T): EXCELファイル(*.xlsx)		~
▲ フォルダーの非表示	保存(S)	キャンセル

### 以下は保存された Excel ブックの例です。

×	Sample_:	コンクリー	ト型枠	数量相	艮拠表.xls	x - Exce	I													-		×
A1		• :	$\times$	\[ J	fx [	SIRBIM	Ver.1]	コン	クリート	、・型枠	数量根	拠表 基	礎 (	件名:	Sample)	1						•
	А	В	С	D	Е	F	G	Н	Ι	J	К	L	М	Ν	0	Р	Q	R	S	Т	U	
1	1 [SIRBIM Ver.1] コンクリート・型枠数量根拠表 基礎 (件名: Sample)																					
2																				2023年)		Ť
4			位置			形	状		底面積	コンク	リート		重複	部基礎梁	形状			型	枠			
5	符号	階	X	Y	B1	B2	D1	D2	м		ふかし	基礎梁名	B1	B2	D	L	L	н	増減		種別	
6					(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mi)	(m)	(m)		(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(mi)	(mi)		
7	F1	ŧy	1	1	1400	1400	700	500	1.96	1.191	0.00	(R)FG3	0.40	0.00	0.15	0.40	5.60	0.50	-0.12	2.680	FC24	
8												(U)FG1	0.40	0.00	0.15	0.40						
9	F2	<del>†</del> У	1	2	1500	1500	700	500	2.25	1.359	0.00	(D)FG1	0.40	0.00	0.15	0.45	6.00	0.50	-0.18	2.820	FC24	
10												(R)FG5	0.40	0.00	0.15	0.45						
11												(U)FG1	0.40	0.00	0.15	0.45						-
<	>	ł	基礎	柱	大溪	基礎	楚梁	小梁	基礎小潮	R 75	ブ 虐	驗 …	+		-	-	-	-	-	-		
準備	完了 🏡	アクセシ	ビリティ	': 検討	が必要で	đ										Ħ		<u> </u>	-		+ 1000	%

## 11.3.4.数量根拠表Excel読み込み

🚺 🛅	💆 🤔 🏾 🖉	j				SIRBIM Ve	r.1 [Sample]								- 🗆 ×
JOB	インポート	<b>/エクスポート</b>	確認	設計条	件建物	形状音	部材定義	部材配置	設計テ-	-ブル リ	スト図確認	構造図化		計数量算出	<u>^ ?-</u>
変量算出	していた。 数量根拠表	▶ ● 数量集	) 計表												
算出	23	数量表													
数量根拠	i表 ×														-
コンクリート	·型枠 鉄	筋 豑	; 骨	数量根拠表	-表示選択						表示ス	キン Defa	ult		~
コンクリート	ト・型枠数量根	, 拠表 [基礎]											表示倍率	≅ <b>⊞</b> 100	÷ %
[SIRBIM	Ver.1] 基礎														^
		位置			形	π		底面積	コンク	リート		重複	部基礎梁	形状	
符号	階	X	Y	B1	B2	D1	D2	М		ふかし	基礎梁名	B1	B2	D	L
				(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mi)	(mi)	(m)		(m)	(m)	(m)	(n
F1	ŧУ 1	. 1		1400	1400	700	500	1.96	1.191		(R)FG3	0.40		0.15	
											(U)FG1	0.40		0.15	
F2	<del>†</del> У 1	. 2		1500	1500	700	500	2.25	1.359		(D)FG1	0.40		0.15	
											(R)FG5	0.40		0.15	
											(U)FG1	0.40		0.15	~
	▶ 基礎 ⁄ 柱	:〈大梁/	基礎梁/	小梁/基	礎小梁 /ス	ラブ/底盤	【/壁/雑	壁/						<	>
PDF出力	)(E)										Excel読辺	<u>(</u> 0)	Excel保存	[S) 閉じ	/a(C)

数量根拠表画面の Excel 読込(O) ボタンをクリックすると、Excel ブックから数量根拠を読み込むことが できます。

読み込むことができるのは、 Excel 保存(S) ボタンで保存した形式の Excel ブックのみです。

📳 コンクリート・型枠数量根拠表 – EXCEL読み込みファイル選択	×
$\leftarrow$ $\rightarrow$ $\checkmark$ $\bigstar$ PC $\rightarrow$ $\pi$ U ₂ - $(D:)$ $\rightarrow$ SIRBIM1 $\rightarrow$ Excel $\checkmark$ $\leftarrow$	♪ Excelの検索
整理 ▼ 新しいフォルダー	III 🔹 🕶 🔃 📀
<ul> <li>名前</li> <li>ネ クイック アクセス</li> <li>デスクトップ ★</li> <li>ダウンロード ★</li> </ul>	種類 サイズ Microsoft Excel ワークシート 88 KB
ファイル名(N): Sample_修正_コンクリート型枠数量根拠表.xlsx	<ul> <li>EXCELファイル(*.xlsx) ~&lt;</li> <li>開く(O) キャンセル</li> </ul>

Excel ブックを指定して開く(O)ボタンを押すと、読み込んだデータを画面に表示した後、以下のメッセージが現れます。

コンクリート・型枠数量根拠表	×
? EXCELから読み込んだデータを保存しますか?	
はい(Y) いいえ(N)	
	ヽ(Y) ボタンを押します。

保存した場合、数量集計表に反映されます。

# 11.3.5.数量根拠表PDF出力

🚺 👛	🛃 🛃 🦉	)				SIRBIM Ve	r.1 [Sample]	]							- 🗆 X
JOB	インポート	・/エクスポー	-ト 確認	2 設計条	件建物	1形状 🚦	部材定義	部材配置	設計テ-	-ブル リ	スト図確認	構造図作		計数量算出	<u>^ ?-</u>
変量算出	数量根拠	表数量	<b>∑〕</b> ^{集計表}												
算出		数量表													
数量根拠	表 ×														-
コンクリート	·型枠 銷	も筋	鉄骨	数量根拠表	-表示選択						表示ス	キン Defa	ult		~
コンクリート	·型枠数量根	, 视表 [基码	ـــــــــــــــــــــــــــــــــــــ										表示倍率	率 🔜 100	)≑ %
[SIRBIM	Ver.1] 基礎														^
		位置			形	伏		底面積	コンク	リート		重複	部基礎梁	形状	
符号	階	Х	Y	B1	B2	D1	D2	М		ふかし	基礎梁名	B1	B2	D	L
				(mm)	(mm)	(mm)	(mm)	(mi)	(m)	(m)		(m)	(m)	(m)	<u>(n</u>
F1	ŧy :	1	1	1400	1400	700	500	1.96	1.191		(R)FG3	0.40		0.15	
											(U)FG1	0.40		0.15	_
F2	ŧy :	1	2	1500	1500	700	500	2.25	1.359		(D)FG1	0.40		0.15	_
											(R)FG5	0.40		0.15	
							(-+ ())				(U)FG1	0.40		0.15	×
	▶  基礎 /柏	主/大梁/	〈基礎梁/	(小梁/基	蘆小梁 /ス	.5ブ /底盤	【/壁/雑	壁 /						<	>
PDF出力	J(E)										Excel読词	<u>∆(</u> 0) E	Excel保存	(S) 閉U	びる(C)

数量根拠表画面の PDF 出力(E) ボタンをクリックすると、表示されたカテゴリーの数量根拠表を PDF に出力することができます。

🎒 コンクリート・型枠数量根拠表 – 出力PDFファイル選択					×
	~	Ū	,○ PDFの検索		
整理 ▼ 新しいフォルダー					?
<ul> <li>▲ 名前</li> <li>★ クイック アクセス</li> <li>■ デスクトップ オ</li> <li>↓ ダウンロード オ ↓</li> </ul>	へ 検索条件に一致する項目はあ)	りません。	種類	サイズ	
ファイル名(N): Sample_コンクリート型枠数量根拠表.pdf					~
ファイルの種類(T): PDF ファイル(*.pdf)					~
▲ フォルダーの非表示			保存(S)	キャンセル	, :
## 11.3.6.数量集計表設定

-	-	-		-							
💽 🛅	🔁 🛃 🔎			SIRBIN	1 Ver.1 [Sampl	e]					- 🗆 ×
JOB	インポート/エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	<u>~ ? -</u>
していた 数量算出	上         上           数量根拠表         数量集計	表									
算出	数量表										

[設計数量算出]タブ→[数量集計表]をクリックします。

#### 初めて数量集計表を開いた場合、初めに数量集計表設定画面が現れます。

🌒 数量集調	動量集計表設定 [Sample]     ×												
物件名 S	Kビル新築工事(実例で学ぶる	建築数量積算モデ	(JL)										
構造種別		建築面積	0.00	mi	代表スパン								
構造方式		延べ面積	1101.80	mİ	基礎種別								
階数		基礎面積	0.00	mi	基礎深さ								
平均階高		地下面積	0.00	mi	杭方式								
		地上面積	0.00	mi									
比率表表	示方式												
A/(	ペターン O Bパターン	>											
						確定(D)	閉じる(C)						

物件名、延べ床面積、その他の項目を適宜入力して、 確定(D) ボタンをクリックします。

### 11.3.7.数量集計表—表示選択

初めて数量集計表を開いた場合、次に数量集計表 – 表示選択画面が現れます。

📕 数量集計表-表示選択 [Sample]			×
<ul> <li>✓ 帳票</li> <li>✓ 躯体数量表</li> <li>✓ 総集計表</li> <li>✓ 比率表</li> <li>✓ コンクリート当り比率表</li> <li>✓ コンクリート個数一覧表</li> <li>✓ コンクリート集計表</li> </ul>	<ul> <li>✓型枠集計表</li> <li>✓ 径別鉄筋集計表</li> <li>✓ 部位別鉄筋集計表</li> <li>✓ 圧接集計表</li> <li>✓ 正接集計表</li> </ul>	<ul> <li>✓ 杭集計表</li> <li>○ 鉄骨階別集計表</li> <li>○ 材種別鉄骨集計表</li> <li>○ ブレート・ボルト集計表</li> <li>○ 襟械式鉄筋定着集計表</li> </ul>	
<ul> <li>✓ コンクリート集計表</li> <li>✓ 部材/階別コンクリート数量</li> <li>✓ 階別コンクリート数量</li> <li>✓ 階別コンクリート数量</li> <li>✓ コンクリート数量</li> </ul>			
<ul> <li>✓ 鉄筋集計表</li> <li>✓ 部材/階/径別鉄筋数量</li> <li>✓ 部材/径別鉄筋数量</li> <li>✓ 径別鉄筋数量</li> </ul>			
<ul> <li>         鉄骨集計表         <ul> <li>             部材/階/鋼材別鉄骨数量             </li> <li>             部材/鋼材別鉄骨数量 鋼材別鉄骨数量 鋼材別鉄骨数量         </li> </ul> </li> </ul>	<ul> <li>部材/階/維手ボルト別数量</li> <li>部材/維手ボルト別数量</li> <li>維手ボルト別数量</li> </ul>	<ul> <li>部材/階/継手ブレート別数量</li> <li>部材/継手ブレート別数量</li> <li>維手ブレート別数量</li> </ul>	
		確定(D) 閉じる(C	)

### 表示する数量集計表を 🛛 で選択します。

※ 配置されていない部材の数量集計表は、☑ が入っていても表示されません。

確定(D) ボタンをクリックすると、数量集計表を表示します。

# 11.3.8.数量集計表

### 数量集計表は、数量根拠から計算されます。

数量集計表 [Sample]
(রুশ্বে)

(pic)		
~	数量集計表設定	数量集計表 – 表示選択

数量集計表 [Sample] ×													
(すべて)		~ 数量	集計表設定	数量集計表-	表示選択					表示スキン D	efault		~
											東元の	≏∞ ⊞	100
											48/14		
[SIRBIM V	er.1] 躯体数量表	ŧ											L L
												2023年	X月 XX日
物件名	SKビル新築工	事(実例で学ぶ	(建築数量積算)	Eデル)				入力の確認		入力不可	年	月	<u> </u>
構造種別			建物面積	mi	代表スパン			増打ち・フカシ		杭			_
構造方式			延べ面積	1101.80 m	基礎種別			ペントハウス・パ	5~yr	階段·煙突			
階数			基礎面積	mi	基礎深さ			手すり壁・雑壁		人通孔など			_
平均階高			地下面積	n	杭方式			間柱·母屋·胴	緑・ブレース	設備基礎等			
L			- 地上回槓   	m		Tilet	01.00	(1) TE	Tilen	ノカシ筋			
		愛り 売けた」	単 斜鉄 ka	维岛 ka	 	空程	跃肋 kg./wi	数	空程	鉄肋 kg /コンwi			
其關金計	01 21	272.42	0 158 P6	STE NY	8 20	0.25	Ny /m g 21	Ny /m	200	100.21			
# #	56,58	420.79	7,639,37		5.14	0.25	6.93		7 44	135.02			
間柱	55.50	.20.75	,,005,07		5.11	0.50	0.00			100.02			
大梁	86.01	665.42	12.389.56		7.81	0.60	11.24		7.74	144.05			
小梁	26.64	230.88	3,157.65		2.42	0.21	2.87		8.67	118.51			
スラブ	112.67	242.50	12,736.29		10.23	0.22	11.56		2.15	113.04			
壁	109.05	1,402.22	12,672.75		9.90	1.27	11.50		12.86	116.21			- a
雑壁	12.10	132.98	1,699.28		1.10	0.12	1.54		10.99	140.41			積
ブレース													
階段													
その他													
合計	494.36	3,367.23	59,453.76		44.87	3.06	53.96		6.81	120.26			
フーチング	17.50	35.55	566.18						2.03	32.35			_
基礎柱	3.28	21.84	826.29						6.67	252.23			
基礎大梁	32.67	163.51	3,847.27						5.00	117.75			磁
基礎小梁	6.98	46.50	816.85						6.67	117.09			<u>¤</u>
最下階スラブ	26.64	5.03	2,638.51						0.19	99.06			積
医盤	4.25		463.76							109.15			_
基礎合計	91.31	2/2.43	9,158.86						2.98	100.31			
- 1161 地下#1													
地下大河													-  %
地下八米													
地下駐													
地下スラブ													- 1 7
地上合計	403,05	3.094.79	50,294,90						7.68	124,79			
その他		0,00 7 5	20,22 20		鉄筋圧接	16.69	ヶ所 /t						
HAPH	躯体数量表	総集計表/比		-ト当り比率表	〈コンクリート個数	数一覧表 /コン	クリート 集計表	〈型枠集計表	〈径別鉄筋集	+表 / 部位別鉄	筋集計表	圧損 く	> `
PDF出力(I	PDF出力(E) Excel保存(S) 閉じる(C)												

## 11.3.9.数量集計表Excel保存

💽 👛 🛽	9 🛃 🙍			SIRE	IM Ver.1 [Samp	le]					_ [	×
JOB	インポート/エク	マスポート 確	認 設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作	図 設計数量	算出 🛆	?-
変量算出	していた 数量根拠表	∑ 数量集計表										
算出	数量	ŧ										
(すべて)		~ 数	量集計表設定	数量集計表-	-表示選択			表示	スキン Defau	lt		$\sim$
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										<b>東元倍変 囲</b>	100 📥 -	_
[SIRBIM Ver.1] 躯体数量表												
物件名	SKビル新築エ	事(実例で学)	《建築数量積算	Eデル)				入力の確認		入力不可	年	- 1
構造種別			建物面積	mi	代表スパン			増打ち・フカシ		杭		
構造方式			延べ面積	1101.80 mi	基礎種別			ペントハウス・パラ	i/\vr	階段·煙突		
階数			基礎面積	ni	基礎深さ			手すり壁・雑壁		人通孔など		
平均階高			地下面積	ni	杭方式			間柱·母屋·胴綱	豪・ブレース	設備基礎等		
			地上面積	ni						フカシ筋		
		数	量		コンクリート	型枠	鉄筋	鉄骨	型枠	鉄筋		
	コンクリート mi	型枠 m	鉄筋 kg	鉄骨 kg	mi /mi x100	mi/mi	kg /mi	kg /mi	mi/⊐≻mi	kg /그ンmi		
基礎合計	91.31	272.43	9,158.86		8.29	0.25	8.31		2.98	100.31		~
	躯体数量表	総集計表/上	と率表 /コンクリー	-ト当り比率表	〈コンクリート個	数一覧表 /コン	クリート集計表	〈型枠集計表〉	〈径別鉄筋集訓	表 /部位別	< >	
PDF出力(	PDF出力(E) 思Cel保存(S) 閉じる(C)											

# 数量集計表画面の Excel 保存(S) ボタンをクリックすると、表示されたカテゴリーの数量集計表を Excel ブックに保存することができます。

🌒 数量集計表 – EXCEL保存ファイル選択			×
← → ヾ ↑ 📙 > PC > ボリューム(D:) > SIRBIM1 > Excel	✓ ひ /> Excelの検索		
整理 ▼ 新しいフォルダー			?
<ul> <li>▲ クイック アクセス</li> <li>▲ デスクトップ オ</li> <li>▲ ダウンロード オ 、</li> </ul>	種類 検索条件に一致する項目はありません。	サイズ	
ファイル名(N): Sample_数量集計表.xlsx			~
ファイルの種類(T): EXCELファイル(*.xlsx)			$\sim$
▲ フォルダーの非表示	保存(S)	キャンセル	

### 以下は保存された Excel ブックの例です。

×	Sample_数量集計表.xlsx - Excel — — — X															
A1	~	<ul> <li>✓ fx [SIRBIM Ver.1] 躯体数量表 (件名:Sample)</li> </ul>										•				
	А	В	С	D	E	F	G	Н	Ι	J	К	L	М		Ν	
1	[SIRBIM	Ver.1]	躯体数量表	(件名:	Sample)							202	3年 X月 )	ĸx⊟		L
2	物件名	S Kビル新築エ	事(実例で学	ぶ建築数量積算	尊モデル)				入力の確認		入力不可	年	月	B		L
3	構造種別			建物面積	mi	代表スパン			増打ち・フカシ		杭					
4	構造方式			延床面積	1101.80 mi	基礎種別			ペントハウス・バ	⋽ぺット	階段·煙突					
5	階数			基礎面積	mi	基礎深さ			手すり壁・雑壁		人通孔など					
6	平均階高			地下面積	mi	杭方式			間柱·母屋·胴	緑・ブレース	設備基礎等					
7				地上面積	mi						フカシ筋					
8			数	量		コンクリート	型枠	鉄筋	鉄骨	型枠	鉄筋					
9		コンクリート ml	型枠 m	鉄筋 kg	鉄骨 kg	ml /ml x100	mi/mi	kg /mi	kg /mi	mi/⊐ンmi	kg /コンmi					
10	基礎合計	91.31	272.43	9158.86		8.29	0.25	8.31		2.98	100.31					•
<	>	>   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多   多 </td														
準備決	基備完了 🖏 アクセンビフィ: 検討が必要です 田 🗐 巴															

## 11.3.10. 数量集計表PDF出力

o 🔁 🚺	9 🔐 👰			SIRE	IM Ver.1 [Samp	le]					-	□ ×
JOB	インポート/エク	フスポート 確	認 設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	2 構造図作	図 設計数量	算出へ	?-
変量算出	び 数量根拠表	∑ 数量集計表										
算出	数量	表										
数量集計表 ×												
(すべて)	(すべて) ✓ 数量集計表設定 数量集計表 - 表示選択 表示スキン Default 、											$\overline{}$
	表示倍率 關 100 ਦ %											
[SIRBIM Ver.1] 躯体数量表												
物件名	SKビル新築コ	事(実例で学	『建築数量積算:	Eデル)				入力の確認		入力不可	年	
構造種別			建物面積	mi	代表スパン			増打ち・フカシ		杭		- 1
構造方式			延べ面積	1101.80 m	基礎種別			ペントハウス・パ	5ぺwԻ	階段·煙突		_
階数			基礎面積	ni	基礎深さ			手すり壁・雑壁		人通孔など		_
平均階高			地下面積	ni	杭方式			間柱·母屋·胴	緑・ブレース	設備基礎等		_
			地上面積	ni						フカシ筋		- 11
	L	数	量		コンクリート	型枠	鉄筋	鉄骨	型枠	鉄筋	L	- 11
	コンクリート mi	型枠 mi	鉄筋 kg	鉄骨 kg	mi/mix100	mi/mi	kg /mi	kg /mi	mi/⊐≻mi	kg /⊐≻mi	L	- 1
基礎合計	91.31	272.43	9,158.86		8.29	0.25	8.31		2.98	100.31	L	~
	」(▲   ▶   ▶    駆体数量表 / 総集計表 / 比率表 / コンクリート当り比率表 / コンクリート 個数一覧表 / コンクリート集計表 / 徑別鉄筋集計表 / 部位別 <>											
PDF出力(	PDF出力(E) Excel保存(S) 閉じる(C)											

# 数量集計表画面の PDF 出力(E) ボタンをクリックすると、表示されたカテゴリーの数量集計表を PDF に出力することができます。

🌒 数量集計表-出力PDFファイル選択				×
← → × ↑ 🔒 > PC > ポリューム(D:) > SIRBIM1 > PDF	5 v	,○ PDFの検索		
整理 ▼ 新しいフォルダー				?
<ul> <li>▲ 名前</li> <li>★ クイック アクセス</li> <li>■ デスクトップ オ</li> <li>▲ ダウンロード オ 、</li> </ul>	▲ 検索条件に一致する項目はありません。	種類	サイズ	
ファイル名(N): Sample_数量集計表.pdf				~
ファイルの種類(T): PDF ファイル(*.pdf)				~
▲ フォルダーの非表示		保存(S)	キャンセル	

# 12. 差分更新(設計変更に対応)

ー貫構造計算データから「SIRBIM」にインポートした後、意匠的な収まりを考慮して、柱、梁、壁、床などの 構造部材を移動、修正することがあります。その後、設計変更があり構造計算データが変わった場合、設計 変更により、変わった部分のみ、最初の「SIRBIM」に取り込むことができるツールが「差分更新」ツールです。 この機能により、最初に部材に付けられた GUID は変更されること無く、中身の情報のみ更新されます。 BIM ソフト(Archcad,Revit)のアドインソフト「SIRBIM 連携」と組み合わせることにより、スムーズな差分 更新を行うことができます。

(差分更新の処理)



または Revit

## 12.1.差分更新の準備

以下のデータを準備します。

- ① 更新JOB (Base) 設計変更前のSIRBIMデータ
- 差分JOB(変更)
   設計変更後のSIRBIMデータ

差分更新可能な条件としては、以下になります。

- ① 二つのJOBの階数が同じであること
- ② X通り軸数またはY通り軸数は、同じかまたは増えていること
  - ※もし、「更新JOB(Base)」より通り軸数が減った場合は、一貫構造計算の方でダミー軸を追加して、同じ軸数になるようにしてください
  - ※「差分JOB(変更)」の軸数が多い場合は、更新処理中に追加することができます

## 12.2.差分更新処理方法

[JOB]タブ→[差分更新]をクリックします。

💽 👛 🛛 🚰 🔍		SIRBIM Ver.1	[v20_ss7_FB変担	SIRBIM Ver.1 [v20_ss7_FB変換検証_1]							
<b>JOB</b> インポート/エクスポート	確認 設計	条件 建物形状	部材定義	部材配置 設	計テーブル !	Jスト図確認	構造図作図	設計数量算出 🗠	<u>?</u> -		
新規作成	第一日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	● 構造図設定 ▼	₩ ● 施工図設定 ▼	、 CAD CAD出力設定		はました。 構造図	<b>計</b> 施工図				
開く	作図設定			出力設定	構造	図作成・CAD出	わ				
上書き保存											
名前を付けて保存											
通り軸の追加											
差分更新 設計変更による差分更新を行う 部列衣へwww											
システムテーブル管理											
環境設定											
終了											
	4										

### 12.2.1.JOB名の指定および更新情報指定

設計変更前の「更新 JOB (Base)」、設計変更後の「差分 JOB (変更)」および、更新後の「差分更 新後 JOB」を指定します。また、差分更新する情報も指定します。

📲 差分更新		×
更新JOB (Base)	更新後JOB	
差分JOB(変更)		
更新JOB(Base)	K.Abe¥Documents¥SIRBIM1¥Data¥SIRBIM差分更新(検証)¥TEST-03¥Test-03_ORI.sirDB	参照
差分JOB(変更)	C:¥Users¥K.Abe¥Documents¥SIRBIM1¥Data¥SIRBIM差分更新(検証)¥TEST-03¥Test-03_	参照
差分更新後JOB	C:¥Users¥K.Abe¥Documents¥SIRBIM1¥Data¥SIRBIM差分更新(検証)¥TEST-03¥Test-03_	参照
※「更新JOB」 一差分更新する情報	と「差分JOB」の比較を行い、「更新JOB」の差分更新を行い、「差分更新後JOB」を作成します 指定	
☑ 設計条件(設	計条件タブの内容の更新を行います)	
☑ 建物標準	没定   ☑ コンクリ−ト材料	
☑ 鉄筋継手	役定   ☑ 梁下端筋定着設定   ☑ 柱梁フカシ配筋設定	
🗹 通り軸、階高	(X, Y通り軸数、X, Yスパン長の更新を行います)	
☑ 部材定義(断	面寸法、配筋情報等の更新を行います)	
☑ 部材配置 (通	り軸または座標値でマッチングを行い、部材配置の更新を行います)	
差分更新項目證	定 通り軸更新設定 キャン	セル

### 12.2.2.通り軸更新設定

通り軸が増えた場合は、同じ通り軸を対応させる必要があります。更新 JOB の通り軸を上下させて対応させてください。「更新 JOB」と「差分 JOB」の通り軸および階情報が同じ場合は、この画面はひょうじされません。

🎒 通り	軸更新設定																		$\times$	
更新JOB	(Base)	Test-03_ORI							$\rightarrow$	更新後	JOB Test-	-03_	UPD							
差分JOB	3(変更)	Test-03_MOD																		
※X通り車	铀数またはYi	通り軸数が異なる場合	に設定	します																
節点移動	動の更新設	ŧ																		
● 全	ての節点移動	動を「差分 JOB(変更	[) 」で見	更新する																
	加した軸の質	「点移動のみ更新する																		
	点移動は更調	新しない																		
	ン馬を更新	(軸数が同じ場合)					YZパン馬を更新	(直由类女子	が同じ場合)				7	スパン馬を更新	(階数	が同じ場合)				
		(44303730 202)														表示化	音率 目	10	0 🗘 %	
		Yāt							Vāt			•				7曲	_			I
更新	<b>ЖЈОВ</b>	X軸 差分 JOB	差分	· 一	-	F	更新JOB	唐	Y軸 ^差 分JOB	差分	更新後	•	_	更新JOB		Z軸 差分 JOB	差	分更新得		[
更第 X1	听JOB 0	X軸 差分JOB X0   0	差分 X0	· 分更新後 0	•	Y	更新JOB /1 0	· Y0	Y軸 些分JOB 0	<u>差分</u> Y0	。 更新後 0	•	RF	更新JOB 8,500	RF	Z軸 差分 JOB 8,500	差 RF	分更新得 8,	<u>م</u> و 500	[
更 第 X1	所JOB 0	X軸 差分JOB X0 0 X1 800	差分 X0 X1	· 分更新後 0 800	•	Y	更新JOB /1 0	<u>考</u> Y0 Y1	Y軸 差分JOB 0 900	差分 Y0 Y1	更新後 0 900	•	RF 2F	更新JOB 8,500 5,000	RF 2F	Z軸 差分JOB 8,500 5,000	差: RF 2F	分更新符 8, 5,	€ 500 000	[
更 第 X1 X2	所JOB 0 6,000	×軸 差分JOB X0 0 X1 800 X2 6,800	差分 X0 X1 X2	· 分更新後 0 800 6,800	•	Y	更新JOB (1 0 (2 6,000	プログロン 2010 1011 1011 1011 1011 1011 1011 1011	Y軸 些分JOB 0 900 6,900	差分 Y0 Y1 Y2	更新後 0 900 6,900	•	RF 2F 1F	更新JOB 8,500 5,000 0	RF 2F 1F	Z軸 差分JOB 8,500 5,000 0	差: RF 2F 1F	分更新得 8, 5,	€ 500 000 0	
更新 X1 X2 X3	所JOB 0 6,000 12,000	×軸 差分JOB X0 00 X1 800 X2 6,800 X3 12,800	差分 X0 X1 X2 X3	· 分更新後 0 800 6,800 12,800	•	Y Y Y	更新JOB /1 0 /2 6,000 /3 12,000	Y0 Y1 Y2 Y3	Y軸 些分JOB 0 900 6,900 12,900	差分 Y0 Y1 Y2 Y3	更新後 0 900 6,900 12,900	•	RF 2F 1F	更新JOB 8,500 5,000 0	RF 2F 1F	Z軸 差分 JOB 8,500 5,000 0	差 RF 2F 1F	分更新符 8, 5,	€ 500 000 0	
更 新 X1 X2 X3	所JOB 0 6,000 12,000	×軸 差分JOB X0 00 X1 800 X2 6,800 X3 12,800	差分 X0 X1 X2 X3	· )更新後 0 800 6,800 12,800	•	Y Y	更新JOB (1 0 (2 6,000 (3 12,000	Y0 Y1 Y2 Y3	Y軸 些分 JOB 0 900 6,900 12,900	差分 Y0 Y1 Y2 Y3	更新後 0 900 6,900 12,900	•	RF 2F 1F	更新JOB 8,500 5,000 0	RF 2F 1F	Z軸 差分 JOB 8,500 5,000 0	差 RF 2F 1F	分更新符 8, 5,	± 500 000 0	
更 第 X1 X2 X3	ff JOB 0 6,000 12,000	×釉 差分JOB X0 0 0 X1 800 X2 6,800 X3 12,800	差 <del>5</del> X0 X1 X2 X3	· 分更新後 0 800 6,800 12,800		Y Y Y	更新JOB (1 0 (2 6,000 (3 12,000	デ Y0 Y1 Y2 Y3	Y軸 些分JOB 0 900 6,900 12,900	差分 Y0 Y1 Y2 Y3	更新後 0 900 6,900 12,900	•	RF 2F 1F	更新JOB 8,500 5,000 0	RF 2F 1F	Z軸 差分JOB 8,500 5,000 0	差 RF 2F 1F	分更新得 8, 5,	500 000 0	
更 第 次1 次2 次3	所JOB 0 6,000 12,000	×1曲 差分JOB X0 0 X1 800 X2 6,800 X3 12,800	差分 X0 X1 X2 X3	· 分更新後 0 800 6,800 12,800	•	Y Y	更新JOB '1 0 '2 6,000 '3 12,000	Y0 Y1 Y2 Y3	Y軸 整分JOB 0 900 6,900 12,900	差分 Y0 Y1 Y2 Y3	更新後 0 900 6,900 12,900	•	RF 2F 1F	更新JOB 8,500 5,000 0	RF 2F 1F	Z驗 差分JOB 8,500 5,000 0	<u>差</u> RF 2F 1F	分更新符 8, 5,	2 500 000 0	
更 第 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	ж́јОВ 0 6,000 12,000	X間 差分30B X0 00 X1 800 X2 6,800 X3 12,800	<del>差分</del> X0 X1 X2 X3	か更新後 0 800 6,800 12,800	•	Y Y	更新JOB (1 0 (2 6,000 (3 12,000	Y0 Y1 Y2 Y3	Y軸 差分JOB 0 0 0 900 6,900 12,900	差分 Y0 Y1 Y2 Y3	更新後 0 900 6,900 12,900	•	RF 2F 1F	更新JOB 8,500 5,000 0	RF 2F 1F	Z軸 差分 JOB 8,500 5,000 0	差; RF 2F 1F	分更新得 8, 5,	500 0000 0	
更新 X1 X2 X3	新JOB 0 6,000 12,000	送分 30B           窓の         0           X1         800           X2         6,800           X3         12,800	<del>差分</del> X0 X1 X2 X3	<b>分更新後</b> 0 800 6,800 12,800	•	Y Y	更新JOB (1 0 (2 6,000 (3 12,000)	を Y0 Y1 Y2 Y3	Y 聖分 JOB 0 900 6,900 12,900	差分 Y0 Y1 Y2 Y3	更新後 0 900 6,900 12,900	•	RF 2F 1F	更新 JOB 8,500 5,000 0	RF 2F 1F	Z軸 差分JOB 8,500 5,000 0	差 RF 2F 1F	分更新 ⁴ 8, 5,	₹ 500 000 0	

### 12.2.3.差分更新設定

差分更新する部材を指定します。チェックを外すと、その部材の定義および配置に関して差分更新されません。 通り軸上に配置する部材は、階および通り軸座標でマッチングします。その他の部材は、グローバル座標でマッ チングします。

📲 差分更新設定						×
更新JOB (Base)	Test-03_ORI		新後JOB Test-03_UPD			
差分JOB (変更)	Test-03_MOD					
部材指定						
※差分更新する部	材を指定します					
差分更新す	る部材指定					
☑ 基礎	☑ 柱  ☑ 梁  ☑ 壁  ☑ 鉛直ブレース  ☑ 水平ブレース	ĸ				
※通り軸座	標でマッチングして差分更新					
☑ 間柱	🗹 小梁 🗹 スラブ 🗹 雑壁					
※グローバ)	ノ座標でマッチングして差分更新					
				差分更新研	認	戻る
_						

#### 12.2.4. 差分更新確認

#### (イ) 部材定義の差分更新リスト

部材定義符号毎に、差分が発生している符号のリストを表示します。 符号の行をクリックすると、それが配置されている部材が3D表示でハイライトされ、右側に定義情 報のプロパティが表示されます。プロパティは、フィルタ機能がありますので、変更のあった項目のみ 表示することができいます。



●「更新実行」フラグ

No	±1.12	+#\#	∏tit.	符	·뮥		差分更新的	容	更新
NO	=P	1#1		更新JOIマ	差分JOE▼	状▼	断面寸注。	配筋情幸▼	実行 マ
1	基礎	RC	-	F1	F1	変更	有		<b>V</b>
2	基礎	RC	-		F2	追加			<b>v</b>
3	柱	RC	1F	C1	C1	変更	有	有	<b>v</b>
4	柱	RC	2F	C1	C1	変更	有	有	

部材符号毎に、更新処理を行うかどうかを指定できます。 更新しない場合は、チェックを解除します。

#### ●「更新処理」フラグ

柱定義プロパティ	· 変 」▼	更新 JOB ▼	差分 JOB	更新 処理 →
▲ 識別情報				
Z階(開始階)		2F	2F	
Z階(終了階)		2F	2F	Γ.
符号		C1	C1	
構造		RC	RC	
RC部材形状		Α	Α	
S部材形状				
┛ RC断面:形状				
В	[mm] 有	800	850	
D	[mm] 有	800	850	
▲ RC断面:柱頭:	主筋			
+		D25	D25	

「更新実行」フラグにチェックがついている場合、 「更新処理」フラグにチェックがついている項目が 更新されます。

差分が無い項目は、グレー表示されています。

#### (ウ) 部材配置の差分更新リスト

部材毎に、差分が発生している配置部材のリストを表示します。 配置部材の行をクリックすると、その部材が3D表示でハイライトされ、右側に配置情報のプロパティが表示されます。プロパティは、フィルタ機能がありますので、変更のあった項目のみ表示することができいます。部材定義と異なり、ハイライトされる部材は必ず1つになります。



#### ●「更新実行」フラグ

-															
•	更新	容	差分更新内		号	符	+#1/#-	±817		終点			始点		Nie
	実行 ऱ	配置情報▼	符号情報▼	状!▼	差分J0 ▼	更新JO▼	備≔		Zi -	YI -	Xi -	Zi -	YI -	Xi -	NO
_		有	有	変更	F2	F1	RC	基礎				1	2	2	1
		有	有	変更	F2	F1	RC	基礎				1	4	2	2
	<b>V</b>	有	有	変更	F2	F1	RC	基礎				1	4	4	3
	<b>V</b>	有	有	削除		F1	RC	基礎				1	2	4	4
	<b>V</b>	有	有	変更	C2	C1	RC	柱	2	2	2	1	2	2	5
	<b>V</b>	有		変更	C1	C1	RC	柱	2	3	2	1	3	2	6
	<b>V</b>	有	有	変更	C2	C1	RC	柱	2	4	2	1	4	2	7
•	V	有		変更	C1	C1	RC	柱	2	2	3	1	2	3	8

配置部材毎に、更新処理を行うかどうかを指定できます。 更新しない場合は、チェックを解除します。

●「更新処理」フラグ

	基礎配置プ	ロパティ	r	変 更▼	更新 JOB 🖣	差分 JOB	更新 処理 _▼
⊿	識別情報						
	符号			有	F1	F2	<b>V</b>
۵	基礎:配置位	立置					
	X				X1	X1	Г
	Y軸				Y1	Y1	Г
	Z軸				1F	1F	
		х	[mm]				Г
	オフセット	Y	[mm]				Г
		Z	[mm]		-1000	-1000	Γ
⊿	基礎:断面的	回転					
	回転角度		[度]				Г
4	フカシ厚						
	上側		[mm]				Г
	下側		[mm]				
	左側		[mm]				
	右側		[mm]				Г
۵	鉄筋かぶり厚						
	周囲		[mm]		70	70	
	トップ		[mm]		70	70	
	ボトム		[mm]		70	70	Г

「更新実行」フラグにチェックがついている場合、「更新 処理」フラグにチェックがついている項目が更新されま す。

差分が無い項目は、グレー表示されています。

#### (I)「差分更新実行」



「差分更新実行」ボタンをクリックすると、差分更新され、「更新後 JOB」が作成されます。

# 13. システムテーブル管理

「システムテーブル管理」では、システムデフォルト値として登録された設定をテーブルファイルとして保存し、他の PC や JOB ファイルに簡単に受け渡すことができます。

[JOB]→[システムテーブル管理]をクリックします。

💽 👛 🖄 🔮 🧶			SIRBI	M Ver.1 [Test-0	3_UPD]					_ 🗆 ×
JOB インポート/エクスポート	確認	設計条件	建物形状	部材定義	部材配置	設計テーブル	リスト図確認	構造図作図	設計数量算出	No. 10
新規作成	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	ダミーフロア	↓ 円 弧 軸指定	が調査の主義	(日) 参照図登録					
開く		形状変更		ツール	参照図					
最近使用した J O B ,										
上書き保存										
名前を付けて保存										
通り軸の追加										
差分更新										
部材表示設定										
システムテーブル管理										
環境設定										
終了										

# 13.1.システム設定の保存

システム設定をファイルを保存します。

画面左の保存タブ画面にて、必要に応じてファイル名、コメントを記入します。 ※タイトルとコメントの入力がなくても「*.sirSys」ファイルは作成できます。

🏢 システムテー	ブル管理	×
現在のテーブル	วะา	
D:¥SIRBIM1	¥Table¥Default.sirSys	
保存 読み込み	保存 現在の設定をテーブルファイルとして保存します タイトル A社用 コメント 作成日: ○月○日 作成者: ×××× コメント: △△△	
	<	>
		保存(S)
		閉じる(C)

システムテーブル管理画面右下保存(S)ボタンをクリックします。

📳 SIRBIM Ver.1 テーブルファイルの保存		×
← → · ↑ → PC → ボリューム(D:) → SIRBIM1 → Table · ♂	○ Tableの検索	
整理 ▼ 新しいフォルダー		EE • ?
<ul> <li>▲ 名前</li> <li>▲ 名前</li> <li>▲ アクイック アクセス</li> <li>□ デスクトップ オ</li> <li>● Default.sirSys</li> <li>● ダウンロード オ</li> </ul>	種類 SIRSYS ファイル	サイズ 592 KB
ファイル名(N): Table1		~
ファイルの種類(T): SIRBIM Ver.1 テーブルファイル(*.sirSys)		~
▲ フォルダーの非表示	保存(S)	キャンセル

必要に応じて保存場所、ファイル名を変更します。

保存(S) ボタンをクリックすると、指定した保存先に保存することができます。

# 13.2.システム設定の読み込み

保存したシステム設定ファイルを読み込みます。

画面左の	読み込み	タブをクリックすると、以下の画面が表示されます。

📳 システムテー	-ブル管理	×
現在のテーブル D:¥SIRBIM1	ファイル ¥Table¥Default.sirSys	
保存 読み込み	読み込み 読み込むテーブルファイル	参照
	タイトル	
	4	^
	<	> ×
		閉じる(C)

参照... ボタンをクリックします。

🌒 テーブルファイルの選択	×
	り / Tableの検索
整理 ▼ 新しいフォルダー	==
<ul> <li>▲ 名前</li> <li>▲ 名前</li> <li>▲ デスクトップ オ</li> <li>▲ ダウンロード オ マ</li> </ul>	<ul> <li>種類</li> <li>サイズ</li> <li>SIRSYS ファイル</li> <li>SIRSYS ファイル</li> <li>SIRSYS ファイル</li> <li>SIPS VS ファイル</li> </ul>
ファイル名(N): Table1.sirSys	<ul> <li>&gt; SIRBIM Ver.1 テーブルファイル(*.sir: ~)</li> <li>開く(O) キャンセル</li> </ul>

読み込む設定ファイル(*.sirSys)を選択して、開く(O) ボタンをクリックします。

📳 システムテー	ブル管理	×
現在のテーブル D:¥SIRBIM1	ファイル ¥Table¥Default.sirSvs	
保存 読み込み	読み込み 読み込むテーブルファイル D:¥SIRBIM1¥Table¥Table1.sirSvs	参昭
	タイトル A社用	
	コメント 作成日:0月0日 作成者:×××× コメント:△△△	<b>^</b>
	<	> 読込(R)
		閉じる(C)

読込(R) ボタンをクリックします。

O:¥SIRBIM1¥Table¥Table1.sirSys を現在のシステムテーブルとして読み 込みますか?	
はい(Y) いいえ(N)	

はい(Y) ボタンを押します。

保存したテーブルデータは現在のシステムテーブルとして設定を読み込みます。

システムテ	ーブル管理	×
?	D:¥SIRBIM1¥Table¥Table1.sirSys を現在のJOBデータに読み込みます か?	
	(はい(Y) しいえ(N)	]
		. ,

はい(Y) ボタンを押すと保存したテーブル内容は現在の JOB データに反映されます。 いいえ(N) ボタンを押すと現在のシステムテーブルとして設定を読み込むだけになります。現在使用中の JOB データには反映されません。新規 JOB で反映されます。

# 14. 製品サポートサービス

「SIRBIM」の製品サポートサービスについて説明します。

※「SIRBIM」のサポートサービスは、料金、期間、及び条件が予告なしに変更されることがあります。

※ ホームページの内容、およびアドレスは予告なく変更する場合があります。

## 14.1.お問い合わせ

質問や不明点がある場合は以下のお問い合わせ先をご利用ください。

弊社ホームページ : https://www.scinc.co.jp 製品サポート問い合わせ : https://www.scinc.co.jp/contact/support.html メールサポート : support@scinc.co.jp

## 14.2.最新版の取得

最新版をホームページからダウンロードするには、インターネットに接続できる環境が必要です。

#### ● 取得方法

弊社ホームページの「SIRBIM」最新版ダウンロードページを開きます。 <u>https://www.scinc.co.jp/sirbimdl.html</u> 上記ダウンロードページから、最新版をダウンロードします。

